

當市ニ支那人ノ商業店十數軒アリ元ヨリ大廈高樓ヲ構ヘテ公然白人ニ拮抗スルニアラスト雖内々彼等ハ社ヲ結ヒ内外相應シテ其業ヲ營ムヲ以テ物價割合ニ安ク不知不識ノ間買人ノ氣ヲ引クノ傾キアリ其賣捌ク所ノ物品ハ雜貨ニシテ諸種ノ日用品ニアリ濠洲諸人カ支那人ヲ恐ルハ勞働者ニアラスシテ却テ此商人ニアルハ裏面ノ境界ヲ熟察スルモノ、疑ヲ容レサル所ナリ

右ノ外印度人南米人ノ如キ元トヨリ蘆穢場裡ノ一蘆穢此地ニ於テ一泓ヲ爲スモノニアラス盡ク「マレ」マニヲ「サウシ」マン」ノ下等社會ニ吸収セラル唯別ニ白人間ノ大問題トナリ現在モ將來モ彼等ノ懸念ニ堪ヘサルモノハ獨リ我日本人ナリ日本人ノ事ハ後章別ニ篇ヲ設ケテ詳説スヘシ

五商工業及輸出入ノ景況

當地ニ於ケル商業ト號スルモノハ三千住民ノ需用品ヲ供給スルニ止マリ別ニ生産ノアリテ盛ニ取引アルモノニアラス而シテ其重ナルモノハ食料品トス衣服ノ如キ家具ノ如キ其他裝飾ニ屬スル品ノ如キハ賣行甚タ少シ蓋シ四時ノ氣候大變ナク常時單衣ニ襲ヲ以テ起臥スヘク從テ家屋ノ制モ簡單ヲ極メ床上ノ敷物ヨリ坐敷ノ飾付ケ迄質素ノモノ多シ且ツ新開未タ年所ヲ經ス豪富大家ノ興ルナク生活總テ中等以下ニ位スルヲ以テ日用ノ需用品トテモ省畧ヲ主トス是レヲ以テ絹製ノ物品反物其他手巾等ニ至ル迄賣方果カ「シカ」ラス只木綿類メリヤス類頗ル景氣アリ絹物ニテ賣方宜シキモノハ無地ノ「シヤツ」ナリ木綿縮ノ「シヤツ」ハ尤モ需用多シ而シテ彼等ハ一枚三志ヨリ六志迄ヲ價ス其柄ノ如キハ多ク無地白色ヲ好ム時ニゴバン縞タテ縞ヨコ縞カスリ等アレバ甚シク色物ヲ好マサルニヤ見受ケラル勞働者ハ皆木綿小倉織ニ類スル「スポ」ニテ穿テ右縮ノ「シヤツ」ヲ着跳足ニテ破帽ヲ被ルモノ多シ中ニハ單ニ半袖ノメリヤス「シヤツ」ヲ着テ右「スポ」ニテ穿ツモノアリメリヤス「シヤツ」ハ二志ヨリ三志位ニシテ丸袖ノモノハ少シ而シテ此等木綿類ハ多ク英國ヨリ輸入ス絹「シヤツ」類

ハ香港ヨリ來ルモノ「シドニー」ヨリ轉送セラルモノアリ大抵一磅ヨリ一磅半ヲ價スルモノアリ今左ニ輸入品ノ種類ト輸出港ヲ舉ク

- 一 毛布木綿類 [ロンドン]
- 一 衣服地家具類 香 港
- 米鴉片
- 一 木材 藍類 [シドニー]
- 一 酒類 粉類 [アデレード]
- 一 青物菓實類 [ブリスベン]
- 一 米絹品陶器類 日 本
- 以上當地ニ於ケル商業品ノ重ナル種類トス而シテ右等物品各地ヨリノ運賃左ノ如シ
- 一 米 一噸ニ付 香港ヨリ當地へ 三十志
- 一 雜 貨 類 神戸ヨリ當地へ 三十志ヨリ
- 一 木綿毛布類 [ロンドン]ヨリ當地へ 三十五志
- 一噸ニ付 [シドニー]ヨリ 五十志
- 一 材木類百尺ニ付 [シドニー]ヨリ 三十五志
- 一 青物菓實類 [ブリスベン]ヨリ 七十志
- 一噸
- 一 酒類「ケース」 [アデレード]ヨリ 六十志
- 一 粉類 一噸 [ブリスベン]ヨリ 三十志

本島ヨリ輸出スルモノ其珠鼈甲海鼠コブラノ五種ナリ是等八十中ノ九ハ倫敦ニ輸出ス儘
カニ一部香港ニ至ルコアリ今其千八百九十二年ノ輸出分量ト價格ヲ左ニ掲ク

真珠貝	九百三十一噸二	九万二千五百九十八磅
海鼠	六十一噸十六三	四千五百六十六磅
鼈甲	六百封度三、四	四百十三磅
コブラ	六千三百三十六噸	一万四千五百二十磅
		四千四百〇五磅

總計十一万六千五百九十二磅
右諸品ノ運賃ヲ聞クニロンドン迄鼈甲類及ヒ箱入真珠貝五十五志六片而シテ海鼠ハ盡ク香港ニ至
ルヲ以テ倫敦ノ運賃ヲ聞カス香港迄六十志ナリ真珠貝ハ當港ニテ一噸七十磅ヨリ百磅ニテ仲買ス
海鼠ハ七十磅ヨリ九十磅マテトス鼈甲ハ一封度二磅ノ割合ニテ高價ナレモ事業著シク舉ラス
左ニ千八百九十二年ノ輸出入ノ總額ヲ掲ク

輸入品價	五万八百十六磅
輸出品價	十一万六千五百九十二磅
差引輸出價超過	六万五千七百七十六磅

日本支那及濠洲間ニ通ヘルニ海船會社ノ貨物ハ當地ニ荷下シスルモノ概シテ一年三百噸ヨリ三百
六十噸ノ間ニ在リ而シテ其内日本品ノミノ價額ハ凡ソ一万磅ニ下ラスト是等ハ前記ノ通り米、絹品、
陶器若クハ味噌、醬油、水飴ノ類或ハ又苧草ノ鐘詰ナリト云フ此等ハ皆白人ノ手ヲ經サレハ支那人ノ
仕入ル、所トナル今ヤ此地殆ント五百ノ日本人アリ而カモ一ノ商人ヲシキ商人ノ此地ニ進入セサ

ルハ何ゾヤ日本商人ガ海外ニ眼光ヲ注カサルノ罪其本國ニ於テスヲ商利往々外人ニ占有セラルノ
奇觀アル所以ナリ今左ニ重要物品ノ關稅ヲ示スニ

絹織物類	一	價格一磅ニ付	五志
ビール類	一	打	一志六片
火酒類	一	ガロン	十四志
豆類	一	ブツセル	一志
石炭類	一	噸	二志
粉類	一	二千封度	二十志
鴉片	一	封度	二十志
米	一	噸	十五志
砂糖	一	封度	一片
精製砂糖	一	封度	五志
茶袋入箱入品	一	半封度以下	五志八片
同大箱詰	一	其以上一封度	四片
タバコ	一	封度	八片
葉タバコ	一	封度	六片
木材	同	封度	三志
小麥	同	封度	一志
	百ブツセル		一志六片
	一ブツセル		四片

其外雜雇

七 眞珠貝採拾ノ景況

全三磅ヨリ五磅賄付

千八百七十年、バケハ一號ノ船長ウキリヤム、バナナルモノ此海峽諸島ノ間ニ於テ此貝ヲ發見シ之ヲ在シドニ一府ゼームス、マレーマン氏ニ謀リ採貝ニ着手シタリ而シテ全年ノ採貝高八十六噸ニ及ヒ意外ノ好景氣ナルヨリ翌千八百七十一年、ブルーバールド號ノ船長、イーストン氏、クリスチナマレニ一號、イヨシヤス、ウエルスタン氏等此業ニ從事スルニ至レリ翌千七百七十二年、同氏等ハ更ニ二十ヶ月間、食料ヲ用意シ、クキンスランド、本洲ノマセツトノ一角ニステーションヲ建テ其近傍土人ヲ驅テ潜水ニ從事セシメ大ニ此事業ヲ起ス然リト雖モ此當時未ダ潜水器械アルニアラス皆裸體ノ土人ヲモクダラシメ之レヲ拾ヒ上ルニ過キサレハ其場所モ近淺ナル地方ニテ深ク幾尋ノ下ニ潜水能ハス其レト古來會テ人類ノ視目ニ觸レタルトナキ眞珠貝ノ事ナレハ月ニ幾噸ト云フモノ容易ニ拾得スルヲ得タリ且ツ此當時ノ價格タル非常ノ高價ニシテシドニ一噸ニ於テ一噸二百磅ヨリ二百廿磅ニ至リ、ロンドンニ於テ二百廿磅ヨリ二百五十磅ノ高價ヲ見タリシカハ追々白人ノ此業ニ就クモノ増加シ千八百七十四年潜水器械ヲ用フルニ至レリ此時初メテ此器械ニ依リテ水底ニ潜リタルモノ白人ニシテ、マクナヒナルモノナリ其後白人ニシテ、グアイバー、トナリシモノ四人アリシ而シテ此時マテ尙ホ近傍土人ヲ使役シタリシカ數月ナラスシテ南洋土人ヲ呼寄スルニ至レリ

千八百七十五年、ソマセツトヨリ此海峽諸島ノ間ニ十個ノ會社此事業ニ從事セリ而シテ當時ノ船數四十五隻ナリ翌千八百七十六年此サ、イースデー島開カ此所ヲ中央部トナシ事業追々盛大ニ趨キ南洋土人ノミナラス、マニラ、マレー、等ノ人種ヲ輸入シ來リ大ニ此業ヲ擴張スルニ至レリ

千八百八十四年ノ比ヨリ貝ノ直段下落シテ、ロンドンニ相違百六十磅ヨリ百七十磅位ニ至レリ次テ千

八百八十八九年ノ比ニ至リ此近島地方ニ漸ク貝ノ採取高減シ來リ西濠洲ノ邊海頗ル評判ニ上リタルヲ以テ當地ヨリ一時ニ七八十隻ノ採貝船彼地ニ移轉シタルノ事アリ一時甚ダ振ハサリシカ幾何モナクシテ更ニ海峽ノ他ノ部分ニ移轉ホ半分ノ產物アルヲ發見シ續々トシテ此業ヲ起スモノ來島シ大ナル會社六アリ各社共少クモ十五隻多キハ三十隻ノ採貝船ヲ運用ス其三隻五隻ノ小會社十數個アリ之レニ加フテ、ニ一人ニシテ獨立ノ業ヲ爲スモノ數フベカラズ本月ニ於テハ正ニ三百余隻ノ船アリト聞ケリ

當地ニ於テ此營業ヲ爲スモノハ元トヨリ何レノ國籍ヲ問ハス何人ニテモ其鑑札ヲ受クルヲ得ヘシ左ニ眞珠貝採取ニ係ル法律ヲ記出ス

「クキンスランド」殖民地眞珠及海鼠採取業取締條例千八百八十一年裁可

第三條 以下定ム所ニ從ヒ正當ニ免許ヲ得タルモノニ非レバ本令ノ發布後「クキンスランド」領海岸ヨリ三英里以内ニ於テ眞珠及ヒ海鼠採取ノ爲メ船舶若クハ端艇ヲ使用スルヲ得ズ

第四條 殖民地開港場ノ稅關長ハ本令第一號表ノ形式ニ從ヒ眞珠及ヒ海鼠採取業ニ使用スベキ船舶端艇ニ免許狀ヲ附與スルヲ得

第五條 免許狀ヲ附與シ若クハ其再下附ヲ爲スニ附キ次ニ掲ケタル割合ヲ以テ手数料ヲ徵收スベシ

每端艇ニ付キ一磅

噸數十噸以下ノ每船舶ニ付三磅

噸數十噸以上ノ每船舶三十噸ニ至ルマデ

每噸若クハ其一部ニ付十シルリング

噸數三十噸以上ノ每船舶ニ付二十磅

登録セラレタル各船舶ノ噸數ハ登記簿ニ詳記シタルモノニ依ル若シ登記セサルハ該船舶ノ噸數ハ船舶噸數決定規則ニ從ヒ殖民地ノ税關長之ヲ定ムベシ

第五條 本令ニ從ヒ發セラレタル一切ノ免許狀ハ一月一日ヨリ同年十二月三十一日マデ計算シ之ニ効力ヲ有セシム且ツ税關長ハ元免許狀ニ裏書ヲ爲シ以テ之ヲ更新スルヲ得
但七月一日以後發行セラレタル免許狀ニ付テハ一年免許料ノ半額ヲ納付セシム

第六條 當初本令ニ從ヒ免許ヲ受クルコトナクシテ眞珠海嶽採取ノ爲メ使用セラレタル船舶若クハ端艇アルハ其所有主若クハ船長ハ其船舶若クハ端艇ニ關シ納付スベキ免許料三倍ノ額ヲ超過セザル罰金ニ處セラル

此罰金ハ警察官若クハ二名ノ保安官即決裁判ヲ以テ之ヲ徵収ス

第十二條 何人モ眞珠若クハ海嶽採取業ノ爲メ群島人若クハ土人勞働者ヲ傭入ルコトヲ得ズ但是等ノ勞働者ヲ傭入レントシタル場所ニ接近シタル税關若クハ商船局ニ記録シタル書面契約ヲ以テテ之ヲ若クハ千八百七十五年太平洋群島人保護條例ノ條項ニ從ヒ發行セラレタル免許狀ニ當該依例爲シタルモノハ此限ニ非ズ
千八百八十一年眞珠及海鼠採取業取締條例補正

第十三條 其一端ヨリ他ノ一端ニ至ルノ長サ六インチ以下ノ眞珠若クハ蜂殻ヲ有シ學術上珠産禽大ニメレザリナ、アルガリチコエト稱スルモノ及ビ金銀銀屑ト普通ニ稱スル種類ノ眞珠蠟ヲ賣テ却シ店頭ニ之ヲ陳列シ殖民地ヨリ之ヲ輸出セント企テ若クハ殖民地内ヲ限リテ培養スル目的ヲ外ニ於テ之ヲ運搬スル人及ビ之ヲ買入ル、眞珠商人ハ其占有セル眞珠蠟殻ニ付キ五磅以下ノ八百罰金ニ處シ且ツ眞珠貝ノ入物及ビ眞珠貝塊ハ沒收セラル

此殼ヲ占有セル人ハ検査官ノ求ニ應ジ同品ヲ讓受ケタル人ノ氏名ヲ開陳スベシ若シ之ヲ怠ルハ五磅以下ノ罰金ニ處ス

但シクッキンスランドノ或ル特定ノ領海内ニ於テ採取シタル場合ニ其十分ニ成長シタル眞珠蠟殻ノ常容ガ玆ニ定ムル所ノモノヨリ小ナリト州廳官總長ニ於テ之ヲ認ムルハ同官ハ告示ヲ以テ他ノ寸法ニ之ヲ改定スルヲ得

發見シタル眞珠貝ニ關シ改定ヲ命シタル寸法ハ本條ノ改定ト看做ス
通常矮殼ト稱スル眞珠貝ノ場合ニ於テハ請求ニ應ジ其容本條ニ定ムルモノヨリ小ナルニ拘ハテズ検査官ノ裁量ヲ以テ其賣買運搬ヲ許スヲ得

本條ノ規定ハ此許可ヲ與ヘタル場合ニ適用セズ
検査官ハ取集メ運搬シ若クハ賣出シタル眞珠蠟殻ヲ検査シ且ツ玆ニ定ムルモノヨリモ小容ナル殼ヲ入レタル包囊中ノ殼及ヒ殼塊ヲ取押ルヲ得

第十四條 一ケンデー港ニ於ケル警察官ハ性質善良品行方正ナリト認ムル人ニ對シ眞珠商賣ノ免許狀ヲ附與スルヲ得
免許料トシテ二十五磅ヲ納付セシム

免許狀ハ其發行後最近ノ十二月三十一日マテ有効トス然レモ被免許者ガ眞珠貝及海鼠採取業取締條例若クハ千八百八十五年免許條例ヲ犯シタルハ警察官ハ之ヲ取消スヲ得

第十五條 千八百九十一年十二月三十一日後ハ漁業場若クハケンデー港ニ於テ當初眞珠商賣ノ免許ヲ得ズシテ眞珠ノ買入ヲ爲スヲ得ズ但免許眞珠商ヨリ買入ル、モノハ此限ニ非ス
其日附後或ル漁業場若クハケンデー港ニ於テ眞珠ノ買入ヲ爲ス非免許人ハ百磅以下ノ罰金ニ

處ス但免許眞珠商ヨリ買入ル、モノハ此限ニ非ズ

以上ノ如ク相當ノ手數料拂ヒ免許鑑札ヲ受ケ年々法ニ定ムルノ稅額ヲ納ムルヲ以テ足レリトス而シテ當時本業ニ從事スルモノ殆ント二千余人アリ昨年政應ニ於テ免許シタル船數ハ二百三十二隻ナリ本年ニ入りテ新規鑑札ヲ受ケタルモノ凡ソ五六十隻アリト云ヘハ合計殆ント三百隻アルハ大ナル誤謬ニアラサルヘシ此内ニテ白人ノ所有支配ニ屬スルモノ凡ソ二百廿隻アルヘシ日本人ノ獨立營業ニ屬スル所有船廿七隻他ノ四五十隻ノ所「マニラ」「マレー」「サウシー」其他雜種人ノ所有ニ屬スヘシ

今其船ヲ見ルニ凡ソ十噸ヨリ十五六噸ノ間ニ在リボシブ其他潜水器械一切ヲ添ヘテ六百磅ヨリ七百五十磅ノ間ニ價スト云フ而シ其船ハ凡ソ十五年間ノ使用ニ堪フルモノニシテ器械亦然リ而シテ潜水者ノ水底ニ着用スル護膜衣ハ大低年ニ二襲ヲ要スヘシ其空氣ヲ輸送スル護膜管ハ一年ニ二回取換ルヲ法ト爲ス而シテ一般ノ定員ヲ六人トシテ七人タリ即チ水底ニ潜リテ働クモノ一人器械ヲ運轉スルモノ二人護膜管ヲ以テ運フモノ一人水底トノ相圖通信ヲ司ルモノ一人雜用ニナルモノ一人之レヲ一船ノ定員ト爲ス

今其一船ノ費用ヲ聞クニ一ヶ月ノ食料八磅給金六人ニテ廿磅其外雜費二磅ニテ凡ソ三十磅前後ヲ以テ一ヶ月ノ費用ヲ支拂フ而シテ其收穫ヲ舉レハ極メテ少クシテ一ヶ月半噸多キハ二噸三噸ニ及ブ「ア」一年平均ニシテ八噸ヲ普通ナリト云フ試ミニ一噸ノ價ヲ百磅トスレハ一年八百磅一ヶ月凡ソ六十六磅強ニ當ル此業利益ノ在ル所推シテ知ルヘシ

雖然此業ニ於ケル「ダイバー」ナルモノ即チ水底ニ働クモノハ何人ニモ出來得ヘキモノニアラス少クトモ一年間ノ稽古ヲ經サレハ十分ニ具ヲ採拾スルノ技能ヲ得スト云フ而シテ此「ダイバー」ハ何レノ

國人カ尤モ巧妙ナルヤト云ヘハ實ニ日本人ニ及ブモノナシ次ニ「マニラ」「マレー」「サウシー」ニ至テハ間々傑出ノモノナキニアラサレトモ全体トシテ數等ヲ下ル其白人輩ニ至テハ又一層拙劣ニシテ彼等ハ到底水底ニ働クノ技能ニ欠クルモノナリト云フニ至レリ又奇ナル事ハ支那人ニ於テ一人ノ「ダイバー」ナキ「」是レナリ支那人ナルモノハ果シテ天資水底ニ働キ得サルモノカ亦或ハ濠洲ニ來ルノ歴史上ヨリ自然ニ該ル習慣ヲ誘致シタルモノカ兎ニ角支那人ハ獨リ此探貝ノ業ヲナスモノナキノ「ミナ」ラス之ヲ賣買スルモノスラナク一人トシテ此事業ニ關係スルモノ無キハ頗ル奇怪ノ現象ナリサレドモ「ボート」ドウキン等ニ於テハ他ノ魚類ノ業ニハ幾多ノ支那人從事シ居ルヲ見タリ而シテ西濠洲及北西海岸ヨリ此地方ニ至ル眞珠貝ノ大漁場ニ於テ一ノ支那人ヲ見サルナリ

而シテ此「ダイバー」ナルモノハ僅カニ一線ノ護膜管ニ依頼シテ水底幾尋ニ潜ルモノナレハ其危險タル言ヲ俟タズ今日迄此勞働ニ依リ此危險ノ犠牲トナリタルモノ舉ケテ數フヘカラス幸ヒニシテ此近傍諸島間ハ四五尋ヨリ十二三尋ニ過キサルヲ以テ危險少ナク爲メニ非常ノ最後ヲ遂ケタルモノ多カラスト雖モ海峽北邊「ダン」レ「」嶋近傍ニ至レハ廿四五尋ヨリ三十余尋ニ及ブ所アリテ其危險タル尤モ甚シ一休探貝法ノ規定ニ於テハ廿一尋以上ニ入ルヘカラストスレモ貝産ノ夥シクシテ一週幾噸ヲ揚グルノ地方ニ於テハ多慾ノ情ニ於テツイ其規定外ニ深入シ空氣ノ壓窄ニ遇ヒ非命ノ死ニ斃ル、モノ甚タ多シ今春以來右廿四五尋以上ニ深入シテ死シタルモノ白人ニシテ廿四五名アリ日本ニシテ三四名アリ其他「マニラ」「マレー」ノ族ニモ多少アルヘシ當時島人嘖々トシテ其地方ニ漁スノ非ヲ論シ政廳ハ諭告文ヲ廣布シテ其注意ヲ促スト雖モ漸次本島近傍ニ産出減少シ且ツ多額ノ利ヲ占メントスルヨリ勢ヒ該地方ニ險ヲ冒スモノ尙ホ未ダ跡ヲ絶タズ慨歎ノ外ナシト云フ

ニ於ケル當時ノ相場ヲ聞クニ一等ハ一噸ニ付百五十磅二等ハ百二三十磅三等ハ百磅前後四等ハ七八十磅ニシテ等外トシテ三四十磅ノモノモアリト云フ當地ノ仲買商カ之ヲ買入ル、ニ至リテハ常ニ右四種ノ平均相場ヲ取リテ標準トナス即チ右ノ平均相場ハ百十五磅ナリ然レモ彼レ等ハ無智ノ探貝者ヲ瞞着シテ屢々之ヲ安價ニ買斃サントスルノ企アリト云フ當時ハ貝ノ直段聊カ下落シテ最良ナルハ「ロンドン」ニ於テ八月ノ相場百四十磅ナリシ然レモ之ヲ突込相場トシテ九十磅ヲ下ル「アラサル」ニ日本人等カ賣込ノ價格ヲ聞クニ八十磅前後ニシテ時トシテ七十磅ニ買ハント試ミル「アリト」云フ

眞珠貝商ノ仲買ノ利益タル非常ニシテ彼等カ實際水揚ゲヨリ荷造リ保險料運賃ヲ込メテ一切ノ費用其「ロンドン」ノ市場ニ出ツルマテ一噸ニ付多クシテ十六磅ヲ要スヘク時ニ或ハ五六磅ニ過キサル「アリト」云フ今其割合ヲ聞クニ

水揚費用

二磅

保險費用

五磅ヨリ十磅

店ツ手数料

二磅十志

運賃

五十五志六片

夫レ如此ニシテ彼等八年々莫大ノ利益ヲ収ム彼等カ競々競々トシテ只競争者ノ起ラン「テ」恐ル賊ニ故アル哉然リト雖モ眞珠貝ノ將來ニ付テハ當時一大問題トナレリ蓋シ此業タル種ヲ播ヒテ收穫スルモノニアラスシテ自然ノ生長ヲ待ツニ外ナラサレハ限リナキ採貝船ノ需用ニ應スル能ハスト云フニアリ

千八百九十一年新令ヲ出シテ徑六寸ニ滿タザル幼貝採拾ヲ禁シ此貝ノ生育ヲ保護スルニ至リタリ

ト雖モ此貝ノ生長タル早クモ五六年ヲ經過セサレハ六寸以上ニ發育スル「テ」能ハスト云ヘハ此レカ收穫ノ範圍タル推シテ知ルヘキナリ

最初本業ノ起ルヤ僅カニ「ソマセツ」海角ヨリ此「プリンス」オ「ウエル」ス群島ノ間ニ於テ容易ニ拾得スルヲ得且ツ五六十隻ノ船ノ得ル所毎歲非常ノ多額ナリシカ追々船數ノ増加スルト共ニ此群島近海ハ悉皆取リ盡シタルノ有様トナリ次第ニ此近海ヲ搜索シ段々遠隔ノ地ニ於テ採拾セサルヘカ「サ」ルニ至リ當時三百余隻ノ船ハ本島ヲ距ル六七十里ヨリ百五十里内外ノ所ニ於テ營業スルノ景況ナリ然リテ雖モ此海峡ニ於ケル此貝ノ富饒ナル船數從テ殖エ從テ其收穫高ヲ増ス人ノ評スル所ニ依レハ此海峡ノ北邊ヨリ「ニューギニ」ト「西南岸」ハ未タ中々十年内外ヲ以テ取リ盡シ得ヘカ「サ」ルヘシ獨リ怨ムラクハ和蘭領ノ海岸外國人ノ採貝ヲ許容セサルニ在リト蓋シ此近海カ如何ニ此眞珠貝ニ富ムカチ知ルニ足ラン今左ニ既往四年間ノ船數收穫噸數及其價格ヲ掲ク

千八百八十九年	百四十四隻	六百二十噸余	六万四千二百九十一磅
千八百九十年	百五十七隻	六百三十二噸余	六万四千六百六十六磅
千八百九十一年	百八十三隻	七百六十九噸余	七万九千八百四十磅
千八百九十二年	二百三十二隻	九百三十一噸余	九万二千五百九十八磅

而シテ千八百九十三年ニ入り己ニ新船五六十隻アリト云ヘハ此事業ノ非常ナル好景氣タルヲ證スルト共ニ將來ニ於ケル運命ヲ憂フルハ此貝生産ノ性質ヨリ無理ナラヌ事ナリ何トナレハ此海峡ノ繁昌ハ一ニ此貝ノ收穫如何ニ依賴スルモノナレハナリ當時有志ノ輩ニシテ區域ヲ限リ幼貝保育ヲ試ミニトスルモノナキニアラサレモ未タ以テ事業上ノ特ミトスルニ足ラス

在留日本人ノ情態

我同胞ノ渡航歴史ヲ考フルニ明治九年千八百七十六年ノ比島根縣人野波某外國船ノ水夫タリシカ故アリテ本島ニ來着シ諸所ニ漂泊セシニ其當時恰カモ白人等カ彼ノ探貝事業ノ爲メニ思フ儘ニ利益ヲ專占スルノ場合ニシテ其勞働者ヲ要スルト早天ニ雲霓ヲ望ムカ如ク殊ニ其ダイバー即チ潜水者ニ至リテハ甚タ少ク白人等自身ハ拙劣ヲ極メ支那人ヲ試ミタレト到底用ニ立タス儘カニ南洋土人ノ力ニ依リ此營業ヲ運轉シ居ルノ際ナレト日本人來リタリトテ日本人ヲ使用スルノ意ハ毫末モ念頭ニ及ハサリシ何トナレハ已ニ支那人ヲ試ミタレト彼レ此業ニ從事スル能ハサルヲ以テ日本人亦然リト思惟シタルニ由ルナリ然ルニ其當時ハ如此ダイバー即チ探貝高一百ニ付二磅若クハ三磅ノ約定ナリシ而シテ未タ探貝着手ノ當坐ニシテ貝ノ膠シキ工儘カニ二三尋ノ淺瀬ニ於テ容易ニ拾得スルヲ得敏捷ナルダイバーハ一日ニ八百九百ニ千ト云フ大數ヲ揚グルヲ得タリト此等ノ境遇コソ眞ニ落チタル金ヲ拾フニ異テス野波某ノ如キ之ヲ見テ垂涎ニ堪ヘス刻苦奮發シテ潜水ノ術ヲ稽古シ數年一日ノ如ク精勵シタルノ結果ハ遂ニ本島ニ於ケル第一等ノダイバート評判セラレ初メテ白人輩ニ日本人カ潜水ノ技能ニ達スルヲ知ラシムルニ至レリ次テ明治十四五年千八百八十二年比矢張リ水夫ヲ業トシタル日本人數人右野波ノ評判ヲ聞キ傳ヘテ本島ニ到着シタリ而シテ右等ノ日本人モ亦「ダイバー」トシテ頗ル好成績ヲ得爾々日本人ノ技能ハ評判トナレリ是ニ於テ烟眼ナル白奴ハ早ク已ニ日本人ニ依テ大利ヲ占メント計畫シ明治十六年即チ千八百八十三年キヤピテン、メロラ、チルモノ日本ニ出張シ横濱ヨリ三十六人ノ勞働者ヲ三年間ノ契約ヲ以テ(横濱潜水業増田某ノ部下ト聞ク)二月二磅ノ給料尤モ水底ニ働クモノハ十磅ニテ前述百個ニ付幾何トノ割合アリシハ勿論ナリ而シテ其結果タル他ノ「マニラ」マレ」ノ族ニ優レタル出來バモ方カリシト雖トモ兎ニ角日本人カ此事

業ニ付テ尤モ適當ノ勞働者ナリトハ確カニ判定セラレタリ次テ明治十七年オリヤシナルモノ神戶ヨリ七十余人ヲ契約シテ連レ來レリ其内多クハ紀州人ナリ此等ハ皆三年ノ契約勞働者ニシテ其期限終リテ歸郷シタルノ結果大ニ神戸地方ノ評判トナリ特ニ紀州ニ於テハ格別ニ人心ヲ誘起シタルモノアリ即チ紀州人ノ某「ボルジカ」ト號スル富籤ニ當リ俄カ分限トナリ濠洲ノ地恰カモ金ニテ埋マルカ如キ觀念ヲ吹込ミタリ是ヲ以テ明治二十二二年比ヨリ紀州人ノ續々渡航スルモノアルニ至レリ今ヤ在留日本人ハ總數四百五六十名ニ及フ而シテ其三分ノ二ハ紀州人ナリ左ニ縣別ノ概要ヲ掲ゲテ之ヲ證ス

- 紀州人 三百名
- 長崎縣人 四十名
- 廣嶋縣人 三十名

右ノ外ハ福岡、大分、愛媛、三重、兵庫、山口、香川、高知等ノ諸縣人ニシテ東京府ノ人一兩名ノ外關東ノ人ヲ見ス今左ニ尤モ著名ナル明治二十四年千八百九十一年以來ノ到着船便ト人數ヲ掲グレハ

- 明治廿四年二月十三日着 九名
- 全 十一月十八日全 三名
- 全 廿五年三月十三日全 十五名
- 全 四月 三日全 廿八名
- 全 全 六日全 廿三名
- 全 八月十一日全 六名
- 全 九月十三日全 九名

明治廿五年十二月二日着

- 全 廿六年二月十五日全
- 全 廿八日全
- 全 四月二十日全
- 全 六月十五日全
- 全 八月廿四日全
- 全 八月廿五日全
- 全 九月一日全

以上小計三百三十一名

外 廿四年以前在留百七十八名

内 本年迄ニ歸國シタルモノ四五十名

- 八 名
- 九十八名
- 十六名
- 四十二名
- 廿六名
- 十 名
- 六 名
- 三十二名

右ハ本島白人ヲシテ驚慌ヲ起サシメタル三年來ノ渡航人數ナリ而シテ其本年ニ入リテ來着シタル三百三十名ハ其九分通り紀州人ナリトス今其紀州人カ如何ニシテ斯ル多數ヲ此地ニ送り又如何ナル方法ヲ以テ當地ニ來ルカヲ聞ク

紀州人カ當地ニ來ル原因ハ前ニ述ヘタル如ク數年前神戸ヨリ契約労働ニテ來リタル人々ノ各々好結果ヲ得テ一人少クトモ五百圓内外ノ金ヲ取得シタルヨリ非常ニ該地方ノ濠洲人氣ヲ喚ヒ起シ之ニ加フルニ當リテ一時二万五千磅ノ大金ヲ持テ歸リタルモノアル等種々ノ原因ヨリ我モ我モト田畑家屋敷等質ニシテ渡來スルニ至レリ殊ニ全國西牟婁郡潮岬村ノ如キハ殆ント全村ヲ舉ケ來島シタルノ勢ニシテ其風潮ノ及ブ所一旦濠洲ニ出稼シタルト否トハ假令金ヲ儲ケタルト否ト

ヲ問ハス其人ノ價值ニ迄影響シ婚嫁養子ノ話ニ於テモ先ツ以テ其人ノ濠洲ニ經歷アルヤ否ヤヲ問フニ至ルト云フ而シテ紀州人ノ出稼先ハ濠洲ハ獨リ當海峽ノミナラス亦彼ノ西濠洲ノ眞珠貝業ニ向テ夥ク労働シ居ルト聞ク而シテ紀州人カ如何ナル方法ヲ以テ外國ニ出テ得ルカト云フニ紀州人ハ割合ニ團結力強ク又浪費者少ナク來航一年ノ后ハ少クトモ百圓内外ヲ送金セサルハ少キヲ以テ村々ノ所謂金主ナルモノ進ニテ其貧民ニ對シ旅費支度費ヲ貸附スルニ在リ故ニ紀州人ノ渡航者ニ付テ聞クニ多クハ村々ノ金主ト契約ヲ結ヒテ其費用ニ依リテ來着スルモノナリ而シテ其借用スル所ノ金額ハ一人前凡ソ百圓ヨリ百二三十圓ト爲ス但シ其契約タル一人一個ニ對シテ貸出スニアラズ必ス十人以上ノ出稼組合ヲ設ケテ互ニ連帶責任ヲ以テ借金スルモノ且ツ必ス一人ニ付キ親戚ノ者保證ニ立タサルヘカラス故ニ若シ出稼本人死亡其他何様ノコアリトモ殘組人ニ於テ割前ヲ出シ金主ニ迷惑ヲ掛ケサルノ方法ナリ而シテ殘組人ハ亦死亡者ノ親戚ニ對シ其割前ヲ請求シ得ルノ仕組ナリトス又更ニ一步ヲ進メタルノ方法アリ即チ若シ出稼人中極貧ノ者アリテ留守中其家族ヲ養育スルモノナキハ更ニ金主ハ期限間其家族ノ食料ヲ補助スルコト是ナリ夫レ如此ニシテ渡航シ總テ三年ノ契約ヲ以テ當地ニ働キ其得タル給金ヲ以テ先ツ第一ニ旅費支度料ヲ返償シ且ツ滞在中心ノ諸費用ヲ差引キ全ク殘益トシテ國許ニ持テ歸ル金高チ四分六分ニ分割シ金主其四分ヲ取り出稼人ハ六分ヲ以テ満足ス故ニ此金ヲ貸出ス所ノ金主ノ利ヲ得ルコト莫大ナル更ニ高利貸ニ幾倍ス利足ノ莫大ナルノミナラス尤モ安全ナル方法ナリ一方ヨリ見レハ出稼人ハ僅カ六分ニ安セサルヘカヲサルハ聊カ殘酷ナルカ如シト雖モ然レモ國許ニ於ケル一年營々四十圓ヲ貸シテ之ヲ以テ妻子ヲ衣食スルニ較レハ利益ト名譽彼等ハ村中ニテ名聞ヲ得ルナリテ得ル零塊ノ差アリ彼等カ喜ンテ此契約ヲ履ム所以ナリ今左ニ紀州人出稼ニ關スル金主トノ契約書ノ一例ヲ掲ク

某々組

一 今般和歌山縣西牟婁郡本村某外三名ヲ甲者トシ全縣全郡全村外十三名ヲ乙者トシ某々組ト稱ヘ共算組合ヲ以テ左ノ條々ヲ契約ス

第一條 甲者金一千四百五十圓ヲ乙者ハ貸與シ乙者ハ該金ヲ以テ渡航費並衣食費トシ澳大利へ出稼スルモノトス

第二條 乙者勞働金ハ往復渡航費ヲ引去リタル殘額高十分ノ四ヲ甲者出金ノ利子及ヒ監督員ノ給料トシテ甲者ハ收入ス尤モ乙者ハ該十分ノ六ヲ各平等ニ分配シ甲者ハ該十分ノ四ノ内監督員給料及ヒ諸費ヲ引去リタル殘額ヲ各出金ニ分割ス尤モ第一條外ノ出資雖此組合ニ係ル出金ハ算入スルモノトス

第三條 但シ甲者支出ノ元金ハ引去リタル渡航費金ノ内ヲ以テ返却スルモノトス

第四條 乙者出稼中都合ニ依リ水産事業其他商業ヲ爲ス時ハ其損益ヲ折半シ甲者ト乙者監督人某ト各負擔收入スバシ甲者ハ其負擔收入額ヲ各其出資額ニ應シ分配シ監督員ノ給料ヲ要セス乙者監督人ハ其負擔收入高ノ内實業地ニ於テ乙者一同ト共職ヲ以テ分配ノ步合ヲ定ムヘシ

第五條 但出稼地ニ於テ起ス事業ニ對スル資本ハ其地ニテ乙者ノ收入金ヲ以テ是ニ充ツルモノナルハ甲者ハ第二條出資外更ニ出金ヲナサス

第六條 乙者ハ身体ノ生命保險ヲ受クヘシ該掛金ハ第一條ノ支出金ノ内ヲ以テ甲者ヨリ年期中支取ル計算ノ節勞働收入金ニ差加ヘ第二條ニ依リ分配ス

但保險契約年期中下雖在都合ヲ以テ掛金ヲ停止スルコトアルヘシ

第五條 送金ハ可成至急ノ法ヲ以テ乙者ヨリ甲者へ送金スバシ假令ヒ少額ノ金ト雖在自家或ハ其他へ私ニ送金スルヲ得ス

但甲者ハ其送金ヲ領取セハ郵便貯金又ハ其他ノ法ヲ以テ利殖法ヲ計ルヘシ

第六條 乙者ハ毎月々表ヲ製シ乙者ノ異動ノ收入金及ヒ商業其他ノ景況ヲ記入シ甲者へ送付スヘシ

第七條 乙者ハ出稼中自費ナルト社費ナルトヲ問ハス乙者一同承諾アルニアラサレハ金錢ヲ消費スルヲ得ス故ニ止ムヲ得サル費用タリト乙者一同申合ノ決定ニ據ルヘシ

第八條 乙者澳國在留中疾病又ハ不幸ニシテ死亡ニヨリ欠勤アルモ其益金ノ分配ハ他ノ乙者ト同等ニ當人又ハ其遺族ヘ分配スヘシ故ニ疾病死亡等ノ諸費ハ其乙者又ハ其乙者遺族ノ負擔トシ分配金ニテ引去ルヘシ尤モ其費用分配ニ超過スルハ其超過額ハ當組ヨリ支出スヘシ

但疾病ニ依リ歸國スルモノアルハ歸國費用ハ當組ニテ支出シ損益分配ハ出稼地發途ノ日ヨリ除名ス尤モ計算ハ乙者一同歸國ノ后ニアラサレハ精算セス

第九條 甲者ハ乙者某ヲ以テ代理人ト定メ乙者ヲ監督セシム故ニ乙者ハ總テ監督人ノ指揮ニ從フヘシ但監督者ノ給料ハ第二條甲者收益金ノ内ニ歩(則チ一百圓ニ)ヲ給與スヘシ若シ監督増員スルハ該二步ノ内ヲ以テ示談取極ムヘシ

第十條 乙者中勤勞拔群ニシテ收益非常ナルモノハ甲乙協議ノ上相當賞與金ヲナスヘシ

第十一條 乙者澳國出稼中金錢賸昧或ハ故ナクシテ欠勤三十日以上ニ及ヒ又ハ我日本帝國並ニ在留國ノ法律ニ違犯シ此契約ニ違背スルモノハ分配金ノ全額又ハ幾分ヲ沒收スルコトアルヘシ

但没収スヘキ金額ハ甲乙評定ノ上取極ムヘシ
右ノ條々取極メタル證據トシテ二通ヲ作り甲乙各一通ヲ保管スヘシ依テ左ニ署名捺印スルモノ也
明治廿五年十二月十三日

甲者 某、
乙者 某、
右親族 某、

以上ハ一組合ノ例ニ過キサレバ聞ク所ニ依レハ大凡ソ如此主旨ノ契約ハ紀州一般ニ例トナリ居ル
ヲ以テ之ヲ以テ全部ノ主意ト見ルハ大ナル誤謬ニアラズト云フ
當時日本人ノ職業ハ概シテ海上ニ勞働スル採貝業ナレバ已ニ五百ニ近キ同胞ノ集合ナレハ中ニハ
種々ノ業ヲ營ムモノアリ堂々タル住家ヲ築キテ家族ヲ養フモノ商業ヲ營ムモノ總テ十七戸アリ其
上未ダ建築中ノモノ二三アリ先ツ他人種ニ比シテ耻シカラヌ位地ヲ占ム其内雜貨商五戸飲食店三
戸旅店三戸玉突場二戸其他ハ採貝業者ノ住家ナリ此外ニ悲ムヘキ憂フヘク且ツ憎ムヘキ醜業ヲ營
ムモノ四戸島ノ西岸ニ軒ヲ連ヌ
在留日本人ノ内婦女ノ數廿五人アリ而シテ人ノ妻ト化シタルモノアリ妾ノ如キモノアリ鐵面自ラ
賣婦ト號スルモノアリ左ニ在留婦人ノ真相ヲ見シ
長崎縣 二十名
熊本縣 二名
東京府 一名
右在內十名ハ或ハ式ニ依リテ結婚シタルモノ或ハ内々妻トナリ或ハ公然外人ノ妾トナリ格段ニ醜
ヲ示サレルモノナリ殘十五名ハ全クノ醜業婦ニシテ申ニハ自ラ妻ト稱スルモノアリト雖戸醜業家

ノ主人ニ仕フルモノ事實妻ニシテ公然尙ホ歐行ヲ爲スモノナリ今右等婦人ノ年齢ヲ調フルニ
醜業婦ニアラサルモノ
三十歳以上四十歳以下 三人
二十歳以上三十歳以下 六人
二十歳以下 一人
醜業婦ノ部
三十歳以上四十歳 三人
内一人三十八歳ノモノアリ
二十歳以上三十歳 六人
十七歳以上二十歳 六人
右等廿五人ノ婦人中當時人ノ妻ト云ヒ妾ト云フモ皆一度ハ盡ク泥中ニ在リシモノ清麗ノモノ一人
モナキハ實ニ慨歎ノ至リニ堪ヘス今更ニ此等醜婦ヲ誘ヒテ外國ニ日本國ノ耻辱ヲ賣ル奴輩ノ姓名
ヲ舉クレハ山口縣人山尻市太郎長崎縣人森山米二郎靜岡縣人佐野清次郎愛媛縣人濱田力造トス此
等奴輩ノ過去ノ職業ハ外國船ノボーイ火夫水夫等ニ諸國ヲ渡リタルモノナリ奇怪ナルハ當島官吏
ノ舉動トス彼等ノ中ニハ右醜業者ヨリ賄賂ヲ受ケテ隱然彼等ヲ庇保セントスルノ形跡アリ否當時
ハ公然保護セントスルノ舉動アリ數月前ヨリ每週一回梅毒検査ヲ行ヒ毎月官吏共醜場ニ臨ンテ家
屋ヲ点檢ス此等固ヨリ衛生上ノ必要ヨリ起ルモノナリトハ云ヘ在留日本人ノ正業者カ彼者ノ爲メ
少ナカラヌ耻辱ヲ分ケ前スルヲ憤リ奮起幾度カ彼等驅逐ノ策ヲ講シタルモ常ニ政廳官吏ノ横議ニ
由リ日本人ノ正義ヲ實行スル能ハス然レトモ彼等白人中亦具眼者ナキニアラス此日本人ノ露々ニ

依リ大ニ醜業者ヲ免シ置クノ非ヲ嗚ラシ追テ市會ヲ開カシメ此問題ヲ議シタルイアルモ悲哉彼等ハ自國人ノ毀譽ニ關セストテ其俗論一二ノ多數ニ否決セラレタリト何ソ彼等カ行政ノ奇怪ナルヤ此際怨ム所ハ在留日本人中正義ノ思想ヲ有スルモ醜見ノ秀拔彼等白人ニ談論スルノ技能アルモノナク白人己ニ之ヲ知ルヲ以テ無禮遂ニ是ニ至ル若シ當地ニ日本政府ノ代表者アリ若クハ多少彼等ニ交際シ得ルノ有志者アラハ未タ如此ニ至ラサルヘシ醜業婦問題小ニシテ未タ必スシモ小ニアラサルナリ

今ヤ當地在留五百ノ日本人ハ如何ナル地位ニアルカ其白人トノ感情他人種トノ交際又ハ日本人自身ハ此新殖民地ニ於テ如何ニ發達シ居ルガ又將來如何ニ進歩シツカアルカ要スルニ當時日本出稼人ノ價值如何

此問題ハ至要ノ問題ナリ少クトモ日本人カ海外ニ於ケル運動ノ價值ノ一部ヲ定ムルモノナリ此觀察若シ一步ヲ誤ラハ將來ノ殖民政略ニ於テ或ハ少カラサル影響ヲ及ボスヘシ予ハ先ツ當地ニ於ケル日本人ノ有儘ノ事實ヲ擧ケテ此問題ヲ決セントス

元來當地ニ在留スル日本人ハ果シテ如何ナル階級ニ在ルヤ紀州西牟婁郡ノ漁民ニアラサレハ長崎縣ノ濱人ナリ否ヲサレハ所謂黑船乗ノ流落シタルモノ目ニ一丁字アルモノ五百人中幾何アリヤ就テ物ノ理義ヲ斷シ得ルモノ幾人アリヤ此等實際ヲ擧ケ來ル時ハ誠ニ遺憾ニ堪ヘサルモノアリ何トナレハ外國人ハ之ヲ以テ日本人ノ代表者ト見レハナリ然リ實ニ日本四千万ノ平均ヨリスレハ先ツ多數ノ代表者ト見做サハルヘカラス亦然リ之ヲ見テ可ナリ夫レ如此自己ノ意思ヲ十分ニ説明シ能ハサル程ノ極メテ下等人民ノ團集ナリト雖モ幸ヒニシテ遊民少ナク職業ヲ得スシテ同土食ヲ爲スモノアラス五百ノ移民其生計ニ満足シ居ルノ一事ハ日本人民ヲ他國民ニ比シテ日本人民タルノ

舉動ヲ最モ公平ニ批評スルノ好材料ナリ

夫レ不適當ナル職業ニ從事スルカ若クハ需用供給相適ハザルノ地方ニ立ツカ若クハ其他ノ事情ニ迫ラレテ無理ナル生活ヲ爲サハルヘカラサルガ如キ境遇ニアツテハ何程多數ノ日本人アリト雖トモ以テ眞ノ日本人民タル舉動ヲ表示スル能ハサルハ理正ニ然ルヘキナリ例ヘハ米國在留日本人ノ如キ七千ノ多數該地ニアリト雖モ未タ以テ日本人カ移住殖民ノ模範トナリテ世界ニ表示セラル、能ハサルハ何ソヤ需用供給相適ハサルニアラス其職業ノ不適當ナルニアラスト雖モ彼レノ社會ハ已ニ著シク秩序ノ整理シタルモノ我日本人カ突如トシテ其間ニ進入シ何事ヲカ爲シ得ンヤ獨リ衆寡ノ勢敵セサルノミナラス其利アラサルハ攻守ノ地位異ナレハナリ此其在米日本人カ事情ニ迫ラレテ無理ナル生活ヲ爲サハルヘカラサル境遇ニアルヲ以テナリ

當地ハ日本人カ海外ニ於テ外國人ト生存競争ノ舞臺ニ立テ日本人民ノ能力ヲ表示スルノ好試驗場ナリ今左ニ重複ナカラ當地住民ノ國籍ヲ掲ケ其人數ヲ比較セン

- 白人 四百七十五人
- 日本人 四百五十六人
- マニラ 三百人
- マレー 三百人
- 南洋土人 五百人

右ハ當地ノ事業上ニ重要ノ關係アルモノ、ミナ掲ク他ハ雜種ニアラサレハ土蕃ノ族ニ過キサレハ固ヨリ社交上ノ問題ニ上ルヘキニアラス

靜カニ以上ノ國籍ヲ見而シテ右人種ノ何レカ優者ナルカ何レカ劣者ナルカヲ決セハ先ツ世界ニ於

テ少クトモ南半球ニ於テ生存競争ノ將來ヲ斷スルニ甚シキ誤謬ヲ見サルヘシ
 「マニラ」マレー南洋土人ハ措テ論セス白人ト日本人トノ關係ヲ熟察センニ其數恰モ匹敵シテ之ヲ較
 スルニ最モ便利ナリ白人ハ廿年前ヨリ此海峽ニ事業ヲナスモノ即チ先入ノ主人ナリ且ツ彼等ハ自
 分ノ領内ニシテ政治上社會上十分ナル權利便益ヲ有スルモノ且ツ彼等ノ多クハ資本主ニシテ金錢
 上ノ權利ハ當初ヨリ彼等ノ掌握スル所ナリ且ツ彼等ハ十分ナル教育ナシトスルモ自分ノ意思ヲ説
 明シ能ハサルモノナキノミナラス普通ノ書狀ヲ認メ能ハサルモノ亦少シトス且ツ彼等ハ体力優等
 ニシテ黄色人種ノ殆ント一倍ノ腕力ヲ有スルモノ也
 日本人ハ本島ニ來リテ其多數カ他人ノ指目ニ上リタルハ漸ク昨年ニアリ勿論二三ノ勞働者ハ十余
 年前ヨリ來リタリト雖モ而カモ后進ノ客タリ又日本人ハ外國下等人トシテ取扱ハレ政治上ノ投票
 權ナキノミナラス社交上殆ント齒ヒスヘカラサルモノ万事不便不利ノ地位ニアリ又日本人ハ勞働
 者トシテ來リタルモノ一文半錢ノ資ヲ有スルモノアラス又日本人ハ教育アルモノトテハ二三書生
 ナ除クノ外盡ク目ニ一丁字ナキモノナリ又日本人ハ体力白人ノ如ク優大ナラス加之ナラス日常ノ
 利器タル國語ハ皆彼等白人ノ有ニシテ日本人タルモノ英語ヲ解シテ利害ヲ論斷スルモノ殆ント一
 人モアラサルナリ夫レ如斯彼等ハ已ニ体力ノ上ニ智力ノ上ニ政治上ニ社會上ニ百便利ヲ有シ百利
 益ヲ有ス日本人ハ獨リ其反對ニ居ルノミナラス實ニ數ニ於テモ亦白人ニ及ハス
 然リ而シテ日本人ノ現在ハ如何一文ノ資ヲ投スルニアラスシテ今日廿軒ノ住家三十余隻ノ採貝船
 二俱樂部一病院五戸ノ商家一個ノ造船所其他幾多ノ營業ハ三千里外濠洲ノ一角ニ於テ日章旗飄々
 タルノ下以テ白人其他諸外國人ノ間ニ雄視スルニアラスヤ然レトモ是レ實ニ數年以來ノ發達ナリ
 トス若シ此進歩ヲ推シテ數年ノ后ニ見ハ如何白人カ日本人ヲ市會ニ議シ國會ニ議スル豈ニ唯タ白

人勞働者保護ノ意ノミニ係ハランヤ昨年ノクキンスランド衆議院ノ議事ニ於テ其日本人問題ニ付
 一議員ノ辯論ニ曰

日本人ハ支那人ノ如ク吾人社會ヲ商工業ヲ競争者ニアラス日本人ハ單ニ勞働者ノ競争者イニ然
 りト雖モ日本人ノ競争スヘキ勞働ハ白人ノ勞働者ニ非ス見日北極クキンスランド熱帯地方ニ
 吾人白人カ如何ナル勞働ヲナシ能フカ白人ハシユガリプランテーションニ勞働シ能フヤ白人ハ
 眞珠貝採拾ニ從事シ能フヤ若シ日本人ニ反對スルノ論者カ其日本人ノ從事シ得ヘキ勞働ノ種類
 ニ理解シ得ハ其反對ノ無用ナルヲ發見スヘシ本員ハ深ク信ス北部クキンスランドノ如キ熱帯地
 方ニ於テハ日本人ノ勞働者ハ最モ必要ナリト云フ
 或議員ハ之ヲ反駁シテ曰
 日本人ヲ目シテ熱帯地方ニ適スル勞働者ト信スルハ誤謬ノ最モ甚シキモノナリ日本ノ國ニ於テ
 熱帯地ニ屬スルハ南方些少ノ部分ニシテ多クハ寧ロ南部クキンスランドノ氣候ニ類スルモノナ
 リ故ニ日本人ノ勞働者ハ全ク白人ト同一ノ地方ニ立テ競争スヘキハ勢ノ免カレサル所ナリ且ツ
 日本人ヲ目シテ商工業ノ反對者ニアラスト斷スルハ日本人ヲ知ラサルノ論ノミ彼等ノ技術巧藝
 ナ見ヨ彼等ノ能力ハ已ニ世界ニ證據立テラレタルニアラスヤ云々
 右ハ會テ吉佐移民會社カク沖ンスランドニ五百余名ノ勞働者ヲ送りタルニ當リ議會ニ於テ日本人
 ニモ支那人ト同様ノ制限ヲ置カサルヘカラストノ動議ヲ出シタルモノアリ甲論乙駁非常ノ大討論
 ナ經テ遂ニ多數ヲ以テ否決セラレタルモノナリ是等ハ單ニ五百余名ノ日本勞働者ニ對シテ例ノレ
 ボルバーチ上ノ反抗ニ生シタルモノナレバ其所論ノ主旨ニ至テハ彼等カ如何ニ日本人ヲ價シ如何
 ニ日本人ヲ恐怖スルカ知ルニ足ルベシ夫レ如此彼等白人ハ支那人ヲ放逐シ日本人ヲ嫌忌シ所謂

大呼「カレード、レーボア」ト云ヒ「エシヤチツタレ」ト絶叫スルモノハ決シテ勞働者ノ聲ノミニ
 アラス實業社會ハ種々ノ關係ヨリ當時直接ノ影響ナキヲ以テ自ヲ進シテ「アンチ、エシヤチツク」ヲ叫
 ハスト雖モ若シ東洋人種ノ大軍此濠洲ノ邊境ニ吶喊スルキハ東洋人種唯一ノ利器タル安價ノ生活
 力多數此二者ヲ避クルニ由ナク此二欠点ハ生存競争上歐白人必敗ノ地位ニアリテ自ヲ特ミ少ナキ
 ナ感スルハ火ヲ視ルヨリモ明カナリ是ヲ以テカ彼等ハ自然淘汰ニ任シテ競争スル丁能ハス鄙怯ニ
 モ政治的權利ヲ揮ヒテ自ヲ安シセントスルノ傾アリ米國ノ例已ニ然リ此濠洲ノ例亦然リ然リト雖
 トモ此等人爲的保果果シテ何年ヲ維持スルヲ得ルヤ吾人ハ彼等ニ何年間如此安眠ヲ貪ラシムルヤ
 時勢ハ轉移ス生存競争ノ舞臺ハ何邊ニカ廻リ來ル
 日本人ハ前ニ述ヘタル如ク千八百九十年以來ノ歴史ニシテ其前ハ僅カニ數十人論スルニ足ラザリ
 シナリ而シテ資本家ト云フモノ一八モナク皆勞働者ニシテ月ニ二磅半ヨリ三磅五磅若クハ十磅二
 十磅宛儲ケタルモノ漸次産ヲ爲シ千八百九十一年二隻ノ日本人船此海峽ニ浮ヒタルヲ始メトシ或
 ハ獨立シテ一八二隻以上ヲ有スルモ或ハ共同シテ一隻ヲ備フルモノボツ／＼出來シ千八百九十
 二年ハ遂ニ二十余隻ニ及ヒ本年ニ入りテ正ニ三十余隻ニ至リタルナリト云フ此實況ヲ目撃スル白
 人輩ハ驚愕措ク所ヲ知ラス屢々市會ヲ秘密會議ヲ催シ日本人ニハ船免許ヲ與ヘサルノ建議ニ出テ
 ン或ハ貝ノ價ヲ下ケテ彼等ヲシテ船ヲ持ツハ却テ他ニ勞働シテ給金ヲ受クルヲ勝レルニ如カスト
 云フノ觀念ニ出テシメシ杯實ニ外間ノ惡キ評議追ナセシ事アリト然レモ正義尙ホ未タ彼等ノ間ニ
 亡ヒス日本人カ何事モ害意ヲ含マサルニ當リ我々獨リ私意ヲ張ルハ策ヲ得タルモノニテラストノ
 議ヲ主張スルモノアリテ夫等妄論消滅シタリト云フ初メ白人輩ハ日本人ヲ目シテ全ク「マレー」マニ
 ヲノ族ト同一ナリト思ヒタルニ「マレー」マニヲハ十余年以來三四百ノ住民移住シ居ルニ今日何等ノ

進歩ヲ見ス此レト同一ノ境遇ニ置キシ日本人カ數年ノ間ニ他人種ニ超越シテ群ヲ抜キ勞働ノ敏ナ
 ル獨立所有船ノ夥多ナル住家ノ割合ニ増殖スル商業的運動ノ漸ク顯ハレントスル其社交上ノ俱樂部
 部アリ固ヨリ今日實際論スルニ足ラザレモ病院アリ是レ決シテ侮ルヘカラストテ現ニ予カ當地滯
 留中屢々耳ニシタルハ日本人ハ大資本ヲ下シテ此所ニ大仲買商ヲ立ツルト云フ如何日本人ハ眞珠
 貝ヲ倫敦ニ直輸スルノ企テアリト云フ如何日本政府ハ此上數百ノ日本人ヲ渡航セシムル計畫アリ
 ト云フ如何ト此等ノ問題ハ有力ナル土人ノ間ニ盛ニシテ其日本人ノ勢力タル隱然本島ノ重立チタ
 ル商人輩ヲ恐怖セシムルノ事情屢々下シテ見ルモノアリ且ツ先般「マークス」氏ノ日本行ノ途次此地
 ニ立寄りタルト「メルボルン」領事館雇員ノ此地ニ上陸シタル「アルト」今回予カ濠洲事情取調ノ爲メ
 當地ニ來リタリト云フ「大」市人ノ側目スル所トナリ諸種ノ事情原因トナリ日本人ノ價値ハ高ク
 日章旗上ニ仰視スル所ト爲ナラントス然ルニ遺憾ナルハ當地ニ一人ノ然ルベキ人物居ラサルノ一
 事トス彼等ハ己ニ日本人カ社會ニ立ツノ實力ハ多少認メタリト雖モ愚人ノ集合体尙ホ與シ易シト
 云フノ感未タ甚タ多シ是レ予カ曾テ切ニ領事館設置ノ事ヲ政府ニ希望シタル所以ナリ

第十一 「カーブ、オプ、カーペンタリヤ」地方

位置地勢及交通 當地方ハ「クキンス」ラシト「北西」ノ地方ニ屬シ東徑百三十八度ヨリ起リテ百四十
 五度ニ至リ南緯十六度三十分ヨリ廿一度四十分ノ間ニ介シ概稱シテ「バーク」デストリクトト云フ撰
 舉區域ノ上ヨリ「カーペンタリヤ」デストリクトト稱ス南北二百五十哩東西三百余哩ニ渡ルノ廣袤ヲ
 有ス人口四千九百六十二人西ハ「ノ」サンテトリ「ニ」接シ南ハ「グレゴリー」及「ミツチエル」ノ兩地方
 ニ跨リ東ハ「ノ」スケ「デ」ニ「界」シ南ハ「クツク」デストリクトヨリ「カーペンタリヤ」海ヲ扣ユ灣面「モ」
 ニ「ント」ン「及」ヒ「ベ」チ「ンク」ノ諸島アリ

此地方ハ千八百八十四五年ノ比金銀ノ發見セラレタル以來初メテ住民ヲ見ルニ至リタルモノナレハ全体ノ形勢未ダ甚ダ詳カナラス從テ其由テ來ル所ノ歴史亦未ダ記スルニ足ルモノアラス而シテ今日ニ至ルノ間人唯ダ金銀ト牧畜ニ付テ年々ノ興廢存亡ヲ記憶スルノミ

交通ノ便ハ當時甚ダ便利ナリト云フヘカテサルモ猶ホ二會社ノ汽船ヲ通スルモノアリ一ハ「オースタリアン」ユナイテツド「汽船會社」ニシテ二週間ニ一回「ブリスベン」ト「パークタウン」ノ間ヲ航行スルモノナリ此會社ハ「クインズランド」政府ト特約ヲ結ビ年々三万磅ノ保護金ヲ受ケテ郵便物ノ發送ニ從事スルモノナリ一ハ「マクソン」汽船會社ニシテ是レハ無定期ニシテ且ツ乘客船ニアラス單ニ貨物ノ運送ニ係ル然レモ多クハ二週ヨリ三週ノ間ニ一回ノ航運ヲ爲スモノナリ

此地方輸出入ノ港口ト稱スルモノハ僅カニ二箇所ニ過キス即チ一ハ「パークタウン」ニシテ他ハ「ノルマント」ニナリ此七万五千方哩ノ地方實ニ此二港ヲ除ヒテハ船舶ヲ寄スルノ地ナシ而シテ此二港ノ位置如何ヲ見ルニ皆海岸ヲ距ル三十哩ヨリ六十哩ヲ溯リタル河畔ニアリテ河底淺ク大船之レニ入ル能ハス何レモ別ニ小汽船ヲ用意シテ貨物ノ轉送ヲ爲スニアラサレハ用ヲ辨スル能ハス即チ「パークタウン」ノ如キハ「アルバート」河三十哩ノ上流ニアリ故ニ貨物乘客ハ河口ノ隔ツル數哩ノ邊「ルバート」ト「バ」ト號スル海濱ニ於テ小汽船ノ轉送ヲ待タサルヘカラス即チ「ノルマント」ノ如キ「ノルマン」河上五十五哩ノ所ニアリ河口ノ距ル十哩所「ノルマン」ト「バ」ニ於テ河蒸氣ノ送迎ヲ受ケサルヘカラス其不便ナル不都合ナル云フヘカラス

數年前ニ在テハ金銀ノ採掘甚ダ盛ニシテ住民ノ來往亦頗ル繁劇ナリシヲ以テ以上二會社ノ航海者一週一回ノ定期ナリシ且ツ別ニ「ビ」ト「ア」ト「ド」ト「ビ」ト「流船會社」ハ「ノ」ト「ザ」ト「リ」ト「リ」ニ於ケル「マカサ」ト「河」畔ト「航路」ヲ開キ物產輸出入ノ便非常ニ盛ナリシヲ物產物ノ次第三不運ニ赴キシト地質ノ甚ダ健康

ナラサルトニ依リ住民ノ漸ク減少シタルヲ以テ遂ニ「マカサ」河畔トノ交通絶ヘ他ノ二會社ノ便船亦其度ヲ減スルニ至リ當時ノ景氣世人ノ望ヲ繫ク甚ダ薄シ數年前ノ統計ヲ比較スルニ當地方ニ於ケル重ナル市街ノ分左ノ如シ

千八百九十一年	千八百九十三年
ノルマン	六百八
パークタウン	二百六十八
マクソン	二百二十一
オースタリアン	四百三十三
以上	三百人
ノルマン	六百八
パークタウン	二百六十八
マクソン	二百二十一
オースタリアン	四百三十三
以上	三百人

稱シテ「バーク」タウン市所在ノ地ヲ云ヒ「三ハ」ビーコンスフイールド」ト云ヒ南部「クロンカリー」地方ニ
 屬シ「四ハ」ダークラス」ト號シテ東部「ブグンデン」地方ヲ稱ス其他ノ地方ハ未タ人々ノ其名稱ヲ得ルニ
 適當セサルヲ以テ「バーク」デストリクト」總名ノ下ニ生活ス
 「アルマントン」ハ「ノルマン」リバー」ノ河畔ニ在リ家數殆ント三百ニ滿チ人口六百人是レ當時ノ形勢ナ
 リ蓋シ數年前ノ繁昌ヲ印シテ明カナル所人口ト家屋ノ數今日何リ其割合ノ奇ナルヤ千八百八十六
 年「ムニシバル」タウン」トシテ公認セラル河口ヲ距ル七十五哩平野ノ郊原ニ位シテ尙ホ百萬ノ富ヲ
 包擁スルニ足ル此地身ニ寸金ノ利スルモノナク只管「クロイドン」ノ金鑛及ヒ「エセリツ」地方則
 チ「ジヨチ」タウン」ノ富鑛ニ依テ成立ス又南ニ「クロンカリー」ノ金鑛「コバルト」ノ生産ヲ受ケ以テ本市
 ノ生命ヲ繫ク蓋シ此等地方ノ産物ハ先ツ以テ「ノルマン」トシテ咽喉ヲ經サレハ世界ノ市場ニ出ツル
 能ハサルヲ以テナリ宜ナル哉當市ノ盛衰ハ右諸地方ノ盛衰ト其運命ヲ同フス
 當市ニ珍シキハ支那人七八十名ヲ除ク外ハ他人類ノ住民ヲ見サル「之レ」ナリ資本家モ勞働者モ
 多ク英人ニシテ彼ノ「レース」ブレジュ「デイス」ニ於テモ最モ甚シキ所ナリ曾テ伊國人ノ勞働者十數
 名當市ニ來航シタルニ當リ市中ノ勞働者團結シテ彼等ヲシテ上陸セシメサルノ運動ヲ爲シ棍棒短
 銃ノ威嚇ヲ以テ逐ニ彼等ヲ追逐シタル事アリト云フ當市人カ獨リ「カロード」レ「ボラー」ニ反對スル
 ノミナラス實ニ如此白人間ニ迄互ニ反抗ノ舉動アルハ他ニ例ヲ見サル「之レ」畢竟一地方ノ感情ニ過キ
 スト雖モ亦以テ彼等ノ偏見ニ強キヲ見ルニ足ルナリ當市ハ三個ノ寺院一「ハチヤ」チ「オプ」イング
 シ「ド」二「ハカ」グ「リ」ツク「三」メ「ソ」ヂ「スト」一個ノ學校此外銀行ニ會社ノ代理店六「ホテル」九「ボール」ヂ「ン」グ「五
 新聞社」二「スル」マン「グロ」ニ「クル」其他雜商ナリ
 之ヲ外ニシテ有名ナルハ「ノルマン」ノ河畔ノ「タル」ゴ「ナリー」ノ「ミ」ト「フ」ハ「ク」ト「リ」ナリ此「フ」ハ「ク」ト「リ」ニ

於テ「ハ」タ「ロ」ウ」ト爲シ「曝」骨ト爲シ「毛」皮ト爲シテ輸出スルモノナリ今千八百九十二年ノ製造高ヲ聞ク
 ニ十二月間ノ製造高一万五千〇七十二頭ニ及ヒ此價額三万〇百四十磅ニシテ一ヶ月凡ソ千二百
 余頭ニ當ル全濠洲ニ於テ此「フ」ハ「ク」ト「リ」ニ肩ヲ比スルモノ少シト云フ
 「バーク」タウン」ハ「アル」バ「イト」河畔三十哩ノ所ニ在リ數年前未タ知ルモノ少カリシカ「ノルマン」ト「グ
 ロイド」等世人ノ注意ヲ惹クニ至リ此地亦人氣ヲ集ルニ及ヘリ當時人口二万人余ニシテ數年來漸
 次増加ノ姿アルハ全ク「ノルマン」ト「ン」ト異ナリ牧畜事業ノ余慶ヲ受クルニ依レリ此地ハ本來金鑛
 山ノ利アルニアラス實ニ西南地方全体ノ家畜輸出ノ爲メニ開キタルモノナレハ今俄カニ鑛山不景
 氣ノ影響ヲ蒙ラスサレド亦俄カニ繁昌ナル能ハス只一ニ牧畜事業ノ盛衰如何ニ由ル市街ノ形勢ハ
 均シク「ノルマン」ト「ン」ノ如ク平坦ノ原上ニ位シテ河畔ヲ扣フルヲ以テ運輸交通ニ甚シキ不便ヲラス
 且雖モ前ニ記シタル如ク灣内航行ノ汽船ト直接ニ貨物ノ上下ヲ爲ス能ハサルヲ以テ非常ノ便利ト
 云フヲ得ス
 一「ノ」チ「ヤ」チ「オ」ア「イン」グ「ランド」二「ノ」公立學校一「ノ」銀行四軒ノ雜貨商六軒ノ旅宿三「ノ」會社代理店一
 新聞社等ニシテ市街寂寥タリ
 此地ニ「ミ」ト「エ」キ「ス」ボ「ル」チ「ン」グ「會社」アリテ毎年ノ輸出高三万磅余ニ上ルト云ハハ此市ノ輸出全部
 ナ占ムルモノト云フヘシ又時ニ生畜ヲ印度シ「ガ」ボ「ール」ニ送ル「ヤ」アリ之レ亦少カラサル價格ニテ
 昨年ノ輸出頭數二千頭ニ上リタ「レ」ト云ハハ其生畜ニ於ケル利益ノ多キ知ルヘキナリ一頭ノ價ハ牛
 一頭ニ付キ二磅ヨリ四磅ニ當リ少クトモ五千磅ノ輸出額ニ達シタルハ未タ精密ノ統計ヲ得スト雖
 亦大ナル誤謬ニアラサルナリ
 「クロイドン」ハ「ノルマン」ト「ン」ヨリ鐵道ニ於テ九十五哩ノ所東南隅ニアリ人口凡ソ八百余人數年前金

鍊ノ饒多ナル比ニハ人口二千四百五十ニ過キタリト云フ昨千八百九十二年間ノ金塊輸出高十三万九
 千七百三十六磅ナリト云フ而シテ數年前ハ之レニ倍加シタルモノナリト云ヘハ此地方ノ如何ニ金
 鍊ニ富ミシカチ知ルニ足ラン當地ニハ鍊夫トシテ支那人二百人余此外南洋土人「マレー」「マニラ」ノ族
 三百人余アリト云フ。此地方ハ唯タ鍊物ニ富キテ以テ他ニ何等ノ事業アルコトナシ只支那人ノ二三野菜ヲ培養スルアルノ
 ミ白人ノ多クハ資本主ニシテ金鍊借區凡ソ三十余分所皆白人ノ事業ニ屬ス近來追々之ヲ維持シ能
 小スシテ借區ヲ他ニ讓リ若クハ放棄沒收セラル、モノ等アリ日ニ月ニ不景氣ヲ見ル四箇ノ「チャ
 ー」ノ病院一ノ學校四箇ノ「クラブ」鍊山協會書籍館及ヒ「ガーブ」フエデレーテット、ウオリーカース、アッ
 ショエロシヨント稱スル勞働者ノ同盟アリ是レ即チ「カレード、レーボル」ニ反抗スルノ旗章ナリ鍊山
 事業ニ關スル會社十三銀行五旅館及ヒ「ポール」デンク、ハウス二十其外七軒ノ酒舖等此「カール」ベントリ
 キ地方最繁昌ノ形勢ヲ示ス家屋凡ソ五百戸以テ昔年ノ盛況ヲトスヘシ
 右ノ外「クラシカリー」「ジョー」ジタウシ以テ記スルニ足ラス况ヤ他ノ小市名ニ於テオヤ
 山政治警察及社會上ノ状態、政治上ノ區畫ニ付テハ此地方ハ二トナル即チ一ハ「グロイデン」チ中
 心ヲ中心トシテ西南ニ渡ル地方ヲ含ム而シテ此地方此湖内ニ臨ムヲ以テ稱シテ「カール」ベントリヤデ
 「ストリツト」ト云フ此ル亦一人ノ代議士ヲ出ス今此二者共ニ「レーボル、パリテー」ニ屬ス
 此地方ノ市街ニハ盡ク「ボリス、マジスト」トシテ置テ取締ヲ爲ス而シテ外ニ「ムニシバル」タオンニ於
 テハ市長ヲ選舉シテ其市ノ事務ヲ總ヘシム若シ未タ「ムニシバル」タオンノ資格、ナキ地方ナルニ於テ
 公市會ス支配スル所ナル「アルマント」ノ如キハ「ボリス、マジスト」トシテ及ヒ十人巡査十六人ノ「ロ

一カル、ジヤステス税關吏郵便局長等ヲ重立タル官吏トナス「パーク、ダウ」ノ如キハ「ボリス、マジ
 スト」トシテ「ハ」税關長及記録局土地局等ノ諸役ヲ兼テ數名ノ巡査ト八人ノ「ジヤステス、オア、ピ」ス「郵
 便局長等」ヲ以テ官署ヲ組織ス右以外市會ハ何レノ處ニ至ルモ組織セラル只「デビ」ジヨ、ナル、ポールド」ム
 ニシバル、ポールド」等諸種ノ階級アリ權限ノ異ナルアルノミ職務ノ大体給料ノ多寡ハ「サ」ジスデー」
 島ニ於ケルト同シク「一」年百五十磅ヨリ四百五十磅マデナリ「ノルマント」ノ「グロイデン」ノ「マジスト」
 以テ「一」百四十磅ノ年俸、其ノ巡査及ヒ書記ノ如キハ一日八志ヨリ十志ノ割ニテ働クモノ多シ
 犯罪人ハ酒狂ノ者最モ多シ當局者ヲ統計ヲ見ルニ百人中ノ七十人ハ飲酒ニ依ルノ犯罪人ニシテ大
 底一磅ヨリ五六磅ノ罰金一週間ヨリ三ヶ月前后ノ禁錮ニ處セラル、モノナリ其外窮盜偽證等ニシ
 テ詐僞及姦姦罪ハ少シトス。此地方社會上ノ有様ハ格段異常ナルヲ見ス特ニ異常ナルハ此地方ノ最モ勞働者ニ同情ヲ有スル
 「一」之レナリ故ニ勞働者ノ勢力ハ盛大ナルコト此地方ニ如クモノナシ想フニ此地方ハ土地ノ割合ニ資
 本主ノ少キヲ從テ起スヘキ事業モ起ス能ハサルコト且從テ勞働者ノ少ナキヲ而シテ其勞働者ヲ得ル
 能ハサルノ原因ハ資本家ノ流入セサル所以ナルコト等ハ此地方一時盛大ニ赴カントシテ蹉跎シ今日
 不景況ヲ致ス証據ノ著シキモノナリ鍊山ノ事業ハ一時容易ニ勞ヲ費ヤサスシテ莫大ノ収益アリタ
 ルモノナレハ如何ニ高價ノ賃金ヲ支拂フモ収利ノ上尙多クノ余裕アリシヲ以テ高價ノ勞働者流入
 スルト同時ニ事業ノ盛大見ルヘキモノアリシト雖一且採掘上ニ困難ヲ生シ其困難下云フヘカチ
 折ルモ以前ノ如ク容易ナラサルニ至テハ勢ヒ賃金ヲ下サ、ルヘカチ賃金ヲ下スニ於テハ白人以
 外「チー」ブ、レーボラー」ヲ使役セサルヘカチ「チー」ブ、レーボラー」ヲ使役セシニハ白人勞働者ノ反抗
 如何セン是ニ於テカ彼等ハ百策盡キテ事業ヲ縮少セサルヘカチサルニ至ル是レ此地方カ比年流

落シテ昔年ノ榮名ヲ擔フ能ハサル所以ナリ
 是ヲ以テ白人ノ資本家ハ假令ヒ起スヘキ大事業アルモ資ヲ投スルノ余地ナシ唯タ僅カニ少數ナル
 高價勞銀ヲ拂フテ爲シ得ル丈ノ事業ノ外ニハ進マサルナリ故ニ彼等ノ得意ナル牧畜之レニ伴フ「ミ
 ートウオーク」或範圍ニ於テハ鑛業ノ外ノ農場一ノ「シユガプランテーション」ヲ見ス彼等之ヲ知ラ
 サルニアラス多數ノ輿論ヲ恐レテ此利益ヲ見捨ツルノ止ヲ得サルニ出デタルナリ當地ニ於ケル資
 本家ト労働者ノ關係ハ大要如此モノナリ
 既ニ如此此地方四千余人ノ中僅カニ「ク」デニ五百余名ノ他人種アルノミナレハ社交上ノ關係
 ニ異常ナル現象ヲ見サルハ當然ノ事トス彼等ハ當時殆ンド千貫ノ金庫ヲ擁シテ人ノ見ルヲ恐レ而
 シテ尙ホ自ラ如何トモスル能ハサルニ似タリ
 彼等ノ商業及ヒ工業ハ別ニ説クニ及ハスシテ前述ノ景狀ニ照セハ其生活ノ如何ナルモ著ナルカチ
 知ルニ足ラハシト信スレハ深ク贅述ヲ用ヒス
 氣候地質物産 地形ノ低キ「ト」ハ己ニ十哩ノ濱外ヨリ望メハ實ニ雲方陸カト疑ハ山ト云フモ
 然ラズ丘ト云フモノナシ一体ノ平野彼「ノ」ザンテリト「ノ」一層低キモノナリ予カ目算ニ依ルニ
 此地方ハ海面ヨリ高キ「ト」呎内外ニ過キス其百哩内外ノ内地ニ於テ漸ク二十呎ヨリ三十呎ニ過キ
 サルモノナリ如何ニ此地方カ低地ナリヤ知ルヘキナリ
 「ソルマン」河ヲ溯ルニ河ノ兩岸ニハ「藪」タル「マングローブ」ノ叢生スルアルモ河岸ヲ離ル、數間ニ於
 テハ早ク已ニ乾燥ノ白砂ヲ見ル而シテ見渡ス限リ平々坦々幾百哩其間高サ二三間ニ過キサル護漠
 樹ノ一族小樹細木ヲ連ヌルノ叢林ノ外何種ノ材木ヲモ見ル能ハス其白砂ナルハ夏期河水ノ氾濫シ
 テ埋メタル土砂ナリトス此土砂所ニ依レハ砂漠ノ形ヲ爲シテ幾哩ヲ渡ルモノアリ其間小木細草ダ

ニアル「ト」ナク炎々タル天ニ燦ケテ眼目爲メニ眩スヘシ之レヲ越レハ即チ處々細樹ノ叢ヲ爲スモノ
 アリ地味灰色ニシテ粘質ヲ帶フ此地開ケハ即チ農場ニ用フルニ足ルモノナリ
 又海岸ヨリ内地ニ入り二百哩ノ邊ニ至レル間所々殆ント數フヘカヲサルノ沼寧口水溜リト云フテ
 適當ナリトス「ア」是レ其低地タルノ証ニシテ水分ノハケ道ナク而シテ地下濕多ク且ツ淺クシテ之
 ナ吸収シ去ルノカナク炎々タル熱氣ニ瘴烟毒氣ヲ醸生シ即チ「マ」リヤ「ヤ」其他ノ病毒トナルモノナリ
 其最モ大ナルモノ「アレキサンダー」ラ「グ」下稱ス長サ七哩横四哩ニ渡ルモノナリ是レ泥沼ニシテ
 未ダ曾テ何人モ中央ヲ穿索シタルモノナク只土人ノ偶々熱病ニ罹ルル此中ニ浴シテ其熱ヲ去ラン
 ト試ミ却ツテ死スルモノアルノミ
 當地方尙ホ二季節アリ十二月ヨリ二月迄ヲ雨期ト稱シ三月ヨリ十一月迄ヲ燥期ナリトス此短カキ
 雨期ノ間何程ノ雨量ヲ得ルヤ今當局者ニ得タル統計ヲ左ニ掲ク

十二月	三、三〇〇	降雨日	五日
十一月	三、三四	全	十二日
十月	五、三九	全	十日
九月	二、二四	全	五日
八月	〇、九八	全	一日
七月	無	無	無
六月	無	無	無
五月	無	無	無
四月	無	無	無
三月	無	無	無
二月	無	無	無
一月	無	無	無

而シテ九十、十一、三ヶ月ハ今之ヲ得スト雖モ猶ホ八月ノ例ニ比スレハ大ニ誤ル所ナシト云フ然ラハ則チ平均

一年ノ雨量二〇、二一〇

トナル蓋シ是レ「ノルマント」ノ近傍ニ於ケル雨量ナリトス是ヨリ東南クロイデンヨリ山勢ニ沿フテ南スルルハ雨量三十ヨリ五十ニ上ルト云フ

寒暖計ハ夏期一月二月ニ於テ室内百十二度ニ上ルトアリト雖モ平均九十七度ニ在リト云フ冬季六月七月ノ比夜間最低四十度ニ下ルトアリト雖モ平均五十八度ナリトス惣シテ此邊ハ當時ト雖モ夜間ハ殊ノ外清涼ナリ予カ巡回ノ當時ハ十月中旬ナリシカ晝間ハ朝七時已ニ九十三度ニ上リ正午ニハ九十八度ニ達セリ然レモ夜ニ入りテハ八十度ニ下リ明ケ方ノ如キハ七十八度ニ下リタルトアリ當地方ハ不健康ナリト云フノ評判甚タ高シ勿論地質低濕ニシテ諸所溜水アリ之レニ加フルニ炎熱如彼ナルヲ以テ熱病ノ生スル疑ヲ容ルヘカラスト雖モ是ニ人爲ノ工ヲ加ヘテ水分ノ疏通ヲ能クシ草木ヲ移植ヲ計リ衛生上ノ注意ヲ盡サハ未タ必スシモ不健康ノ地方タラサルヘシ予カ巡回中ハ諸所「ミ」ズル「ス」即チ「はしか」ノ類流行シ該地ノ避病院ハ僅カニ三室ヲ余スノミ盡ク此熱病ヲ以テ充滿シ注入ノ此病ニ感シテ治療ヲ術ヲ知ラス例ノ池沼水溜ノ如キ其他河水ニ浴シテ徒ラニ死ヲ急キ其齋爛ノ死体各地ニ散在スル等頗ル凄慘ナル有様ナリシ市人ノ恐慌大方ナラス學校其他集會ハ全ク中止ノ姿ナリ

此邊住民ハ繁殖セサルハ此不健康ノ理由ニアリ故ニ此地ニ居住スル人民ノ家屋ハ床下ヲ高ク建築シ此邪氣ニ感セサルノ用意甚タ嚴ナリ而シテ家屋建築ノ材料ハ「サ」ス「デ」高其他「ボ」ト「ダ」ウリ

等ト同シク亞鉛板ヲ用フルコ多シ

地質ハ前述ノ如クナルヲ以テ今支那人ハ野菜ヲ作ル外農場ナルモノヲ見ス勿論如此平坦低濕ノ原野ナリト雖モ所々砂礫ノ大野横ハリテ草木スラ生シ能ハサル所ノモノアレハ此原野ヲ以テ全ク豊饒無比ト云フヲ得ス必ス撰フニ所ヲ以テセサルヘカラスト唯幸ヒニ河流少カラス先ツ東ニ「ノ」ル「マ」ン「河」アリテ二百余哩ヲ流ル次テ「ブ」リ「ン」ダ「河」アリ是レ殆ント四百余哩ヲ走ルノ大河ニシテ幾十條ノ小流ヲ合セテ「カ」ベ「ン」ダ「リ」ヤ「海」ニ注クモノ次ニ「レ」イ「チ」ハ「ド」河百五十余哩南ヨリ灣ニ入ル其他「アル」バ「ト」河「グ」レ「ゴ」リ「河」アリ西南ノ地ヲ擁シテ以テ万頃ノ田ヲ肥スニ足ル此等ノ間ニ縱横溝渠ヲ穿テ水ノ疏通ヲ計ラハ濕地ヲシテ燥乾ナラシムヘク又地質ヲ撰マハ水田起スヘク米殖スヘク糖樹植フヘク其他農産熱帯ノ地ニ適スヘキモノハ未タ必スシモ望ナシト云フヘカラスト

海岸ヲ離レテ南方ニ入ルニ從ヒ土地次第ニ高原トナル西南牧畜ニ好良ナル「グ」ラ「シ」ト「ブ」レ「イ」ン「及」バ「イ」グ「レ」ト「ス」テ「イ」ブル「ブ」レイ「ン」ノ如キニ至テハ農場ト爲サンニハ水便ヲ欠クモノアリト雖モ牧場トシテ秀拔ナル其氣候ノ清涼能ク群羊ヲ牧スルニ足ルナリ況ンヤ牛馬ニ於テオヤ
諸市街ニ於テ用フル飲料水ハ多ク雨水ヲ蓄フト雖モ通常井ヲ掘リテ之ヲ用フ井水ハ甚タ佳ナラスト雖モ「ノ」ト「サ」ン「テ」リ「ト」リ「ニ」比スレハ良好ナリトスサレモ良水ノ不十分ナルハ到所問題ナリ蓋シ此地ハ不健康ナリト云フハ亦此其水ノ欠乏原因ノ一タリ
惣テ熱帯地方ノ人ハ沐浴スルニ温湯ヲ用ヒス故ニ一々家ニ水浴場ヲ設ケテ水桶ヲ上ニツリ雨ノ如クニ水ヲ落シテ其汗及垢ヲ流スナリ而シテ海水ニ浴スル能ハス當地ノ如キ河流ノ多キ所ト雖モ河川ニ游泳スルコ能ハス何トナレハ此邊ノ河海ハ「ア」リ「ゲ」トル「シ」ヤ「イ」ク「ノ」類甚タ多ク其大ナル何レモ七八尺ヨリ數丈ニ渡ルノ大化物ナレハ人若シ誤テ水上ニ落チナハ恰カモ池魚ノ上ニ骸ヲ投シタル

ト均シク「ふか」類ハ躍リ懸リテ之ヲ食フナリ「アリゲートル」ハ海中ニ住ラス河流ノ海ニ接スル所ニ多シ此「ノルマン」河ノ如キハ河幅河口ハ四百間ニ過キ五六十哩ノ所ニ於テ百間位ノモノナリ而シテ「シャイク」アリゲートルノ夥シキ實ニ驚クニ堪ヘタリ予曾テ船中ニ在リ無聊ノ儘ニ釣ヲ垂ル而シテ數時ノ間ニ「シャイク」ノ子二尺ヨリ四尺ニ渡ルモノ五尾ヲ得タリ且ツ餌ヲ投スルト同時ニ文余以群怪四邊ニ游泳スルヲ明カニ見ルヲ得タリ此外「あかゑ」ニ類スル七八丈敷ノモノ或ハ蛇ノ大ナルモノ小ナルモノ其奇形ノ魚族海底及河流ニ夥シク其水底ノ汚穢ナル氣味惡ク恐シキ事云ハシ方ナシ夫レ然リ如此河水海水ニ於テ如何ニシテ水泳ヲ爲シ得ヘキヤ...

併シナカラ河ノ兩岸叢林中ニ六雀ヨリ小ニシテ其羽色ノ種々ナル紅黃青白打交セタルモノ若クハ一色ニシテ黃ナルモノ白ナルモノ優美ノ音聲ヲ以テ枝ヨリ枝ニ飛遊スル禽鳥多シ而シテ鷹鷹ノ類夥シ就中鴉ノ如キハ河畔群ヲ爲ス所多シ其大サ形容共ニ日本ノモノト異ナル所ナシ...

「ノ族多シト聞ク」...

土人ハ近來非常ニ減少シ年々病死スルモノサヘ甚ダ少ナカラサルニ昨年氣候ノ故ニ山中ニ於ケル彼等ノ食物大ニ欠乏シ市中ニ出テ、之ヲ乞フニ暇アラス餓死スルモノ多カリシト云フ政府モ此事ヲ聞キ地方廳ニ命ジテ此土人ノ飢渴ヲ救ハシメ麥粉ヲ用意シテ彼等ニ給スルニ勉メタリト雖モ何分彼等ノ住居不定ニシテ且ツ深ク林中ニアルヲ以テ十分ニ其効ヲ奏シタルヤ否ヤヲ保セスト云フ...

止來述ヘ來リタル景狀ニ依リ氣候地質及ヒ水利ノ如何ナルヤハ其概要ヲ知ルニ足ラント信ズ且ツ此地方物産ノ如何ナルモノヤモ己ニ知リ得ヘシト雖モ更ニ其要ヲ指摘スレハ金銀鉛(甚タ多カラス)

「コバルト」及ヒ家畜ニシテ牛馬羊豕ノ類ナリサレト若シ人工ヲ加ヘハ米國糖田其他農業之ヲ得ルニ難シトセス

輸出入及商況物價 當地ニ於ケル輸入品ト云フハ他ノ新開ノ地方ト同シク人口稀少需用多カサルヲ以テ單ニ日用品ノ供給ニ過キス即チ食料品ヲ主トシテ衣服家具ノ調度ノ類ナリ輸出品トモ頗ル單ニ「シ」家畜ト其家畜ヨリ製造シタル肉油毛革ノ類及ヒ鐵塊ナリト云フ今左ニ千八百九十二年ノ輸出入額ヲ掲ク

輸入	四万五千九百二十四磅
輸出	二十七万五千五百三十九磅

「バークタウン」ヨリ...

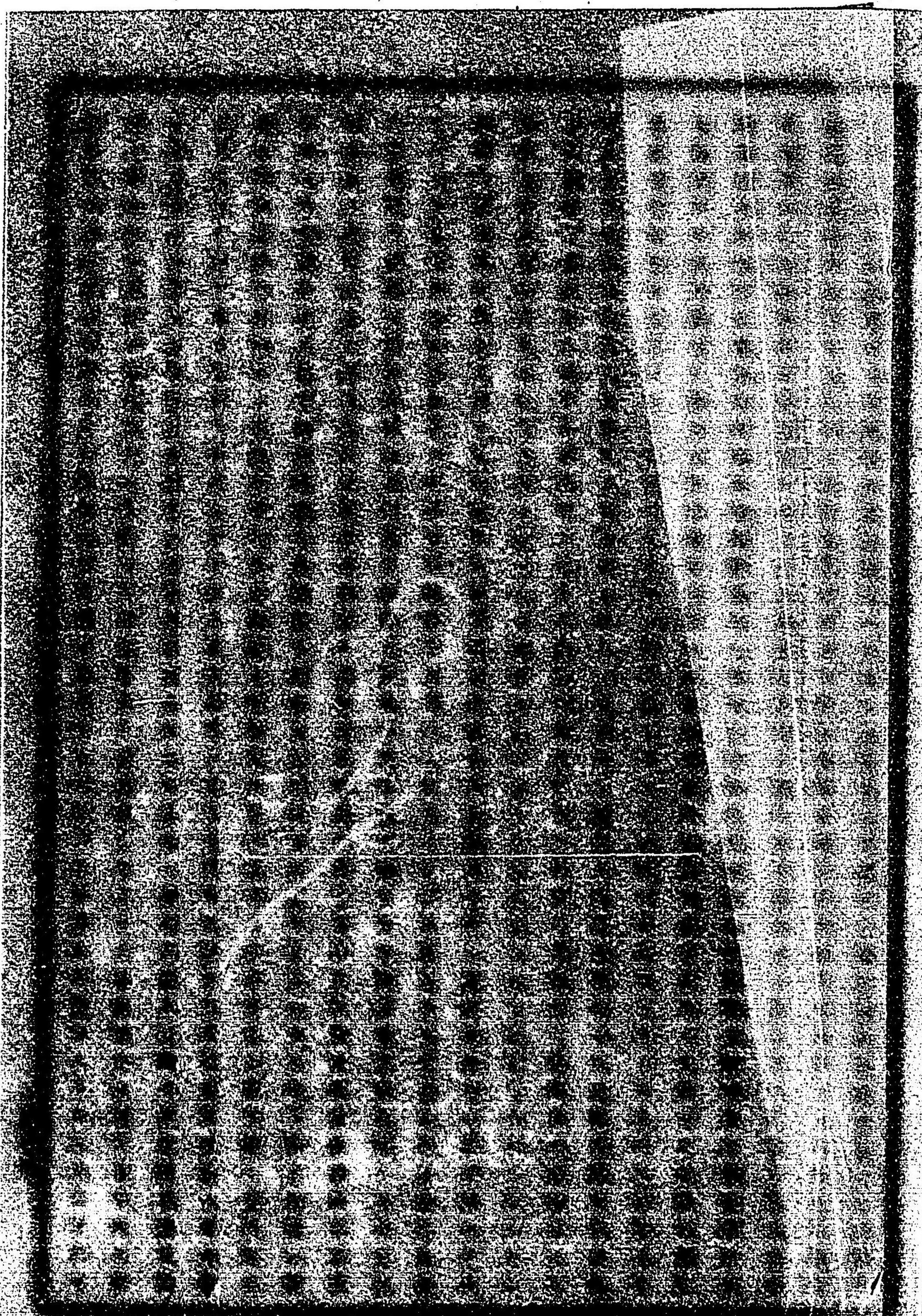
前章ニ記述シタル如ク當地方ノ輸出入關門ハ實ニ右二個所ニ外ナラス故ニ以上掲ケル所ハ當地方一年間ノ經濟ナリト見ルハ產物ノ決シテ下級ナラサルヲ而シテ「バークタウン」ハ多ク家畜ノ輸出品ニ屬シ「ノルマン」ハ之レヲ加フルニ鐵塊ヲ以テス其比例ノ著シク異ナル所以ナリ

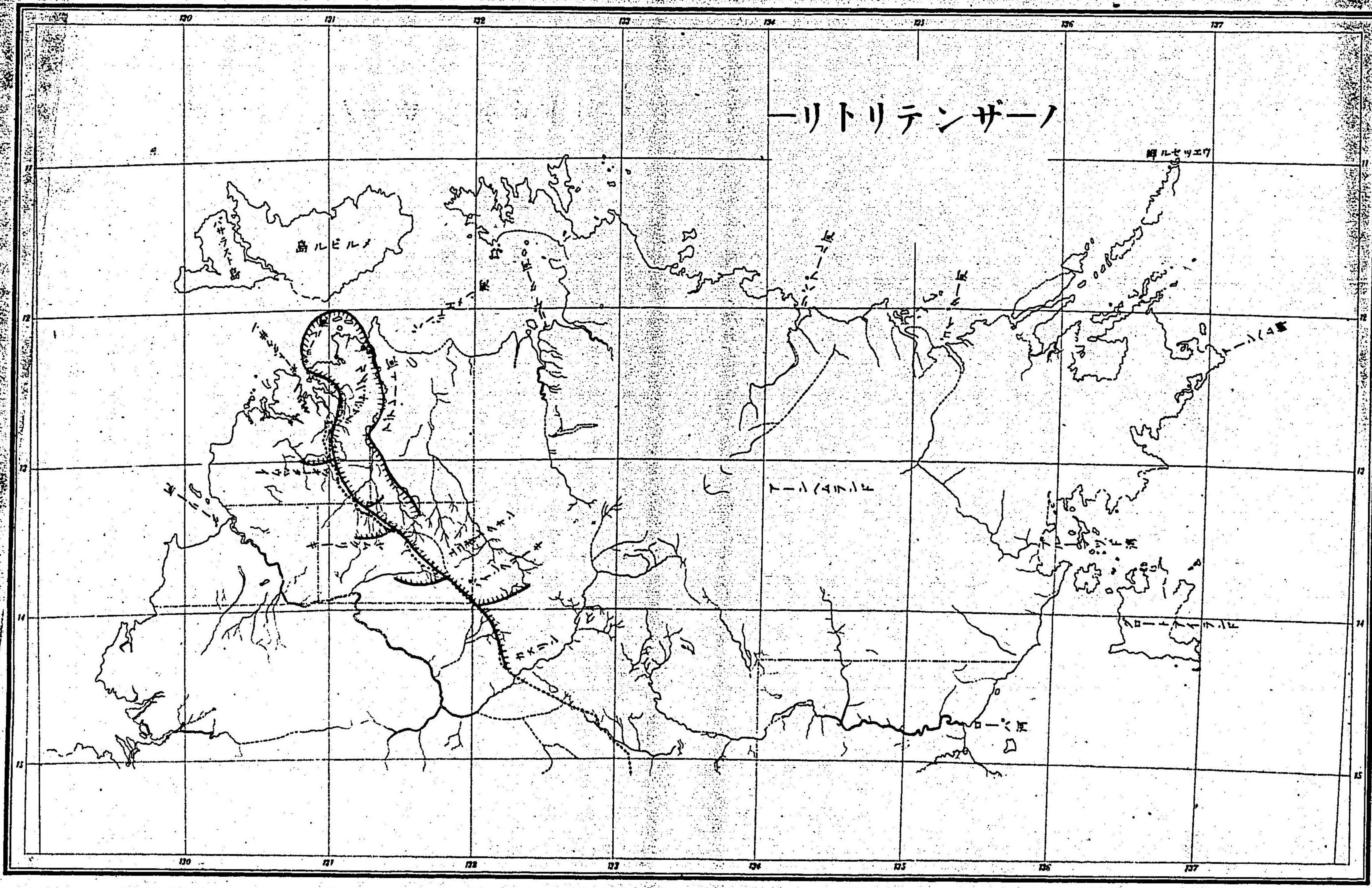
商況ト云フモノ未ダ當地方ニ見ルヘカラス唯日用品ノ賣買之レヲ商況ト云フ而シテ大ニシテ一市六百人ノ生活固ヨリ取引ノ活潑ナル能ハサル當然ナリト云フハ物價ハ凡ソ「サウスデー」島ニ均シ物ニ依リテハ或ハ一割モ高價ナルヲアルヘシ...

而シテ市街近邊住居商店ニ應スル地所家屋ノ如キハ六十六「ブイ」ト百四十五「ブイ」トノ地所市内ノ

便利ナル所ニ於テ當時四千磅ヲ價ス此レ近年人氣ノ下落ト共ニ地價ノ下落シタルモノニシテ四年
前ハ同様ノ地面一万五千磅ニ上リタルコアリト云フ借家料ノ如キモ六七間數アルモノ四年前一週
二磅ノモリ當時十五志ニ下落シタリト云フ蓋シノルマントンノ如キ六百八ニ對スル家數二百五六
十戸ナルヲ以テ斯ル下落モ固ヨリ怪ムニ足ラス反ニバトクタウンノ如キハ先ツ景氣ヲ失ハサル方
ニテ家賃ノ如キモ六ル一二ノ家ニシテ一磅ヨリ一磅半ニ價ス之レ小市街ナカラ未タ甚シキ盛衰ニ
感セサルヲ以テナリ且ツ西南地方ノ牧場追々繁殖セントスルノ勢アレハナリ
勞働者ノ賃銀ハ「サ」島ト甚シク異ナル所ナシ家内勞働ハ多ク白人ノ婦女ニ依リ曠夫ノ二三
ノ外外部ノ勞働ハ白人ニ歸ス家内の勞働者ノ賃金ハ一ヶ月一磅半食事付ニシテ斯ル地方ニシテハ
少シク安價ニ過クルノ感アリ併シ一般當時ノ不景氣ヲ云ヤスルノ時故或ハサモアルヘシ彼ノ普通
外部ノ勞働者ヲ見ルモ一ヶ月三磅ヨリ三磅半食事付ナリト云ヘハ今ヤ賃銀ノ甚タ下落シ居ルヲ見
ヘシ

大工左官ノ如キハ一日十五志其他一日雇ノモノハ大低十志ヲ通常トス曠山ノ勞働者ハ白人ニシテ
八志ヨリ十二志支那人其他「マ」レ「マ」ニ「サ」ウシ「マン」ノ輩ハ五六志内外ニシテ此等ハ固ヨリ自分
賄フニ足ラザルヲ見ル
工業ニ至テハ片影ダニ見ルヲ得ス農業ニ於テモ亦然リ當時ハ之ヲ企テントスルモノスラ開カズ蓋
シ前章ニ述ベタル如ク土地ノ不健康勞働者ノ少キト熱帯地方ニ屬スル事業ハ多ク白人ヲ不得手ト
スル所ナルヲ以テナリ





第三編 「ノール」ザン、テリトリ

第一 南濠洲北領地ノ位置及概勢

本土ハ「ノール」ザン、テリトリ、オプ、サウス、オースタラリヤト號シ南緯二十六度ヨリ北ハ「アラ」フラ海ニ臨ミ東徑百二十九度ニ起リ百三十八度ニ至ル南ハ「サウス、オースタラリヤ」ノ本洲ニ連リ西ハ西濠洲ニ接シ西北タイモール海ヲ扣ヘ東北ハ「アラ」フラ海ヨリ「カー」ペンタリヤ海ニ臨ミ「ク」キンスランドニ連ル其面積五十二万三千六百二十方哩ヨシテ三億三千五百一十一万六千八百「エ」ト「カ」トヲ有ス之ヲ我日本國ニ比スレハ殆シト四倍弱ニ當ル本土南北ノ通路ニシテ猶一千一百七十一哩ヲ算スト云ヘハ其廣大推シテ知ルヘシ而シテ其人口ヲ問ヘハ實ニ四千餘人ニ過キス今其統計表ヲ見ルニ

- 千七百七十六人 「ボート」ダウキン 接近ノ地
- 二千八百九十三人 「ボート」ダウキン 以北「チスレ」リ「區」及ヒ近傍諸島
- 六人 「ロース」ベリ「區」
- 二十一人 南緯十三度ヨリ十五度ノ間
- 百二十六人 「ダー」リ「河」邊ヨリ東「カー」ペンタリヤ海ノ間
- 百十七人 東徑百三十四度ヨリ西濠洲境南緯十三度ヨリ十五度ノ間
- 六十二人 東徑百三十四度ヨリ西南緯十五度ヨリ十七度ノ間
- 六十八人 「パウ」エルス、グリーキ 近邊
- 八十七人 「テナ」ント、グリーキ 近邊
- 六十七人 「バロ」ース、グリーキ 近邊
- 二百三十八人 「アリス」、スプリング 近邊

五十三人

〔チャイロットウオター〕近邊

・ 總計四千八百九十八人

右ノ内國籍ヲ區別スル時ハ即チ左ノ如シ

三千三百九十二人

支那人

三十三人

日本人

二百四十人

白人

殘餘ハ「マレー」ハ其外雜種ニ屬ス而シテ別ニ土人ノ數ヲ舉レバ號シテ二万六百五十五人ト云フ然リト雖モ土人ハ元來住居ナク山巒河海其所ヲ定メサレハ其數ノ果シテ幾何ナリヤハ何人モ知ルヲ得サル所而シテ所謂二万有餘ト云フハ政府雇フ所ノ土人ノ酋長ヲシテ各々其部落部落ニ付キ概算セシメタルモノ未タ以テ精確ナリト云フヲ得スト雖モ亦以テ其概要ヲ知ルニ足ラン

抑モ此「マレー」テリトリ「殖民」ノ起原ハ今ヨリ七十年前「カビテン」ブレマ「ナルモノ」英國政府ノ命ヲ奉シ罪人及兵軍人ヲ率ヒテ土蠻ノ最ニ狂暴ナル彼「メルグ」島ニ移殖シタルニ在リ然レハ二年ノ後遂ニ之ヲ維持シ得ズシテ其地ヲ去ルニ至リ後亦「カビテン」スタ「リシグ」公命ニ依リ其東北端ナル「ラブル」近傍ニ移住ヲ企テタルニ再ヒ失敗シタリ然ラト雖モ英政府ノ政略ハ毫モ屈撓スルコナク三度ヒ「ボルト」エツシント「シ」ニ於テ設立シタリ然レハ千八百四十九年三度失敗シテ引退セリ其後十四年間更ニ此北領ニ手ヲ付ケントスルノ企ナカリシカ千八百六十二年英國政府ノ特命ニ依リ「サウス」オースタラリヤ洲ノ領地ト爲シ南濠政府ノ專權ニ委任シタリ

先是英政府及殖民地政府屢々測量ヲ企テ「リカート」グレゴリー「スチユワート」マッキンレー「ギルス」等ノ諸氏奮フテ内地ニ入リ實測探險ニ從事シタリ就中「スチユワート」ノ如キハ足跡最モ多ク後年彼レ

ノ爲メ幾何ノ便利ヲ得タルヤ知ルヘカラス

千八百六十八年ニ至リ南濠政府ハ特ニ測量委員ヲ選定シ「ゴイダ」ナルモノヲ首トシテ特ニ船ヲ繼シテ「ノ」ザンテリトリニ送り其實測ニ從事セシム「ゴイダ」ノ一隊ハ一千八百六十九年二月「ポート」ダウキンニ着シ内地ヲ跋渉シテ同九月測量ヲ了リ復命ノ爲メ彼等ハ一旦歸南シタリ然ルニ其一隊ノ中ニ於テ金銀ヲ發見シタルモノアリ其事務ヲ終ルヤ否ヤ直チニ此地ニ來リ探險ニ從事スルニ至レリ之レヨリ「ノ」ザンテリトリノ聲名漸ク四方ニ聞ヘ資本主ノ續々來航ヲ見ル是レ即チ當州殖民ノ大根底ニシテ當時恰カモ支那沿海ニ於テ契約勞働者ノ輸出最モ盛ナル時節ナリシヲ以テ資本主ガ其勞働者ヲ得ルニモ甚タ容易ナリシハ亦實ニ此殖民地發達ノ大ナル原因ナリトス

爾來政府モ人民モ孜々トシテ此州ノ發達ヲ謀リ千八百七十年六月「カビテン」ド「グラス」ヲ派シテ最初「ガバメント」レシデントト爲シ「ポート」ダウキンニ滞在セシム而シテ先ツ第一ニ大陸貫通ノ爲メニ電信ヲ架セントスルノ計畫成リ千八百七十年九月電信ノ第一柱ヲ此「バ」マス「ト」ニ植ヘタリ此間種々ノ苦難ヲ經テ千八百七十三年電線架設全ク成リ南濠洲ト通信ヲ成就スルニ至レリ次ハ鐵道ノ計畫ナリ即チ「ボ」ト「ダウキン」ヨリ「ア」デ「レ」ド「フ」間ニ此大陸ヲ貫通セシメントスルニ至リ千八百八十四年九月之レヲ起工シ千八百八十九年十月ヲ以テ百四十餘哩ヲ落成ス然レハ其後氣勢頓挫已ニ實測ヲ經タルノ地多シト雖モ今日ニ至テ毫厘ノ延長ヲ見ス

千八百九十一年ノ議會ニ支那人制限條例ノ議場ニ上ル當地ノ白人商人ノ或部分ハ連署シテ如此條例ノ採用セラルヘカヲサルヲ痛諭シ支那人ハ本州諸業ニ重要ノ原素タルヲ述ヘ議院ニ向テ「ベ」チ「シ」ヨ「ン」ヲ出セリ次之レニ反對スルノ白人等百五十餘名ノ連署ヲ以テ大ニ其非ヲ論シ白人ハ到底支那人ト兩立セサルヲ述ヘ速ニ該條例ノ議院通過ヲ希望スト云ヒ同シク「ベ」チ「シ」ヨ「ン」ヲ呈出セリ議院

ハ同年十二月難ナク本條例ヲ通過シテ支那人排斥論益其熱ヲ加ヘ白人等ハ揚言シテ日本洲ハ支那人アルカ爲メニ年々不景氣ニ傾クナリ若シ支那人アラサレハ漸次好運ニ赴クナリト彼等カ偏見ナル笑フニ堪ヘタリト雖モ彼等カ支配スル政治的權力ハ如何トモスル能ハサルナリ尙ホ此白人ト支那人トノ關係ハ後章ニ於テ詳説スルコトアルヘシ

本州ノ首府ハ「バーマストン」ト稱シ一般ニハ「ボートダウキン」ノ名ヲ通稱ス人口凡ソ一千人南緯十二度半東徑百三十一度ノ所即チ此「テリトリ」ノ西北隅ニ在リ西ニ「ドウグラス、ブレイ」半島突出シテ「ウエスタ、ポイント」ヲ爲シ東ニ「バーマストン」ノ岬「イースト、ポイント」ヲ作り此間三哩ノ海峽之ヲ「ボートダウキン」ノ港口ト爲ス内ニ包擁スル所ハ殆ント五方哩灣内屈曲又幾多ノ小灣小江ニ分ル市街ノ存在スル所灣内ニ突出シテ之ヲ「ポイントエマリー」ト云ヒ其北更ニ號シテ「フハンニール」ト稱シ南ヲ「ランセスベール」ト云フ港灣深フシテ十五尋ヨリ二十尋ニ至ル「ボートダウキン」ノ港ハ東南ニ開キ二百餘間ノ機橋海中ニ突出シ鐵道ノ軌線之レニ入り一千噸以上ノ船舶自由ニ其左右ニ繫カル灣内廣フシテ能ク百船ヲ容ルハニ足ル

「バーマルストン」ハ「ボートダウキン」ノ正名ニシテ此「テリトリ」政廳ノ在ル所市街未ダ甚ダ繁華ナラス重モナル町ハ「スミス、ベネ子」ト「カベノール」ミツチエルト爲ス而シテ政廳ノ建物ノ外未ダ見ルニ足ル「ビルヂイ」ヲ見ス家數凡ソ百戸其内數フヘキハ「銀行」三「イングリッシュ」ニコツチシユ、アンド、オースタラリヤン「此銀行ハ一回破産シテ再建シタルモノ未ダ開店ニ週三滿タス」コシ「マリーシャル、バンク、オブ、オースタラリヤン」ニ新聞社「フナザン」テリトリ、タイムス、アンド、ガゼットト稱シ一千八百七十三年以來發刊スルモノニシテ一週一回ナリ

私立電信會社

「イースタールン、エキステンション、オースタラリヤ、アンド、チヤイナ、テレグラフ、カンパニー」ト號シ「シシガポール」シヤ「バ」ヲ經テ海底電信ノ「オースタラリヤン、オバランド」ニ連續スルモノ即チ此地ニ在リ

會社代理店「倫敦」ノ「インベリヤル、フハイヤ、インシユワランス、カンパニー」チヤ「イレス、ベセル、カンパニス、ロンドン」ライオン、オブ、セヨリングベツセルス「イースタールン、アンド、オースタラリアン、スチームシツプ、カンパニー」ロイド、ロンドン「ニユトセラランド、フハイア、アンド、マリー、インシユ

カンタイル、アンド、エゼンシー、カンパニー」等重モナルモノニシテ此外曾テ寄港シタルコトモナキ汽船會社「エゼント」其他鑛山會社「エゼント」ノ類ナリ

領事館「ハ」子「ザランド」ノ「バリス、コンシユル」一人アルノミ何レノ國ヨリモ領事若クハ之レニ類スルノ官吏ヲ派遣シアルモノナシ

旅館「バ」マス「トン、クラブ、ホテル」テル「ミナス、ホテル」フ「ハ」ミ「リ、ホテル」アル「ス」オースタラリアン、ホテル「ノ三軒ナリ

商店「ハ」重モニ雜貨ヲ商ヒ食料品ヲ供給スルニ止リ格段ナル專賣物トテ「ハ」モアルコトナシ白人商店ノ數ハ五軒ニシテ支那人ハ其支那町ニ於テ重モナルモノ二十軒アリ

右ノ外「ソ」リ「シ」トル「二人」アリ政廳ノ官吏凡ソ三十人ニシテ白人ノ數合セテ百四十人餘ニ過キス翻テ支那人ヲ見ルニ彼等ハ嚴然ニ町内ヲ形造リ同族凡ソ七百人而シテ日用品ノ重ナルモノハ皆支那人ノ供給ニ係ル其「マ」イ「ケ」ツ「ト」ト號スルモノ「ハ」カ「ベ」ノ「一」街即チ支那町ニシテ本市第一繁昌ノ町ハ即チ其支那町ナリトス彼ノ吳服屋酒屋飲食店八百屋小間物屋等皆支那人ノ領スル所ナリ

家屋ハ大概武力板ヲ用フ建築用ノ材木乏シク大低ノ住家ハ四邊ノ柱ノミ凡ソ徑五寸位ノ材ヲ用ヒ
 周圍ノ壁ハ地上ヨリ屋根ニ達スルマテ武力ノ板ニテ圍ヒ其屋根モ亦武力ヲ以テ葺キ床高カラス中
 等以下ニ至テハ地上其儘ヲ用ヒ上等ノ住家ニ至テハ縁側凡ソ二間ヨリ三間位ノ「タ、キ」ニシテ之ヲ
 住居ノ周圍少クトモ二方ニ設ケ暑ヲ避クルノ便ニ供ス尙ホ其外圍ニ割竹ヲ以テ塙ヲ作り日光ノ直
 射ヲ防クモノアリ家ノ多クハ平屋ニシテ二階ヲ設クルハ一二軒ニ過キス當地ニ於テ最上ノ「ビルデ
 イング」ト云フハ石造ノ二階作ナリ石材ハ當地ノ土産ニ係リ質柔軟ニシテ色焼石ノ如シ他ニ輸出シ
 テ名ヲ争フニ足ルモノニアラス

船便ハ今「イースタール、アノド、オースタラリアン、スチームシツプ、カンパニー」及ヒ「チャイナ、子ビグ
 ション、カンパニー」ノ兩會社「アデレード」ヨリ東岸諸州ヲ經テ香港及ヒ日本神戸ニ至ルノ航路ヲ開キ
 時々當港ニ寄港スルモノナリ元トヨリ定期航海ニアラサレハ其航期ヲ一定スル能ハサルハ勿論ナ
 レ但從來大低一ヶ月二回即チ兩會社ニシテ一ヶ月一隻宛寄港スル事ニ爲リ居リタルニ本年ニ入り
 支那人問題ノ甚シク嚴重トナリ五百噸積ノ船ニ付テ支那人ノ客ニ名ヲ限ルニ至リ船客及ヒ貨物ニ
 著シク影響シ遂ニ會社ニ於テハ當地寄港ノ費用ヲ厭ヒ時ニ或ハ寄港セサル「アルヨリ」市民非常ノ
 不便ヲ蒙リ支那人問題ニ次テ更ニ一場ノ議題トナリ若シ如此會社ニシテ當地ニ無頓着ナル時ハ爲
 メニ或ハ兵糧費ニ達フノ日ナシトモ云フヘカラストテ其聲噴々タリシカ會社ニ於テモ此邊ノ都合
 ナ慮リテカ昨今ニ至リ可成寄港ヲ便チ取ル「トナリ」ト云フ此派船便ヲ取ル時ハ日本トノ距離
 ハ神戸「ボート」トダウキ「間」ハ香港ヲ經テ三千七百五十哩此船貨上等百六十五弗中等百二十弗下等六
 十弗ニシテ日數ハ凡二十日間ヲ費スヘシ本年ニ入り船貨非常ニ騰リ下等九十弗トナリタリト云フ
 此外當地「シンガポール」ノ間ヲ航行スル「後」ノ船アリ「ダウキ」ト號シ元ト家畜輸入ノ爲メニ特ニ

設ケタル航路ナリ此航路モ不幸ニシテ中止セントスルヤノ噂アリ如何ニヤ又其他ニ於テ元ト西
 洲「ウキ」及ヒ其西南岸トノ航路アリシカ本年ニ入りテ中止シタリ又東南「カ、ペンタリヤ」海及
 ヒ「マカサ、リ」ト「下」ノ間ニ郵便船アリシカ之レ亦中止シタリ又其外此「ボート」トダウキ「近海」
 「河邊」ニ時々便船ノ通行スルモノアリシモ今ハ殆ント皆無ニ歸セリ故ニ船便ト稱スルハ實ニ「イ、ア
 ンド、ニ」會社「チャイナ、子ビグ」シ「會社」ノ南ヨリ北ニ又北ヨリ南ニ僅カニ郵便物ヲ遞送スルノミ
 鐵道ハ元來此南北ヲ貫通スルノ目的ヨリシテ設計ヲ起シ千八百八十九年十月一日「バ、マ、ス、ト、ン」及
 「バ、イ、ン、ク、リ、イ、キ」ノ間ニ鐵道落成ヲ告ケ受負人ヨリ政府ニ引渡ヲ了シ「バ、イ、ン、ク、リ、イ、キ」ヨリ以南着々
 測量ヲ遂ケ漸次此大陸ヲ橫斷セントスルノ計畫ナリシカ爾來此「テリトリ」十分ノ發達ヲ示サス南
 政府亦此大事業ヲ完成スルノ力ナク茲再以テ今日ニ至リ此「テリトリ」ノ人民ハ噴々トシテ政府ノ怠
 慢ヲ責メ今日北領地ノ此狀態ニアルハ全ク鐵道ノ南北貫通セサルニアルヲ痛論シ演說ニ新聞ニ激
 シク政府及ヒ上下兩院ヲ攻擊シ甚キハ若シ南濠政府ニシテ此鐵道事業ヲ等閑ニシテ顧ミサルカ如
 キアレハ是レ全ク「ノ、イ、ザ、ン、テ、リ、ト、リ」ヲ放棄スルモノナリ果シテ南濠政府ニシテ如此意思アラハ吾
 人ハ恃ムヘカヲサルヲ恃ム勿レ吾人豈ニ亦獨立ノ氣概ナカランヤ唯一ノ手段ハ只夫レ大英本國政
 府ニ「ベ、テ、イ、シ、ヨ、シ」ヲ出スノミト呼號スルモノアリ以テ此鐵道カ如何ニ此「テリトリ」住民ニ關スルヤ
 ナ知ルヘシ而シテ今ヤ開通スルノ鐵道百四十六哩狹軌道ニシテ三呎六吋之ヲ二等ニ分チ上等一哩
 五片中等三片強之ヲ日本ニ直ストキハ上等實ニ一哩十三錢餘トナル勿論物價高値ノ所トハ云ヘ交
 通ノ不便推シテ知ルヘシ予曾テ其鐵道ヲ巡視スルニ乘客及ヒ貨物ノ種類ハ盡ク支那人ニ屬ス此鐵
 道ノ收入毎週三百磅而シテ其四分ノ三ハ支那人ノ爲メナリ今ヤ支那人ヲ云々ス而カモ此北領中支
 那人ナカリセハ鐵道ハ其用ヲ爲サ「ル」ヘシ支那人ノ勢力ハ未タ之レノミニハアラス田舎地方到所

此辨髮奴ヲ見サルハナシ田舎地方到此奴ノ庇蔭ヲ蒙ラサルハナシステーショント云ヘハ支那人ノ得意場タオト云ヘハ支那人ノ町ナリレトボラト云ヘハ大ハ數千人ノ坑夫ヨリ小ハ家内ノクツク「ガ」デナーニ至ル迄盡ク支那人ノ領分ナリ否ナ未タ之レノミニハアラス鑛山ノ持主ハ其三分ノ二ハ實ニ支那人ノ所領ニ歸シ了ンヌ彼等白人輩カ怒號シテ「チャイニーズ、マスト、ゴ」ヲ叫フハ此一面ヨリシテ眞ニ理由アルヲ認ム昨年當地在任ノ「ガバメント、レシデント」カ南濠政府ニ報告シタル中ニモ云ヘルコトアリ若シモ現今鑛法ノ或部分ヲ改正スルニアラサル以上ハ兩三年以來ノ經歷ヨリシテ此北領地中ノ鑛山ハ盡ク支那人ノ手中ニ落チンテ彼等白人カ營業ノ状態ヲ見ルニ年々借區券ヲ支那人ニ賣却スルモノ沒收セラル、モノ多ク四年前迄ハ白人ノ數今日ニ倍シタルモノ年々ニ退去シテ遂ニ二百人ニ足ラサル數トナリ支那人ハ若シ之ヲ放任スル時ハ年々ニ増殖シテ決シテ減少スルコトナク今ヨリ十年ヲ出テステ支那人ノ世ト爲ルハ鏡ニ懸ケテ見ルカ如シ千八百九十三年十二月南濠政府ハ遂ニ亞細亞人ノ採鑛權ヲ禁シタリト聞ク

當テリトリ「中交通ノ便稍々開ケテ多少住民在ル」地方ヲ列舉スレハ左ノ如シ

「マク、ミンズ、ラグーン」「パーマストン」ヨリ二十哩餘

此地方ハ今格段ナル事業ナク「ステーション」アリト雖モ寂トシテ人家ノ影ナシ之ヨリ五六哩ノ所白人數輩鑛業ニ從事シ支那人ノ一群農事ヲ營ムアルノミ

「サウス、ポト、下、道」同 三十八哩

此地ハ多少農産物ニ適スルニ場所アリト雖モ之レニ從事スルモノナク僅カニ鑛山ノ利益ニ依リテ人ノ住居スルアルノミ白人凡ソ二十人支那人此近郷ヲ併セテ二百人ニ近シ

「ラム、ジヤングル」同 五十七哩

此地「ステーション」ニ屬スト雖モ五六哩ノ所僅カニ數人ノ白人ト十數人ノ支那人ニ過キス其ステーションハ何人モ住居スルモノトテハナク唯タ用事アル時ノミ人來リテ往復ス

「スタ、ズ、レ、ド、ン」同 七十哩

寂寥ノ地記スル程ノ價值ナシ

「ア、デ、レ、イ、ド、リ、バ、ー」同 七十七哩

此地ハ多少牛馬野牛ノ類ヲ產出ス人口三百人此中白人僅カニ十餘人ニ過キス他ハ皆支那人ナリ

「グ、ー、デ、イ、テ」同 八十七哩

記スルノ價值ナシ

「ハ、ウ、レ、ー、リ、バ、ー」同 百一哩

此地ハ鑛業ノミニシテ金銀銅チンノ類ニシテ白八十數人支那人三百人以上アリ

「フ、ハ、オ、ン、テ、イ、ン、ヘ、ッ、ド」同 百八哩

此地方ハ最モ家畜ノ產出ニ富ミ年々「シ」ンガポールニ向フテ輸出スルモノ多ク此地ヨリス白人散在二十八モアルヘシ此地支那人少シト云フ

「ボ、ー、ト、ダ、ウ、キ、ン、カ、ン、ブ」同 百十四哩

數年前ハ金鑛ノ盛ナル所ナリシカ今ハ寂ビレ果テタリ

「ブ、ラ、ン、デ、イ、ー」同 百二十四哩

此地亦金鑛ニ依テ衣食スルモノ「ステーション」中稍々人家ノ多キ所白人二十人餘支那人三百人ヲ越ユト云フ

「ブリスリー」 同 百三十二哩

別ニ記スルノ價值ナシ
「ユニオン、グリーキ」 同 百三十九哩

「エニオン、グリーキ」ハ金銀ニテ有名ナル所ニシテ「バタリー」器械ヲ有スルモノ三ヶ所白人二十人支
隊那人四百人モ此近郷ニ散在ス此地支那人ノ米田アリ菜園アリ田舎中ニテ先ツ指テ屈スルノ部
落ナリ

「バリス、カリーキ」同 同出百四十六哩
之ニ未鐵道終極ノ地トス白人三十餘人支那人四百餘人金銀ノ盛大ナル今ハ此「テリトリ」中比類ナ
カズハ此地ノ「ゼンゼン」トマニング會社ノ如キハ四五萬磅ノ資本主ノ二三ヶ月前ヨ
リ新器械ヲ据ヘテ新ニ事業ヲ起セリ支那人ノ農業モボツ、開ケリ旅館アリ裁判所アリ巡査
アリ亦以テ多少人事ノ形アルヲ見ルヘシ

「カスリーン」 「ボート、ダウキ」ナ距離二百哩餘

「カスリーン」ハ鐵道ノ實測ヲ終ルト雖モ着手スル能ハサルモノナリ此地ニ「バインク、グリーキ」ヨリ毎週一回
通運馬車ヲ發ス午前八時發シテ中ニ夜途中ニ泊リ翌日正午「カスリーン」ニ着ス此ハ
此地ニ「バカスリン」河ヲ貫通スルアリ西ニ流レテ「ダリー」河ノ源ヲ爲ス東南五十哩ノ間多少農
場ニ適スルカ「ロバ、バリス」ハ此原野ヨリ發シテ東「カーペンタリヤ灣」ニ注ク此地金銀亦少カラ
ズ白人十餘人支那人百餘人之レニ住ス

「ボルト、ロバ」ハ白人十餘人支那人百餘人之レニ住ス

流レテ三百哩終ニ是ニ注ク舟楫ノ通スル七八十哩「ボート、ダウキ」ヨリ陸路六百哩餘東北海岸
ヨリ周廻シテ小汽船ヲ以テ七八日ヲ費ヤスヘシ此「ロバ」河畔ノ沃野ハ其「カーペンタリヤ灣」ヲ貫
ス易開ク「ロバ」於テ初メテ其真面目ヲ顯ハスヘシ今ハ交通不便年々寂寥ナ呈ス

「カーペンタリヤ」及「ボルト」
「ボルト」平原ハ當「テリトリ」東南ノ極殆ント「クキンスランド」ニ接スルノ地方ニアリ今日甚々
其名高カラズト雖モ猶ホ鐵業ヲ以テ有名ナルモノナリシ「マカザ、リバー」ハ此原野ヨリ發シテ東

北ニ向ヒ「カーペンタリヤ灣」ニ注ク河口ハ即チ「ボート、マカザ」ニシテ前ニ「サー、エドワード、ベリニ
」群島羅列シテ中ニ江灣ヲ包擁ス此地ハ「ボルト、ロバ」ト同シク東海岸ニ於ケル將來ノ大輸出
港ナリ今日雖モ當州中央原野ノ礦物牧畜ノ諸産ハ時々此港ヨリ輸出シ又其居住人民ノ需用
品ヲ供給ス故ニ此地ニ稅關ヲ置キ裁判所ヲ設ケ警察ヲ置ク等多少ノ政治組織アリ此地方總テ
白人百餘人ニシテ白人ノ數八十餘人ニ過キス

「チ、キ、ロ、サ、サ、オ、タ」
南本州ニ至ルノ本道鐵道ヲ貫通テ待テ南部高原ノ第一都府タラントスルモノ今ハ只稅關アリ
テ年々僅少ノ輸出入ヲ取扱フニ過キス此地方人口百ニ上ラス

此外「カム、ウ、サ、ル」稅關「アリス、ス、ズ、リ、ン、グ」バロース「テナント」バウエル「ノ原野」ダアリ「ウ、オ、タ」
「アン、ソ、子、下、ラ、グ、キ、ン」是等ハ皆「ア、レ、ト、ブ、レ、イ、リ、ス、オ、グ、ノ、ザ、ン、テ、リ、ト、リ」ト稱シテ此間八百哩ニ
渡ルノ平原ニ風ス交通不便ト水利ニ乏シキトハ地方ヲ閉ツルノ大原因ニシテ未タ官廳ノ概測ス
ラ届カサルモノ多シ

西方「ウ、エ、ス、ト、オ、イ、ス、タ、リ、ヤ」ノ境ニ至リテハ州ノ大部ハ有名ナル濠洲大沙漠ノ中ニアリテ何等ノ事

業モ企ツルヲ得サルモノ此沙漠ヲ通行シタルモノサヘ無キ有様ニテ其事情ノ概畧ヲモ知ルヲ得ス
 之ヨリ北ニ巡リテ海濱ニ出レハクキンス、チヤン子ルノ良灣アリト雖モ船一隻ダニ繋クモノナシビ
 クトリヤ河ハベインズ山ニ登シ蜿蜒西北ニ流レテ殆ント三百五十哩遠ニ此クキンス、チヤン子ルニ
 注ク千八百六十年ノ比政府ノ測量官一回此河邊ヲ巡檢シタル外曾テ人ノ通過シタルコトナシト云
 フ兩岸ノ饒田深山元トヨリ之ヲ開發スルノ價值ナキニアラスト雖モ此周邊ノ多クハ岩石ト砂原ニ
 シテ木材農田ヲ得ルハ僅カニ河岸ノ幾點ニ過キス而シテ彼ノ鑛物ニ至テハ頗ル希望少シト是レ即
 チ「ビクホリヤ、リバー」ノ今日迄放棄セラレ、所以ニシテ又吾人ノ往キ能ハサル所ナリ其他今一ノ原
 因ハ主人ノ數此河邊ニ最モ多ク暴殄ニシテ十分ノ隊ヲ爲スニアラサレハ旅行至難ナリト云フ
 今少シク北濱ニ上リテ「デアリ」河邊ノ形勢ヲ探クルニ「デアリ」河ハ「カスリン」ノ中原ニ源ヲ有シ途
 ニ「カスリン」河ヲ併セテ西北ニ向ヒ環流凡ソ三百餘哩「アンソン」灣ニ注ク「アンソン」灣ハ西北ニ開キテ
 關門ナク之ヲ良灣ト云フヲ得サレ「デアリ」此河口尙ホ用フヘシ此河殆ント五十哩以テ舟楫ヲ通ス
 ヘシ河畔ノ豐饒ハ或ハ當州第一タラン今日未タ其名ヲ得サルハ鑛物ニ乏シカリシヲ以テナリ鑛物
 ト雖モ銅及鉛ノ種類ハ猶ホ此河畔ニ得ヘク最モ著名ナルハ材木ナリ即チ「アイオンバーク」「バイン」レ
 ドウ「ド」「ペー」「バーク」等ヲ得ヘク唯今日各人ノ之レカ伐採ニ從事セサルハ之ヲ如何ニシテ市場
 ニ出サンカト云フニ惑ヘリ此地方實ハ材木ニ缺乏シテ家屋其外盡ク「チンブレ」ツヲ用フル有様
 ナリト雖モ需用ニ限りアリ其等ノ供給以テ營業ト爲スニ足ラス之ヲ遠ク他國ニ送ランニハ便船ナ
 ク特ニ非常ノ資本ヲ下シテ之レカ運輸ノ便ヲ自ラ備フル程ノ事業トシテハ聊カ躊躇スル所アリ今
 日迄ハ未タ何分ニモ金鑛ノ名聲ニノミ人氣時チタレハ如此事業ニハ蓋シ注意足ラサルモノ多カラ
 ン

農事ニ關シテモ此河邊ノ土壤ハ米田ニ良シ糖田ニ良シ其他野菜類ニ至テハ支那人ノ夙ニ營々拮据
 多ク証據立ツル所ナリ「ノーザン」テリ「ソリ」ノ政廳ハ頗ル農業ヲ獎勵シテ既ニ自ラ「ボタニツク」ガ「イ」デ
 「イ」ヲ設テ諸般ノ農作ヲ試驗シ此河畔ノ開發ニ向テハ多少注意スル所アリト雖モ何分勞働者少ナク
 一方ニ支那人ヲ排ケ一方ニハ年々白人ノ減少スルヲ見ルニ於テハ將來ノ農事ニ於テ政廳若心ヲ甚
 タ覺束ナキヲ信ス
 予此河畔丈六是非ニ巡檢セント欲シ永ク一ヶ月ノ間頗ル其機ヲ得ルコトニ注意シタレハ海路ノ交通
 全ク絶ヘテ船ヨリスルノ便オク陸路ヨリハ「カスリン」ヨリ西方一百哩ハ馬背ニ依テ渡ルハ力ヲ不
 費甚タ少シトセス頗ル遺憾ナリト雖モ政廳試驗ノ報告ニ依テ又其實見ノ官吏ニ聞クヲ以テ満足セ
 サルヘカヲサレノ事情ニ迫リタルハ亦止ムヲ得サルナリ
 北ニ廻リテ「アデレ」ド「リバー」河口ヨリ舟ニテ五六十哩ノ上流ヲ實檢スルニ此邊亦農場トシテ開發
 スルニ足ル河岸所々竹林ヲ見ル其細流ニ至テ最モ多シ兩岸ノ樹木甚タ高カラス七八間ヨリ十間位
 ヲ最高トシテ六七八間ヲ通常トス直徑四五尺ニ渡ルモノアリト雖モ多クハ一尺内外ニシテ種類ハ護膜
 樹ヲ主トシテ「アイオンバーク」「レッドウ」ド「介」在ス地質肥沃雜草繁茂當時水少クシテ處々河身ヲ表
 ハスト雖モ一二月頃霖雨ノ時ハ河岸ニ氾濫スルコトアリ今尙ホ其跡ヲ印シテ瞭然タリ
 之ヨリ「クラレンス」スト「レ」ト「テ」越ヘテ「バン」デ「イ」エ「メン」灣ニ入レハ「コバ」ド「グ」ベ「ニン」シ「ユ」ラ「西」北「コ」突
 出シテ「メル」ビル「高」ハ牛ノ如クニ西面ニ臥ス此「バン」デ「イ」エ「メン」灣ニ臨メル地方ハ「アリ」ゲ「ト」ル「リ」バ
 「上」ド「號」シ「アリ」ゲ「ト」ル「ニ」有「名」ナル河線ヲ除クノ外殆ント一百哩ノ河岸河川ヲ見ス此邊「チ」ス「レ」リ
 「カ」シ「テ」石「上」ニ屬シテ牧畜ノ場所ト爲ス
 「コ」バ「ル」グ「ベ」ニン「シ」ユ「ラ」ニハ有「名」ナル「ボ」ルト「エ」ツ「シ」ント「ン」ナルモノアリ此港千八百四十年ノ頃英國

ノ軍港ト爲サンコトヲ試ミ成ラサリシ所ナリ今ハ格段ニ此港ノ名ヲ稱セスト雖モ猶ホ「マレー」人ノ漁舟其他商人ノ往々薪水ヲ得ルノ處ト爲ス

之レヨリ東ニ沿フテ「カーペンタリヤ」海岸「アールン」ハム岬ニ至レル凡四百哩ノ間ハ江灣甚タ多シト雖モ今日未ダ其港トシテ稱セラルハモソナシ曰ク「モン」トソリス「海」曰「シヤンクシヨ」海曰「ボー」コ「ト」海曰「カステリ」フ「海」曰「アールン」ハム曰「バツキンガム」海曰「メル」ビ「ル」海等ニシテ島ニハ「ウエ」セル「モ」イ「ン」グ「リ」シ「ユ」カ「ン」バ「ミ」「エ」ル「チ」ヨ「ウ」其他「バツキンガム」海、口「東」北ニハ群島甚タ多シ而シテ其大陸ニ入りテハ「河川」少ナク「リ」バ「ブ」ル「リ」バ「イ」コ「イ」ダ「リ」バ「ブ」五六十哩ヲ流ルト雖モ水量少フシテ此原野沃瀦スニ足ラス

「アールン」ハム岬ヨリ南下スレハ是レ即チ「カーペンタリヤ」海「グ」ル「ト」バ「ツ」下「海」等其名アルモノナリ南ニ下リテ「リ」メン「バ」イト即チ有名ナル「ロ」リ「バ」ト「バ」ト「ト」是レ注キ「ボ」ル「ト」ハ「ト」在ル所ナリ其東北面ニ當リテハ大島ノ横ハ「ル」ア「リ」グ「ロ」ト「ト」イ「ラ」ント「ト」稱ス其周邊亦小島嶼ノ甚布スルアリ此海岸日初大陸ニ進ミテハ政府ノ實測漸ク其大概ヲ了スルニ過キス未ダ「タ」ラ「オ」ン「ラ」ン「ド」トシテ何人モ手ヲ付ケサルモノ多シ此邊肥沃ノ地少シト雖モ猶ホ牧場ヲシテ用フルニ足ル唯交通不便水便少シ各以テ最モ閉口スル所ナリ此海岸ヨリ東北「バ」ン「ク」イ「エ」メン「海」岸ニ跨カル大平野ハ「オ」ラ「ン」メ「海」岸「ア」ル「ン」ハム「ラ」ン「ド」ト云フ

「ア」ル「ビ」ル「島」ハ「西」界「バ」サ「ル」ス「ト」島ト密接シテ僅カニ一哩ニモ足ラサル「ア」ラ「ク」ル「海」峽ヲ隔テ、列坐於西北ニ突出シタル「ボ」イ「ン」ト「チ」ヨ「ウ」バ「ン」ク「イ」エ「メン」ト稱ス廣袤四十哩ニ亘ルノ大島ニシテ北面ニ於テ猶ホ江灣ナキニアラスト雖モ島地全体砂磧ニシテ僅カニ護謨樹ノ青點ヲ染ムルニ過キス且ツ土人ハ猛犸ナル銃裝隊伍ノ外未ダ會テ上陸シタルモノナク其處を漁舟ヲ寄泊ス苦ムアルヲ聞ク

第二章 氣候地質及水利

然レモ此島「バ」ウ「ハ」ロ「甚」タ多ク時々此「バ」ウ「ハ」ロ「繩」獲ノ爲メ隊伍ヲ組テ渡航スルモノアリト云フ隣島「バ」ウ「ハ」ロ「高」亦同一形状ニ屬ス

「バ」ウ「ハ」ロ「島」ノ氣候地質及水利ニ就テハ、

「バ」ウ「ハ」ロ「島」ノ氣候ニテ「ア」ラ「ク」ル「海」峽「ト」同シク熱帯中ニ在リ故ニ我日本國ノ如ク四季ヲ區別スル所ナシ常ニ炎暑ノ内ニ來往ス然リト雖モ夏期及冬期ノ區別ナキニハアラス草木多クハ四時其色ヲ變セシムルモノナリト雖モ又開花ノ期實ニ自ラ定ルモノアリ冬期ト云フハ北半球ニ於テ太陽ノ吾人跡所無夏至線ヲ通過スルノ時ト云ヒ夏期ハ即チ其反對ニシテ所謂冬至線ヲ通過スルノ時ト云フナリ故ニ日本ノ夏期ハ當地ノ冬時日本ノ冬期ハ當地ノ夏時ニ屬ス

當地ノ氣候ヲ分テ二トス一ハ「ド」ライ「シ」ヨ「ン」ニシテ他ハ「ウ」エ「ツ」ト「シ」ヨ「ン」ナリ「ド」ライ「シ」ヨ「ン」ハ五月ニ初リ九月ニ終リ「ウ」エ「ツ」ト「シ」ヨ「ン」ハ十月ニ初リ四月ニ終ル通常「ド」ライ「シ」ヨ「ン」ヲ稱シテ冬季ト云ヒ「ウ」エ「ツ」ト「シ」ヨ「ン」ヲ稱シテ夏期ト云フ夏期ハ北西ノ貿易風ヲ受ケ冬季ハ南東ノ貿易風來ル南東ノ貿易風吹テ時ハ五、六月ヨリ八、九月ニ至リ寒暖計晝間室内最高九十四度夜間最低五十六度予カ八、九月ノ頃滞在中心晝九十四度ニ上リ夜七十三度ニ下レリ北西ノ貿易風吹テ時ハ十一月頃ヨリ三、四月ニ至ル寒暖計晝間最高室内ニ於テ九十六度思フニ今少シク上ルヘシト雖モ自ラ實驗スルヲ得サレハ吾ク政廳官吏ノ統計ニ從フ夜分最低六十五度ナリ蓋シ此レハ「ボ」ルト「ダ」ウ「キ」ン「近」傍海岸ニ於ケルモノナリ若シ内地ニ入りテ今少シク乾燥ノ地方ニ至レハ多少相違スルモノアルヘシ予カ實驗シタル所ニ依レハ此海岸ヨリ二百哩カスリ「シ」近傍ニ至レハ八、九月ノ頃寒暖計九十六度ニ上リ夜七十七度ニ下リテ晝夜寒暖ノ差甚シク夜着ノ物モ毛布二枚ニ厚キ木綿ノ「シ」ツ「ニ」枚ニテ尙ホ

冬夏ノ氣候已ニ如此故ニ四時單衣一襲ヲ代フルヲ以テ足レリトス若シ雨ナクハ護膜樹ノ下以テ露ヲ凌クニ足ルベシ家屋ノ構造モ全ク夏向キ一方ノ建築ニシテ可成風入ノ良キ様ニ窓モ大ニ椽側モ廣キカニ前後ノ戸前モ高ク且廣ク天井ノ風抜モ大キク又數多ノ椅子ノ如キツラフハノ如キ盡ク支那製ノ簾ニアラサレハ竹製ノ物多シ寢臺ノ如キハ木綿絲ニテ製シ網ノ如キモノ、内ニ薄ク且軟ラカニ綿ヲ入レ極メテ夏時ニ適スル様ニ拵ハ上ニハ薄キ毛布ニ一枚ニシツツ及ヒ甚カバ上ニ位ナリ而シテ四時其寢臺ニハ蚊帳ヲ張レリ

蚊ト蠅トハ甚多シ今當地ノ所謂冬季ニ屬シテ最モ彼等ノ少キ時ヲ以テ晝間ハ蠅ハ蠅集スルアリ夜ハ蚊ノ四五疋ハ顔邊ニ往來ス而シテ當地ニ於テハ室内ヨリハ屋外ニ於テ最モ甚シ蚊モ蠅モ山中ニ入レハ實ニ暫クモ靜立スル能ハス且ツ當地ノ蚊蠅ハ甚多シ横着ニシテ蠅ノ如キハ常ニ人ノ目玉ヲ逐フテ來ル而シテ少々ノ拂方ニテハ中々動クモノニアラス彼等ノ体ニ物ノ觸レサル以上ハ頑然タリ故ニ其煩云フヘカラス勞働者ハ多ク面ニ薄キ網ヲ蔽ヒテ往來ス

草木ノ花ハ大低四季共ニ在リ又西瓜バナ、其他青物野菜類ハ決シテ絶フルコトナシ然レバ其最モ種類多シハ花ニシテモ野菜類ニシテモ一月二月ノ頃ヲ盛ナリトス雨ハ概シテ十月末ヨリ降初メ四月迄日本ノ梅雨ノ如キ者ナリ然レバ其降リ方ハ細雨霏々タル者ニアラス雹ノ如キ大粒ノ強雨常ニ夕立ノ如クニ十分二十分宛降リ行ク者ナリ而シテ總テ物ノ植付ハ此降雨ノ期ヲ待テ種ヲ下ロシ四月五ノ頃雨止ムニ及ンテ之ヲ收穫ス總シテ雨期ハ餘リ濕潤ニ過キ乾期ハ又餘リ乾燥ニ過クテ以テ地質ニ適スルモノト雖モ往々腐敗者見ルベシ云フ蓋シ暑氣如此ノ地方ニ於テハ尤モナルハシ今當州雨量ノ統計ヲ得タルハ左ニ掲ク

千八百九十三年七月 〇・四〇

同 八月	〇・四〇
同 九月	〇・四三
同 十月	〇・二二
同 十一月	四・九七
同 十二月	四・二七
千八百九十三年 一月	二・九六
同 二月	二・四七
同 三月	四・六四
同 四月	六・三九
同 五月	六・二七
同 六月	六・〇〇
千八百九十三年 平均	六・二四

是レ亦昨年七月ヨリ本九十二年ノ六月迄ノ平均雨量ナレバ政廳官吏ノ云フ所ニ依レハ大抵六十五「インチ」ヲ以テ毎年ノ平均ト爲スヲ得ヘシト云ヘリ今左ニ千八百七十二年以来毎年ノ雨量ヲ掲ク

千八百七十三年 七月ヨリ	六・二二
千八百七十二年 六月ヨリ	六・二二
千八百七十三年	五・七五
千八百七十四年	五・七五
千八百七十五年	五・六〇
千八百七十六年	六・三二
千八百七十七年	六・三二
千八百七十八年	六・七四

千八百七十七年	四七、五九〇
千八百七十八年	七五、七五〇
千八百七十九年	六二、〇六八
千八百八十年	五七、〇四〇
千八百八十一年	五九、二八〇
千八百八十二年	六三、一〇六
千八百八十三年	六四、七七〇
千八百八十四年	六六、三二〇
千八百八十五年	六一、〇八五
千八百八十六年	六三、四五八
千八百八十七年	六八、六二〇
千八百八十八年	四九、五五〇
千八百八十九年	六六、五四五
千八百九十年	七四、〇八〇
千八百九十一年	四三、六七〇

今之ヲ以テ見レハ唯雨量ノミノ比較ニテハ日本ト左程ノ相違アリサルカ如シ日本ノ平均雨量ハ六十八インチナレハ當地トハ僅カ三インチノ差ナリトス

土地ノ高燥ハ身體ノ健康ヲ害セス地方病ナク流行病ナク曾テ痘瘡ノ一患者ヲ支那人ニ見タルヲアルノミ今左ニ千八百九十一年ノ衛生局長ノ報告ヲ假リ病種ノ例ヲ掲レハ

呼吸氣病

十一人

腸胃病

九人

リユーマチス病

五人

精神病

四人

熱病ノ中「マラリヤ」

十三人

「エシタッククワイバー」

一人

「ナンフハンデルレミツテン」

十人

「オシフルエンサ」

八人

雜

四人

同年中ノ死亡

九人

死去ノ比例

九三七五

當州ハ熱帶國ニ屬スルヲ以テ所謂冬季ト云ヒ夏季ト云フト雖モ著シク晝夜ノ長短ナキ日本杯ト異ナルニ現象ナリ今試ニ當地ノ所謂夏期ニシテ晝間ノ最モ永キ時即チ一月ト其反對ナル冬季ノ七月トヲ比較スルニ左ノ如シ

一月一日 日出午前五時三十九分 日入午後六時二十一分

七月一日 日出午前六時二十一分 日入午後五時三十九分

風位ノ如キハ年中大抵ハ一定シアリ然レ共時トシテ暴風ノ吹クコトアリ颶風ノ吹クコトアリ暴風ハ概子北東ノ海上ヨリ來リ時々樹木ヲ折ルコトアルモ未タ人家ヲ倒ス程ノ暴風ニ逢ハス颶風ノ如キ時々中央高原ニ起リテ家屋ヲ卷キ獸畜其害ヲ受クルコトアルモ未タ其甚シキモノアルコトナシ予モ屢々旅

中ニ於テ驗シタルヨリ夜更ケテ四山靜寂ナルニ俄然トシテ木葉ヲ吹キ砂礫窓ヲ打ツコアリ如此
 モリ大唯々十數分間ニシテ止ムモノナリ
 地質ニ初メ流船ノ海岸ニ見ユルヤ其大陸ノ平坦ナルニ驚キ嘆シタリ「ボート」下ダウキン海口ノ兩岸
 水際ヨリ突起シテ殆シ下水平ヨリ二三十フイートニ望担トシテ平野空ニ連リ蒼々タル叢林海ノ如
 ク翠綠波ヲ爲シテ碧流レシトス遠クヨリ之ヲ望メハ殆シ下海面ニ連リ何レカ陸何レカ海之ヲ區別
 スル能ハス近ク就テ之ヲ見レハ陸地ノ見渡ス限リ此担途ニ在リ山ト云フ山峰ト云フ峰何レニアリ
 ヤ雄心私カニ語ル來レ此地ニ能ク米洲ノ牧野ニ倣フヘシト而シテ陸ニ上ルリテ四邊ヲ跋渉スレハ
 小丘細谷ノ外眼界ノ景色ヲ染ヌス暑氣炎々タリ下雖モ萬葉ノ翠葉擲スヘシ近寄テ其樹木ヲ見レハ
 護謨樹ナリ他ノ樹ニ移レハ亦是レ護謨樹ナリ過キ行ク林中木ヨリ木盡ク是レ護謨ナラサルハナシ
 初メテ知ル萬頂ノ綠野ハ是レ只護謨樹ノ野ナルヲ之レヨリ徐カニ其踏ム所ノ地上ヲ見レハ頂トシ
 テ岩ノ如シ其色一體ニ赭色ヲ帶ヒテ燒ケタル瓦石ノ如シ市街ノ兩側ヲ築ケル石質ヲ檢スルニ其色
 恰モ大火ノ燒后ニ見ルカ如ク其軟弱ナルコ瓜以テ能ク之ヲ研クヲ得ヘシ是レ此國ノ土産ニシテ以
 テ猶ホ家屋土藏ヲ建築ス
 前述ノ如ク當州一體ニ山岳ノ体ヲ爲スモノアルニアラス此西北ノ海濱ヨリ東直クギンズランドノ
 境界及南濠洲ニ至ルマテ所謂濠洲ノ大原野ヲ爲シテ廣袤幾千里唯々所々丘陵ノ起伏スルアルノミ
 何々マウンテント稱スト雖モ六七百フイートヲ越フルモノ甚タ少ナク此西北ノ海岸ニシテ百フイ
 ートヨリ二百フイートノ間之レヨリ二百餘哩ノ内地ニ於テ二百フイートヨリ三百フイート「ダリー
 ー」ウオ「ダリー」ヨリ「マウン」ト「ベイン」ノ近傍ニ於テ千フイートヨリ千六百フイートト云フ是レ此「テ
 リ」ト「最高ノ平原トス

予「バイ」シ「クリ」キヨリ以南「カス」リン及ヒ「ユ」ニオン「ダ」オンノ北凡ソ二百餘哩ノ間ヲ跋渉スルニ本州
 總體ノ地層ハ岩石ヲ以テ成立シタルモノナリ而シテ幾百年ノ間草木天荒ニ暴ラサレ雨露之ヲ洗ヒ
 細ニシテ輕キモノハ流レテ凹所ニ集リ疎ニシテ重キモノハ凸所ニ殘ル天然ニ含有スル所ノ礦物ハ
 自然ノ雨水ニ洗出セラレ外皮ニ露出シタルモノ多ク土人等ノ往々金塊ヲ拾得スルモノアル所以
 業家多ク平地ニ働ク所以ナリ故ニ地質ノ純真ニシテ粘質ヲ帶ヒ所謂「ローム」ベツドノ存スル所ハ
 必ス丘陵ノ間ニ介在シ多クハ四五哩四方少キハ四五「エーカー」ニ過キス予カ實見シタル所ニ依レハ
 海岸ヨリ五十哩マテノ間ニハ往々大農場ニ適スル肥沃ノ土質ヲ見ル廣袤モ十哩以上ニ亘ルノ地方
 ナキニアラス殊ニ「アデレイ」ド「リ」バ「ト」ラム、ジヤングルノ間ノ如キハ地質トシテハ牧場農場申分ナキ
 ハ其土質ノ細分「ローム」ベツドノ類ナル「ローム」ベツドノ類ナル「ローム」ベツドノ類ナル「ローム」ベツドノ類ナル
 証スルヲ得ヘシ

己ニ五十哩以上内地ニ入り原野ニ進ムニ至テハ土性盡ク砂礫質ニシテ所ニ依レハ岩石突兀トシテ
 草木瘠セ其多クハ「グラ」ベル、ランドニ屬シテ樹木ノ生育稀疎且ツ矮小ニシテ地層ニ水分ヲ見ルハ思
 モ寄ラヌ事トス
 予カ見ル所ニ依レハ地質ハ之ヲ分テ五種ト爲スヲ得ルカ如シ即チ灰黑色、赭色、灰白色、黄色及砂礫質
 下ス砂礫質ハ中央原野多クハ鑛坑ノ近邊ニ屬シ現在生スル所ノモノハ殆ント護謨樹ノ一族ニシテ
 他ハ草花ニシテ一年十二ヶ月花ヲ絶タサル一二異種ノ熱帶草ノミ
 黄色、赭色、灰白色ニ至テハ右砂礫質ノ原野ノ間ニ此ニ一方哩彼レニ一方哩ト僅カニ大ハ數方哩小ハ
 數「エーカー」ノ地面介在スルヲ見ルノミ此等諸色ノ地質ハ純真ナル云フ迄モナシト雖モ予ノ考フル
 所ニ依レハ此等ノ諸質ハ數年ナラズシテ肥料ヲ要スルモノナルヘシ如何トナレハ今日彼等ノ豐饒

見ルニ足ル所以ノモノハ雜草ノ幾百年間風雨ニ生死シ以テ僅カニ其土質ノ其ヲ助ケタルモノナレ
 ハ二年三年々々之ヲ使用セハ五年ヲ出テスシテ土性ノ榮養ニ不足ヲ生スルハ聊カ米國ノ「ゾオルジ
 シ、カイン」ノ種類ニ於テ經驗シタル所アルニ依ル試ニ此等土塊ニ水ヲ與フルニ包含性ノ頗ル薄キヲ
 驗見スヘシ此中結色ノ土質ハ他ノ二質ニ優ルヲ見ル
 灰黑色ノ地質ハ多ク河畔ニ屬ス然ラサレハ最モ水便ヲ得ルノ所ニアリ此等ノ地層ヲ掘下シ見ルニ
 所ニ依リ一尺ヨリ二尺マテ此同ノ地層アリ二三尺ノ下ハ稍々「クレ」ニ類スル「ハハ下」ナリ以
 テ其良好ヲ証スヘシ思フニ本州全体ヨリ之ヲ比較スレハ其如此良好ノ地面ハ誠ニ指テ屈スルニ過
 主サルヘシ予實見セサレ「ヒダア」リ「バ」ノ河畔ハ多ク此質ニ屬シ諸種ノ農産ニ最モ適當ナリト
 云フ「ラ」シ「ヤングル」ヨリ「ボ」ト「ダ」ウ「キ」ニ寄ルニ三十哩ノ所及ヒ「ア」レ「ド」河畔ノ或部分ノ樹
 木繁生シ「バイン」レ「ド」ウ「ド」「ア」イ「オン」バ「グ」等堅緻ナル材木其他「バナ」「オ」レ「ン」デ等ノ菓物ノ野生
 シ之ヲ開拓シテ菓實園トシ米田トシ糖田ト爲スニ頗ル適當ナルヘシト思惟シタルハ此地方ノ地質
 誠ニ此種ノ肥沃ニ屬スルヲ以テナリ
 「バイン」クリ「キ」ユ「ニ」オン「ハ」ウ「レ」フ「ハ」オン「テ」ン「ヘ」ット「ト」其他金礦所在ノ地ハ平坦ノ所ハ砂礫ニシテ
 丘陵ノ岩石ハ盡ク軟弱ナル石塊ニシテ大ナル五六疊ヨリ十二三疊敷位ノ御影石ニ類スルモノニシ
 テ其軟カナルモノ其他ハ赤色ヲ爲シタル恰カ「モ」ス「レ」ト「三」類スル石ニシテ亦彼レノ如ク薄ク幾枚
 ニモ裂ケ居レリ靴以テ其塊ヲ蹴ル時ハガサ「ク」ト離レルナリ鐵道ノ掘割リタル通路ニ徹スルニ如
 此ハ獨リ地上「グ」ミナ「ラス」深ク地下ニ入リテ亦如此石塊ノ層ヲ爲スヲ見ル
 此原野經過ノ通路ニ於テ著ク人目ニ觸ル「ハ」モノハ當地ニテ所謂「ホ」ワ「イト」ア「ン」ト「子」ス「ト」下稱スルモ
 ノ之レナリ即チ蟻族ノ建築ニ係ル土塊ナリ其高サ大ナルモノハ三間ヨリ三間半ニ達スルモノアリ

幅亦三四尺ヨリ五六尺ニ渡ル其築造ノ堅牢ナル大盤石ノ如ク泰然トシテ能ク風雨ニ堪フルノミナ
 ラス亦能ク他物ノ攻撃ニ堪フ人試ニ之ヲ碎破セントスレハ其接合ノ緻密ナル全ク「セメント」ノ最モ
 良好ナルモノニ比スヘク容易ニ破壊シ能ハサルナリ漆洲ニ於テ彼ノ蟻族ノ種類中最モ健剛ナルモ
 ノニシテ頭部ト腰部其色ヲ異ニスルモノアリ而シテ白アリ青アリ赤アリテ各其部屬ヲ異ニス此種
 ノ蟻ハ好シテ木材ヲ喰ヒ樹根ヲ穿チ家柱ヲ嚙リ其害甚ク大ニシテ洲人大ニ之レカ豫防ニ苦ム若シ
 家屋ヲ建ツルニ當リ其柱礎ノ下「ブ」リ「キ」板ノ如キ金屬ヲ敷クニアラサレハ年餘ヲ出テスシテ其柱
 空ニスヘシト云フ彼等蟻族カ山中ニ於ケル生活ヲ見ルニ先ツ材木ノ切り株ヲ見出す時ハ彼等ハ其
 株ノ周邊ニ己レノ唾ヲ以テ堅メタル泥土ヲ積ム其泥土年々ニ重積シテ何年後歟ハ如何ニ大ナル
 樹根下雖モ必ス埋メ去ル而シテ年々ノ經營モ其眷族ノ多少ト樹根ノ大小トニ依テ該泥塊ノ幅員ヲ
 造ル故ニ樹根大ニシテ眷族多キモノハ不知不顧ノ中幾丈ノ巨塊ヲ築ク之ヲ遠クヨリ望メハ宛然古
 色蒼然タル巨大ノ石碑ヲ見ルカ如シ其林間此蟻巢多キ所ニ至レハ數尺ノ間又ハ數間ヲ隔テ「黒」々
 恰カモ墓標ノ如クサナガラ墓所ニ在ルノ思ヲ爲ス青山天王寺ノ墓地其墓標ノ大小種々ナルカ如ク
 此蟻巢ノ群立スル所大小參差異ニ一奇景ナリ近ク就テ其土塊ヲ見レハ無數ノ小坑點々上ヨリ下ニ
 向フテ開ク是レ雨露ノ流下ヲ避ケタル見ヘタリ又此地方夏冬異方ノ貿易風ヲ受ケ彼等蟻族ノ慧敏
 ナル豫メ其穴ヲ轉改シテ風雨ノ難ヲ避ケルト云フ地方ノ土人ハ此土塊ノ穴ニ依テ初メテ風位ノ變
 轉ヲ知ルト傳フ我試ニ之ヲ打破シテ内部ヲ驗シタルニ恰モ蟻巢ノ如クニ縱橫坑穴ヲ通シ其緻密堅
 牢石ノ如シ今ヤ市街之レニ接スルノ地方ニ於テハ往々之ヲ収メテ「セ」メ「ン」ト「ニ」代用スト聞ク
 凡ノ當州ノ土質ノ如何ヲ檢スルニ當テ先ツ第一ニ石ノ蟻巢ヲ見ルヘシ其地方累々タル蟻巢ハ如何
 ナル色ヲ呈スルヤ如何ナル分子ヲ有スルヤハ一見シテ明白ナルヘシ若シ汽車ニ乘テ窓ヨリ順次此

太キ繩ニ結ヒギリノト卷キ上ルナリ若シ繩ヲ車ニ付ケテ日本ノ如クニセハ如何ニ其勞ヲ減セン

第三 生産物及其販路

當州ノ氣候ニ於テ地質ニ於テ産出物ノ種類ハ元トヨリ熱帶地方適種ノモノタル論ヲ俟タス而シテ
當時未タ土地開ケス住民少ク天然野生ノ物ノ外曾テ其適當ト思料スルモノ、試作培養ノ經驗ナク
現ニ此土地ニ存スル物ニシテ人工ヲ加ヘテ發達セシムヘキモノ若シクハ例令ヒ此土地ニ存セサル
モノト雖モ他ノ同様ナル氣候地質ニ生スルモノ、移植シ得ヘキモノ等夥多アルヘシト雖モ開闢日
未タ淺ク且ツ人民大概先ツ天産物ニ着眼シテ此等培養發達ノ事ニ至テハ毫末ノ注意ダモ爲サハル
ヲ以テ突然當州ニ入ルニ當テハ礦物ノ外何等ノ産物ナキニ驚愕セサルハ無シ然リト雖モ政府ハ夙
ニ大ニ是ニ見ル所アリ爲メニ「ボタニツク、ガイデン」ヲ設ケ諸般産物ノ試作ヲ開キ若々事業ヲ擴張セ
ントスルノ意アリ規模小ニシテ且其人ヲ得ズ萬事意ノ如クナラサルノ觀アリト雖モ農産發達上ニ
於テ其効用便利少シトセス
當州ニ於テ産物ト云ヘハ先ツ金屬ナリ即チ金、銀、銅、鉛及「ティン」ノ類ナリ就中金銀甚タ盛ニシテ他ノ
銀銅等指テ屈スルニ足ラス金屬ノ富饒ナルハ驚クヘク今日海岸ヨリ三百哩ノ間金屬幾百皆盛ニ採
掘ニ從事セリ當時借區全体ニテ一千八百四十四「エトカー」ニシテ年々ノ産出高五萬磅ヨリ十五萬磅
ニ至ル昨千八百九十三年ノ如キハ十萬八千七百六十三磅ニシテ他ノ礦屬ヲ併セテ殆シト十七萬磅
ヲ輸出アリ
金屬ノ外諸礦物ノ借區四千三百三十七「エトカー」ニテ試掘免許二千三百八十四「エトカー」ナリ千八百
九十二年此礦屬ノ輸出高十一萬四千九百九十一磅ナリ
此等金銀礦ノ販路ハ多ク倫敦ニ在リ時トシテ香港ヨリ支那地方ニ行ク「ア」レ此等ハ數フルニ足

ラス

農産物ニ於テハ一言ニ云ヘハ皆無ナリト云フヲ以テ足レリトス皆無ナルハ今日ニ於テ皆無ナルノ
ミ將來ニ望ナシト云フ「ア」ラス今「ガバメント」ノ試驗ニ依リ稍々好結果ヲ得タルモノヲ左ニ掲ク
米ニ當州ニ於テハ此氣候ト地質ニ於テ到底陸稻ヲ生育セシムル能ハス故ニ盡ク水田ニシテ當州ノ
夏期十一月頃降雨十分ニ低地ヲ濕フシ田地面上ニ四五寸雨水ノ滯ルヲ待チ之レニ下種ス其方法タ
ル日本ノ如ク一旦苗代シテ植換フルニアラス初メヨリ一尺四五寸ヲ隔テ、櫻ヲ蒔クナリ而シテ櫻
ヲ蒔クノ前ニ當テ唯一度鋤返シ其儘カニ平カナルヲ待テ蒔付クルナリ蒔テ苗ノ生長二尺位ニナル
迄ハ十分ニ雜草ヲ除クニ注意シ三三度所謂田ノ草取ヲ爲ス其己ニ二尺以上ニ上ル時ハ雜草ノ生ス
ルコナシト云フ且ツ當地ハ小サキ雀ノ如キ「ライス、バード」ト稱スル小鳥ノ外別ニ蟲害ヲ見スト而
シテ收穫ハ凡ソ「エトカー」一噸ノ割合ニ當ルト云フ予此海岸ヨリ百五十哩程ノ所「ユニオン」ヨリ十
里許ノ原野ニ支那人ノ米田アルヲ聞キ一日特ニ此地ニ馬ヲ馳セ之ヲ實見シタルニ「ル」
程ノ水田アリ支那人十餘人ニ從事セリ彼等ノ語ル所ニ依レハ氣候順ヲ得ハ年一作「バツグ」(二バ
ツグ)五十二斤餘ヲ得「シ」ト是レ彼等ノ概算ニシテ「エトカー」ニ算スレハ一噸ノ四分ノ一ニ過キザ
レハ「ガバメント」試作ト非常ノ差アリ思フニ彼等ハ其實ヲ告ケザルモノナルヘシ尤モ作ル所ノ種米
「ハ」支那米ニシテ「ガバメント」ノ方ハ「サイ」シ米ニ屬ス
「ガバメント」試作及支那人ノ作法ニ三分所實見シタルニ肥料ハ未タ用ヒス其土質ハ灰黑色ノ上田タ
リ然レテ稻ノ延ヒ方僅カニ三尺ヨリ四尺ニ達シテ殆ント日本ノ陸稻ノ種類ニ似タリ收穫ノ時季ハ
四五月ノ頃天氣ノ漸ク乾燥スルノ時ニアリ
「ガバメント」ノ書記官ニシテ彼ノ「ボタニツク」ガ「デ」長タル「ホルツ」ナル人ノ報告ニ依レハ米ノ當州

三適スルハ明白ノ事實ナレモ如何セン此米田ニ勞働スル者ナシ當時ノ支那人制限條例ノ存立スル
 限リハ支那人ニ於テ專ラ此事業ヲ擴張スルコト能ハス白人ニ至テハ二種ノ困難アリ一ハ米田ノ振方
 ニ慣レサルコト他ハ之ヲ市場ニ出ス迄ノ手數ノ煩雜ナルヲ厭フコト是レナリ故ニ今日米作ノ良好ヲ知
 リテ七八年其現象如此ト予ノ考フル所ニ依レハ若シ「ダアリー」河畔「アデレ」河畔其他「ビクトリア」
 河地方ニ於テ兩岸膏腴ノ地方ヲ開拓シテ全ク日本流ノ作方ヲ以テ日本人ノ手ニ此米田ヲ開カハ米
 作ノ發達ハ此地方ノ一產物トシテ必ス大ニ見込ヘキモノナラン
 砂糖ニ適當ノ地方ヲ撰マハ此氣候ヨリシテ砂糖樹ノ生育疑ナ容レヌ現ニ支那人等カ農田ノ傍ニ植
 付ケアルモノニ丈四五尺ニ達スルモノアリ「ガバメント」試驗場ニテハ此種ノ好結果ヲ得サリシト雖
 實數年前東北海岸ニ於テニケ所ノ製糖場アリシカ今ハ只「シヨール」ニ於テ英人「ブラント」氏ノ「ブ
 ランテ」シヨールニケ所アルノミ此下雖モ一試驗場ニシテ僅カニ五十「エーカー」ノ地面ニ過キス然
 レモ此五十「エーカー」ヨリ年ニ二十五噸ヨリ三十噸ノ收穫ヲ得ルト云フ此事業モ亦好勞働者ノ欠乏
 ヨリ十分ノ運轉ヲ爲シ能ハサルモノニシテ今ハ「ブラント」氏ノ製糖場土人ヲ使用シテ僅カニ此事業
 ヲ繼續スルニ限リ
 此外「コハナツツ」アフリカン「オイルパーム」等諸油質ノ植物ニ織緯植物ニテハ「ジュ」ツ「サ」
 「デカン」マニラ「ヘム」ライ「ミ」ボ「ス」リン「タ」等其他「バイナブル」コッ「フイ」「ダバコ」
 「チゴ」類亦試驗中ニ在リ棉花ハ野生ノモノニシテ丈ケ五六尺花房三寸ニ餘リテ垂ルハモノアルナ
 見「カバメント」試作場ニ於テモ棉花ニハ非常ノ望ヲ抱キ居レリ
 冬季ハ全休ノ地質ノ彼レノ如クナルカ爲メ其乾燥ノ度非常ニ甚シク夏季ハ濕潤其皮ヲ過キ之レ
 ニ熱氣ヲ加フルヲ以テ「ポテト」ノ生育ヲ見ル能ハス麥類ノ生長ヲ見ル能ハス唯タ支那産ノ「スチ」

「ポテト」日本ノ即チ薩摩等ヲ産スルノミ此芋ハ「エ」カ「平均」二噸ヲ收穫アル由ナレモ元來此
 種ノ芋ハ全ク需用多カラサルハ將來ヲ豫算フヘカヲサレニ似タリ
 葱ノ類ハ必ス望アルノ産物「アデレ」河畔ノ如キ沃野ニ植付ケナバ必ス好結果ヲ得ン不幸ニシ
 テ今ハ人ノ注意スルモノナシ其外日常ノ野菜「ヤベ」ト「ト」ト「黄瓜」カボ「チ」大根「蕪」人參ノ類ハ
 自由ニ生育スルヲ以テ毫末モ差支ナシ唯タ聊カ培養ニ手數ヲ要スルノミ
 材木ニ至テハ「アイオン」ウ「ド」「パイン」レ「ッド」ウ「ド」等「ユーカリ」トノ種類ナレモ尙モ堅緻ナルモ
 ノ海岸ヨリ河畔ニ添フテ生育ス然レモ内地ニ入ルニ從ヒ樹木ハ矮縮ス海岸ヨリ河畔ニ在ルモノ十
 間以上ニ達スルモノ往々アリト雖モ内地ニ入りテハ僅カニ四五間ニ達スルヲ以テ最高ノモノトス
 且ツ内地ハ已ニ五六十里以内ハ殆ント護謨樹ニシテ護謨樹ニアラサレハ其種族ノ樹木ナリ海岸河
 畔ト雖モ多ク護謨樹ナリト雖モ「ク」キ「ン」ス「ランド」北部ト同シク其種類護謨ヲ取ルニ適セス而シテ其
 河海ノ水際ニハ盡ク「マン」グ「ロー」ブ樹叢生シ海水ノ中林ヲ爲シ滿潮ノ時ハ枝葉ヲ没シ干潮ノ時ハ炎
 熱ノヲ燒クト雖モ四時翠綠流ルルカ如シ此樹ニモ各種ノ類別アリテ黒ト云ヒ白ト云フ今之ヲ詳ニ
 テ以テ護謨樹ノ如キモ幾十種ニ分ルト雖モ格段ノ必要ナキヲ以テ之レカ類別ヲ悉サズ
 當州ニ土産ノ竹アリ多ク河流ノ畔ニ林ヲ爲ス其質頗ル疎ニシテ日本ノ如クニ巧緻ナル器具ニ用フ
 ルハ甚タ難カルヘシ其大サハ大ナルモノニシテ徑二寸ニ達スルハ非常ナルモノナルベシ多クハ徑
 二寸位ニシテ長サ四五間ヲ頂上トス其生育ノ形狀ハ常ニ二三本宛ノ株ヲ爲シテ點々林ヲ爲ス其
 河畔ニアラサルノ所ニテ之ヲ見ルハ甚タ稀ナリ筍ノ生スルハ七八月ノ頃ニシテ九月頃恰カモ新葉
 大付クルノ時ナリ竹幹ノ色ハ一休黃色ヲ帯ヒテ奇ナルハ其黃中節ト節トノ間ニ縦ニ一線ノ線ヲ引
 夕葉ハ細長カク尖カレリ

本州ニ存セサルヘシ蓋シカスリン近傍ヨリ東西幾百万哩具ニ牧場トシテ見ルニ足ルモノアリト雖モ折角資本ヲ下シタル大數ノ家畜モ運輸ノ便ナク市場ノ便ナク人遂ニ手ヲ拱シテ此好牧場ヲ看過スルニ至ル千八百九十二年政府毎年五千磅ノ保護金ヲ下付シテ家畜輸出ヲ獎勵シタリ是ニゴールツ、ボロ、モルト會社之ヲ引受ケ新タニ「ダウキン」ナル船ヲ新造シ一年二千四百頭ノ家畜ヲ輸出スルノ契約ヲ以テ其事業ニ進ミタリ而シテ其家畜ハ重ニ「シンガポール」ニ輸出スルノ目的ナリシ本年八月以來多少障得起リ合ヤ此事業モ中止セラレントス「ノーザンテリトリ」牧畜業ノ如何ニ困難ナリヤ推シテ知ルヘシ

牛ハ甚タ多カラスト雖モ馬及野牛ハ随分少カラス彼ノ羊ニ至リテ南部高原ノ外氣候ノ爲ニ望海シ豚ノ類ハ多少支那人ノ飼養スル者アレモ未タ見ルニ足ラス蓋シ適當ノ地トハ云フヘカラサルヘシ此外輸出品トシテ數ヘラル、モロハ中ニ諸皮角ノ類千八百九十二年ニ三千磅餘アリ鼈甲類一千磅餘ニシテ此等ヲ「ノーザンテリトリ」ノ生産物トス

第四 地方政治警察ノ有様

本州「テリトリ」ニシテ「サウスオースタラリヤ」洲ニ屬スルハ既ニ記述シタル所タリ而シテ土地未タ開ケス人口少ナク格段ニ政治上ノ區畫分類其必要ヲ見サレハ六十二萬方里ノ分畫亦甚トシテ捕ヲルニ由ナク政治ト云ヘハ唯タ「パーマストン」ヲ記スルヲ以テ足レリトス「パーマストン」ノ政治モ極メテ簡單ナル組織ニシテ司法行政混交ニシテ知事ノ裁判長ヲ兼ヌルアリ問屋ノ主人判事タルアリ牛肉屋ノ巡査タルヲ總テ簡略ヲ主トシ成立シタルモ以テ然リト雖モ少クトモ二人ノ代議士ヲ議會ニ出スノ位地ニアラハ亦多少記スルコトナシト云フヘカラス今左ニ官廳ノ組織ヲ示サン

「ガバメント、レシデント、デパルトメント」地方廳

- 「ロー、コーツ」裁判所 二人
- 「サルベ、ア、アンド、ランヅ」 四人
- 「ホスピタル」 十四人
- 「ボスト、ア、アンド、テレグラフ」 七人
- 「カストムズ」 二人
- 「ポリス」 六人
- 「メデイカル」 十人
- 「ミセラニヤス」 小計六十二人

右ノ外各「ステーション」及重ナル場所ニハ巡査判事等假令ヒ宿屋ノ主人ニシテモ又八百屋ノ主人ニシテモ之ヲ配置シアルヲ數フレハ七八十人ハ必スアルヘシ乍併其「パーマストン」ニ於ケル諸役ノ如キハ甲乙兼務ノモノ多ク一人ニシテ四五役ヲ兼ヌルモノアレハ組織上如此ナリト雖モ實際人ハ三十人前後ニ在リ先ツ予カ計算スル所ニ依レハ地方ノ鑛山監督郵便局長等ヲ併セテ官吏トシテ生活スルモノ六十八人モアルヘシ今其政廳カ一年間ノ經費ヲ見ルニ書記官「ホルツ」氏ノ報告ニ依レハ一年一萬五千磅餘ニ過キスト而シテ「ガバメント、レシデント」ノ年俸一千一百磅其他ノ官吏月俸二十磅ヨリ七十磅ニシテ物價高値ノ所ニシテハ好キ給料ニアラス故ニ止ヲ得ス會社「エゼント」ノ如キモノ判事トシテ稅關吏ト爲スナリ

今官廳カ經費ノ収入ヲ見ルニ凡ソ三萬磅餘ナリト其租稅ノ種類手數料等ヲ見ルニ

租稅 三種アリ所得稅、土地稅、關稅ト而シテ所得稅ハ年々収入二百磅以上ノ土人ニ課スルモノニ

シテ其割合五分土地税ハ其土地ヲ政府ヲ評價シテ其價額一磅ニ付半片ヲ收メシム關稅ハ其輸入品
ノ量目ニ依ルモノアリ又其價格ニ依ルモノアリ一定セスト雖モ凡ソ二割五分以下ノ定ナリ今左ニ
重要ナル種類ヲ掲ケテ參考ニ供ス。

- エトル(ビーヤ) 一ガロン 一志
- 馬(六ヶ月以上) 一頭 一志五分
- 牛(六ヶ月以上) 一頭 一志五分
- アツプル生 一六オレド 三片
- パドレド 一テツセル 九片
- 豆類 百二十封 一割
- ブランデー三十五度 一ガロン 一割五分
- ブリツク(瓦) 一十八 一割五分
- 金銀屬製ス 一バレル 一割五分
- セメント 一バレル 二志
- 木綿細工物 一割五分
- 呉服木物 一割五分
- フハンシーグロツ 一割五分
- 皮革 一割五分
- 寶石類 二割
- 石油 一ガロン 三片

- リ子ハンカチーフ 一割五分
- マツチス 百箱入 一志
- 同セーフチー 一割
- マチングス(疊表) 一割五分
- 米 百二十斤 三志
- 絹加工物 一割五分
- 砂糖 百二十斤 三志
- 茶 一割 三片
- タバコ 一割 二志六片
- 同糸製 一志六片
- シガース 一志六片
- 玩具物 一志六片
- 漆 百二十斤 六志
- 一漆器 一割五分
- 輻輳傘 一割五分

重要ナル物貨ノ稅率如此其他農牛馬及ヒ斧鋤ノ類麥粉書籍無地木綿類ハ皆無稅ニ屬ス
此外ニ免許料アリ又借地料アリ又彼ノ營業免許料ノ如キモノアリ此等ハ別ニ詳說ノ項アルヘシ
政廳ノ歲入ハ如此ニシテ徵收セラレ而シテ政廳ノ事務ハ彼レノ如ク分畫セラレ以テ本州ノ行政ヲ
總攬ス本州ヨリ出ス二人ノ代議士ハ凡ソ二百人ノ住民ヨリ選舉スルモノニシテ其方法ハ普通選舉

ニシテ何人ト雖モ一人一票ヲ有スルヲ以テ之レカ全數ヲ得ルトスルモ二百票ニ過キス多クハ百三四十票ノ多數ヲ得ルヲ例ト爲ス任期ハ三年ニシテ千八百九十二年ニ解散シテ總選舉ヲ行ヒ本年六月ヨリ開會スルモノ新議會ナリト云フ

當州監獄ニ於ケル罪人ハ毎年三四十人アリ千八百九十年ニ四十一人同九十一年二十四人同九十二年四十二人ナリ此等既決囚ハ公衆ノ求ニ應シ勞働セシムルニ一人一日賃金一志六片ニシテ監督者ニ一人一日十志ヲ拂ハサルヘカラス罪人ハ支那人最モ多ク其次ハ土人ナリ而シテ罪質ハ竊盜ハ四十八人ニ付テ六人ノ割合故殺罪ハ四十人ニ付四人ノ割合強盜ハ三人謀殺二人ノ割合ナリトス其外ノ罪質ハ馬盜毆打不法統獲偽証等ニシテ割合ニ犯罪人ハ多シ之レカ監督者ハ三人ニシテ所長一人看守二人ナリ

警察ノ如キハ元トヨリ非常ニ繁忙ナルニアラス人口稀少ナレハ犯罪人ハ直ニ探索シ得ラル故ニ二人ノ巡查ニテ十分ナリ然レモ警察ノ便利上支那人一人ヲ相當ノ給料ニテ雇ヒ支那人ニ關スル探偵ヲ爲サシム又別ニ土人ノ酋長ニ相當ノ給金ヲ與ヘテ彼等ノ内ニ犯人アル時ハ之レニ命ス酋長命ヲ受ケテ之ヲ子分ノモノニ吩咐スル時ハ日ヲ移サスシテ捕獲スルヲ得ヘシ若シ又犯人ノ遠ク影ヲ隱シタル時ハ一時土人ヲシテ悉皆市外ニ退去セシメ其全体ニ犯人ノ捕獲ヲ命ス若シ捕獲ヲ得サル時ハ彼等ヲシテ一步モ市内ニ入ラザラシム蓋シ土人等ハ食ヲ市人ニ乞フテ其日ヲ生活シ最早他ノ蛇類ヲ食スルヲ以前ノ如クニ鹿食セサレハ物ノ食ヒタサノ苦シキニ舉テ搜查ニ從事ス故ニ如何ナル犯人モ見出サレスト云フナシ之レ最モ効驗アルノ仕方ナリト云フ

「バーマスト」ニハ「デイスト」リク下「コンシユル」ノ設ケアリテ市會議員八人アリ市ノ重要ナルハ此會ニ於テ議決シ總テ常市ノ事務ハ此市會ノ立法ニ依ル今千八百九十二年七月ヨリ同九十三年六月

ニ至ル當市ノ經濟ヲ見ルニ彼等カ収入ハ市稅犬ノ免許料屠牛免許料墓地料公會堂貸賃其他政廳ノ補助ニ依テ成立ス其高九百五十磅三志餘而シテ其費消スル所ノモノハ役員ノ給料諸廣告料街路燈火料公會堂維持費市街掃除料其他道路修繕等公共ノ費用ニシテ毎年六月三十日市會議長ノ名ヲ以テ其決算ヲ報告ス

通用貨幣ハ英本國ト同シク片志磅ナリトス

第五 地方ノ教育宗教及社會ノ狀態

一概ニ云ヘハ六十二萬方哩ノ大原野其教育モ宗教モ元トヨリ問題トナルヘキモノニハアラス左レモ如此未開發ノ地方ニ於ケル白人等ノ生活ハ將來吾人ノ競爭者トシテ深ク注意ヲ加フルハ職者ノ正ニ認メサルヘカラサルモノナリ

彼等ハ百三四十人ノ衆ニ共喰シ居レリ彼等ノ多數ハ政廳ノ官吏ナリ彼等商人ノ多クハ官吏ニ供給ス彼等商人ハ官吏ノ給金ヲ拂ヘリ試ニ昨千八百九十二年ノ輸出入ヲ見ルニ其輸入品ノ直十一萬七千九百十磅ニシテ彼等カ外國ニ支拂ヒタルモノナリ而シテ其輸出品ノ高ヲ見ルニ十六萬八千三百十九磅ナリ是レ即チ彼等ノ受取リタル收入ナリ輸出ノ重モナルモノ金鑛ニアリトスレハ此有數鑛主ノ利益ヲ思フ時ハ殆ント剩餘五萬磅ハ全体ノ利益ヨリ引去ラサルヲ得サルモノナリ果シテ然ラハ彼等ハ唯々營々トシテ生活ニ逐ハルハミ此ノトザンテリトリヲ潤ス所ノモノ何レニアリヤ今日ノ境遇甚タ心細キモノト云ハサルヘカラス然ルニ彼等ハ公會堂ヲ有シ教會ヲ有シ學校ヲ有シ病院ヲ有シ其他新聞アリクラブアリノ如キハ「ポート」ト「ダウキン」ト「イブル」ト「ラス」ト「ラス」ト「ラブ」ト「アーチ」ト「エリー」ト「クラブ」ト「クリケット」ト「クラブ」ト「レーシング」ト「クラブ」ト「五團體」ヲ有シ此外「バーマスト」ト「ド」ト「マ」ト「チ」ト「ツ」ト「ク」ト「ア」ト「ンド」ト「ミ」ト「エ」ト「ジ」ト「カ」ト「ル」ト「ソ」ト「サイ」ト「チ」ト「チ」ト「ル」ト「モ」ト「迄」ト「モ」ト「成」ト「立」セリ彼等カ多數少數ニ關ハラス其社

會ヲ爲スノ狀總テ如此學校ノ如キハ今二十七人ノ童子ヲ教育ス彼等カ金錢ニ目ノ無キ間ニ亦人間ノ發達ヲ希望スル熱心ナリト云フヘシ宗教ハ元ト「カヅリツク」ノ牧師來リ居リタレバ病ヲ以テ此地ヲ去リシ以來中止セリ「ウエスレヤン、チャーチ」ハ千八百八十三年以來引續キ傳道セリ此外土人ヲ教化セン爲メニ遠ク「デーリ」リバーノ河上ニ傳道スルモノアリ

彼等方如此ク團集シテ政治上ノ力ノ外腕力ノ勢ノ外別ニ社會ナル抱合力ヲ有スルヲ以テ何レニ至ルモ他人ノ願下ニ立タサルハ抑モ此理由ニ基カストセンヤ

支那人集テ七百人雖然トシテ「大」街ヲ爲ス是レ亦團結ニ富ムノ人種タリ然リト雖モ彼等ハ私慾ノ主ニ公務ヲ忘ル、モノ彼等ノ團集ハ自國人ノ利益ヲ保護スルモノ其私益ノ便ニ供スルモノナリ彼レニ「毫」國家ノ觀念アラハ彼レ何ヲ爲ソ白人ノ右ニ落チンヤ

支那人ノ當市ニ居ルモノ亦是レ他ノ同族三千餘人ノ爲メニ生活スルモノ彼ノ坑夫ノ物品ヲ供給スルノ外何等ノ商賣ヲ見ス一週三回内地ニ通フ源車ノ荷物ハ多ク支那人ノ食料品ナリ旅客ノ多クハ亦支那人ナリ鐵道每週三百磅ノ收入殆シト支那人ノ爲メニズ

第六 地方ニ於ケル一人一家ノ生活費

當州ニ於テハ總シテ物價ハ高値ナルハ云フ迄モナケレバ亦「ト」ト「ウ」キント「田」舎トハ殆ント二三割方相異ナルヘシ今當市街ニ於ケル二三物價ヲ掲レハ左ノ如シ

- 米 一バツグ(五十二斤)凡ソ二斗 十一志六片
- 牛肉 一斤 五片
- 砂糖 一斤 五片
- 茶 一斤 三志六片

- 「コッファイ」 一斤 一志九片
- 「コムア」 一斤四分ノ一 一志六片
- 鶏卵 一打 一志四片
- 「ポテト」 一箱(百斤入) 二十志
- 葱 同 二十五志
- 石油 一箱 十五志
- 麥粉 一袋五十封入 八志六片
- 薩摩芋 百二十封 五志
- 「ビール」 一杯 一志
- 同 一本 二志
- 「タバコ」 一斤 七志
- 「シガ」 百本 二十志以上四十志
- 亞鉛板 一噸 十四磅
- 疊表 一「ヤート」 一志ヨリ一志六片
- 「バタ」 一封度 二志六片
- 洗濯質 一品 二片
- 石炭 一噸 二磅十志
- 薪 一噸 十志
- 「メリヤスシヤツ」 一枚 三志

「リンネル」服上衣及「パンツ」
家賃 凡三十坪ノ平家一ヶ月

十五志
一磅

右ニテ物價ノ概畧ヲ知ルニ足ルヘシ旅舎ニ於テ暮ラス時ハ一日八志ヨリ十五志ニテ事足ルヘシ一ヶ月十五磅ヲ費ヤサハ一人一ヶ月ホテル住居ニ差支ナカルヘシ兩三年前ハ物價一層高ク「ホテル」ノ如キモ一夜一磅ノ時節アリシト云フ今ハ非常ニ不景氣ニシテ物價モ大下落ヲ爲シタリト云フニ於テ猶ホ前掲ノ如シ

當地ニ於テ一家五口ト假定シテ取調ヘタル一ヶ月ノ食住費凡ソ左ノ如シ

- 一 肉類 二百封度 四磅三志餘
 - 一 野菜 十五志
 - 一 麥粉 四袋 一磅十四志
 - 一 奶粉ト一 四箱 四磅
 - 一 葱類 一箱 一磅五志
 - 一 油類 十打 五志
 - 一 鶏卵 十三志四片
 - 一 茶「コフイー」類 十六志
 - 一 「バター」チース「スパイセス」類 六志
 - 一 薪 二噸 一磅
 - 一 家賃 一磅
- 計十五磅三志四片

之ヲ中等ノ活計ヲ爲ス之レ計以上ノ限リナリ事云フ迄モ無ケレバ此ヨリ以下亦何様ノ階級モアリ得ヘシ當地ノ日本入ニテ其殊異ヲ營ムモノ家内四五口ノ生計凡ソ十二磅ヲ要スト云ヘリ前掲計算ハ當地新聞記者ニ聞キタルモノニシテ彼等カ云フ所ニ依レテ年中ノ諸費ハ衣服飲料ヲ併セテ二百磅ヨリ三百磅アレハ相當ニ甚重セラルト云ヘリ

白人兼方一人ニテ暮ラスニハ一日以志ヲ要スルヲ通常トス即チ一食ニ志二日六志而シテ一夜ノ宿料ニ志之レナリ
併シテカチ自炊シテ破屋ノ中ニ苦臥ス厭ハサレハ一日四五志ニシテ十分チ受那入例ノ食家ニテ二日ニ志前後ニテ生活スル計聞ク然レバ此等ハ元トヨリ格外ノ話ナリ在留日本人ハ一人ニテ大低ニ月二磅ヨリ三磅ニテ生活スルヲ得ヘシト云ヘリ
右諸物價ノ中肉類ハ通常ニシテ麥粉及「ト」葱ハ非常ノ高價ヲシテ是等ハ盡ク「シドニー」ヨリ渡來スルヲ以テナリ野菜ハ割價ニ安價ナリ

第七 全体ノ商工業及輸出入ノ状態

前ニ述ベタル如ク當地ノ商業ナルモハ種々及テ憐ハレナルモノ三シテ大相違ハ共喰ヒニ依テ成立ツモノ多ク商業上著シキモノハ金屬ノ輸出ニ過キス工業ノ如キハ砂糖精製所ナリト雖モ裝微振ハス賊ニ之ヲ配載スルノ價値大キキテ去チ去チ千八百九十二年船舶ノ入港ネルモノ八十五艘此噸數八万一千一百二十三旅人ノ上陸五百五人而シテ船舶ノ出港シタルモノ八十四艘此噸數八万〇六百九十二シテ旅人ノ出發シタルモノ五百四十九人ナリ而シテ同年產物ノ海外ニ出テタルモノ總計十六万八千三百三十九磅又食料品其他必需品ヲ輸入シテ千七千九百十磅此國稅収入三万一千五百八十一磅三志八片ナリトス此總額ヲ計算ニ於テ「」ヲ用ザシテ下リテ利益ハ八万磅餘ナリトス今千八百九十三年

年ノ税關報告ニ依リ輸出入品ノ種類下國別ヲ知ラントス之レニ先テ先ヅノ一ザンテリトリノ生産物ノ輸出品目ヲ左ニ掲ケ併セテ其量目ヲ示ス

金塊 二万八千六百二十九オンス
 金銀 三十四噸二十分ノ十一
 銀鉛塊 九十八噸二十分ノ六
 テイン銀 二十九噸二十分ノ八
 銅銀 二百六十八噸二十分ノ七
 生皮角等 三十一噸
 眞珠貝類 三百〇三噸
 乾魚 九万三千八百三封度
 龍甲 三千三百九十封度
 煙草葉 五千三百七十三封
 家畜類 五千八百七十五頭
 羊毛 七千五百頭
 羊毛 二万六千四百八十封
 砂糖 四百八十噸
 雜種 三百九十一噸
 小計 十三万八千七百四十九磅
 右ノ外他國ヨリ當地ニ經テ輸出スルモノアリ即チ...

金塊 西濠洲産 百八十二オンス

雜種 六百七十五磅

以上二日總計十四万四千三百九十三磅

以上列舉シタル物産カ海外何レニ向テ輸出セラル、ヤ左ノ表ニ付テ其國別及分量ヲ知ルヘシ

國名	輸出高
英國	九千四百七十磅
南濠洲	二万三千七百七十六磅
ビクホリヤ洲	二万五千八百四十磅
ニユーサウスウエルズ洲	七万〇八百二十七磅
クイーンズランド洲	四千三百〇六磅
西濠洲	二千三百六十八磅
香港	二万五千三百八十二磅
シンガポール	十九磅
日耳曼	二百三十磅
マカッサル	三千五百七十五磅
輸出總計	十四万四千三百九十三磅
右ノ外他國ハ即チ此ノ一ザンテリトリノ得意先ニシテ今其運賃ヲ聞クニ	
金塊	其價額ノ一割
銀及銅塊等	三十五志

一波動ニ掀翻セラレ白人ノ年々ニ此事業ヨリ失落スル少トセス是ニ於テ白人輩ノ恐慌一方大ラス若シ夫レ之ヲ自然ニ放任セハ世ハ獨リ労働者ノ社會ノミナラス亦資本家ノ社會マテ支那人ノ世ト爲リ了ラント甲乙之ヲ説キ丙丁之レニ和シ遂ニ「ベチシヨ」トナリ議會ノ決議トナリ法律トナリテ彼ノ支那人制限條例ノ今日ヲ致セリ白人等ハ本州ニ於テ生存競争ノ上ニ敗レタルナリ彼等ハ將ニ政治上ノ力ヲ用ヒテ自己ノ地位ヲ維持セント勉ム然レモ酒々タル勢力ハ我レ其如何トモスル能ハサルヲ知ルナリ

夫レ亞細亞人種ハ生存競争ニ於テ既ニ北米大陸ニ於テ大勝ヲ得今亦澳洲ニ此快聞アリ吾人日本民族豈ニ亦多望ナリト謂ハサルヘケンヤ世ニ資本ノ勢力ハ労働者ヲ奴隷ニスルトノ怪疑ヲ抱クモノアリ此輩須ク本國ヲ去テ此生存競争ノ本舞臺ニ於テ此階級ノ勢力如何ヲ實見スヘキナリ

四年前鐵道建設ノ當時ハ白人労働者ノ數モ三四百ニ達シタルヲアリト雖モ今日ハ殆ント彼等ノ影ヲ見ス蓋シ支那人トノ競争ニ堪ヘス自ラ退去シ行クモノナリ現ニ彼等ノ労働者ハ僅カニ機關技師ノ如キ取者ノ如キ限ラレタル範圍ニ於テ其生活ヲ遂クシ過キス今は以白人ノ給金ヲ掲クテ

同 鐵夫頭ノ類 一週 三磅
牛馬扱人 一週 二磅
農園世話人 一ヶ月 十磅
商店支配人 一ヶ月 三十磅
手代小僧 一ヶ月 十磅
更ニ支那人ノ給金ヲ取調ヘタルニ

家内の労働

一ヶ月

五磅 食事付

大工 器械師

一日

十志

農園世話人

一ヶ月

四磅 食事付

鐵山人夫 地下 地上

一日

六志

其他雜事

一日

五志ヨリ十志迄

日本人ハ數少ナク且ツ營業唯一ニシテ其給料一ヶ月三磅ヨリ五磅マテニテ良キ「ダイバー」ナレハ七八磅ヲ得ヘシト云フ

土人ヲ使用スルニハ前ニ第一編ニ於テ土人ノ風俗ヲ記スルニ當リ多少鐵メタル所アリタル如ク金錢ヨリハ物品ヲ望ム物品ヨリ食品ヲ望ムヲ以テ水ヲ汲マセテハ朝飯ヲ食ハシ薪ヲ割ラセテハ夕飯ヲ食ハスルヲ以テ通常トス彼等ニ規則立チタル用事ヲ吩咐スルモ彼等ノ偉大ナル体格何事ヲ爲シ得ス且ツ彼等ハ物ノ義務ト云フヲ知ラサレハ腹充レハ例令ヒ仕事ハ終ラサルモ横臥シテ起タス腹空フナレハ何事ニモ走ル是レ彼ノ動物ノ智識タリ

第九 鑛業ノ景況及其法律

既ニ前項各所ニ於テ屢々記述シタル如ク本州ハ鑛業其本産ニシテ實ニ鑛業ヲ以テ本州ヲ爲スモノナレハ本州ニ入りテハ須ク鑛業ノ本体ヲ究メサルベカラス予ハ「ボールドダウキン」ヨリ「カスリン」ニ至レル鐵道ノ兩側ニ沿フテ開ケタル鑛山丈六二十餘ヶ所自ラ踏檢シテ其景況ヲ見聞シタリ予ハ深ク鑛業ノ事ニ通セサレハ彼等カ千百ノ説明頗ル其理解ニ苦ミダリ故ニ本書記載スル所可成自己ノ斷

定ま避ク是レ其智識ニ乏シキヲ以テナリ千八百九十二年ニ於ケル鑛物試掘ミチラル、チイセンズ
 二千三百八十四「エーカー」ニシテ同借區四千三百三十七「エーカー」ナリ而シテ別ニ金鑛ニ屬スルモノ
 一千八百四十四「エーカー」ノ借地アリ政府カ此等ヨリ得ル所ノ借地料ハ鑛物ニ於テ年々一千磅ヨリ
 一千二百磅ニ至リ金鑛ニ於テ年々八百磅ヨリ一千磅ニ至ル
 金鑛ニ於テ重ナル所「バイキング」ユニオ「ヤ」ヲク「イキ」フハオンテン、ヘッド「ウールウオンガ」
 「エムレイン」等ニシテ兩三年以來漸次其採掘高ヲ増加シ來リ將來ノ希望亦少カラズ今左ニ千八百八
 十八年以來金ノ産出比例ヲ擧グ
 千八百八十八年 三万四千八百〇二磅
 千八百八十九年 四万七千三百三十九磅
 千八百九十年 八万〇五百二十四磅
 千八百九十一年 九万八千四百九十九磅
 千八百九十二年 十萬八千七百六十三磅
 既往五年間ノ成績ニ於テ當州金鑛ノ如何ナルヤハ推シテ知ルヘキナリ世人ハ云フ前上ノ計算ハ
 鑛主人義務ニ屬シテ政府ニ報告スルモノナレハ未ダ必スシモ實物得タリト云フヘカラス想カニ前
 上ノ四五割ハ報告以外ニ存セント或ハ種々ノ點ヨリ如此事情モカ「ル」イ「チ」ルベシ
 金鑛ノ所有主ハ元ト全ク白人資本主ノ所領ナリシカ支那人ノ進ヲ授入シテ今ハ七分支那人ニ屬シ
 僅カニ三分白人ノ據守スル所ナリ千八百九十一年當政廳ノ報告書ニ依レハ左ノ結果ヲ見ル
 二万八千六百二十九「オンス」
 内 金塊産出總高

二万〇九百二十五「オンス」此代七万一千三百三十七磅支那人取得
 七千七百〇四「オンス」此代二万六千九百十二磅白人取得
 夫レ如此世人ノ唱フ所ヲ依テ本年ニ入り支那人ノ手ニ移リタルモノ少シトセザレハ恐
 然ル其収益ノ結果ハ千八百九十一年ノ頃ニテ「ル」人「以テ如何ニ白人カ苦職スルカヲ見ル
 ヘシ

今此金鑛ニ下「セ」資本ト其収益ノ次第ヲ聞クニ凡ソ左ノ如シト云テ

「ゼン」センズ「ゴ」ルド「マイ」ニング「會社」	借地百六十二「エーカー」
資本額 百八	在「バイ」ニング「リ」キ
内、諸器機費用	三萬磅
諸器機費用	二萬磅
据付其他山中ノ準備	五千磅
住家費用	六千磅
雜費	四千磅
五年間ノ諸費用	八千磅
鑛夫 八千人	二万五千八百四十磅
内 白人 二十人	二万五千八百四十磅
支那人 六千人	一ヶ月 一八十二磅宛
器械損料其他藥品	一ヶ月 六十七人 八千六百四十磅
借地料	一ヶ月 十三百磅
職員給料其他	八十磅
	三千磅

雜費 百十磅
總計二万磅餘

而シテ右ノ會社ハ二三合併シテ數ヶ月前ニ新設シタルヲ以テ十分經驗アルニアラス其待設クル所
八年ノ總收入三万磅前後ニアリト諸話セリ又支那人ノ金鑛ヲ見ルニ
萬鎰會社ハ借地二百エーカー一在ユニオン近キハ

資本 一万五千磅

買取代價 五千磅

器械諸費 二万磅

住家附屬 二千磅

一ヶ年ノ諸費用 三萬千磅

鑛夫 百人

諸雜費諸稅共 二千磅

總計八千磅

此鑛區ハ已二十年以來實驗スル所ニシテ二年ノ收益ハ總收入二万磅前後ニシテ純益ハ千磅ヨリ三
千磅ニ過ギズト是レ稍々實ニ近キ者ナリ而シテ彼ノ費用ヲ比較セバ其規模ニ多少ノ相違アリ
トスルモ二年ノ經費ハ十九ノ差アリ以テ此競争分如何ヲ知ルニシテ二箇年ノ
金鑛ノ多クハ平面(サトズエリス)ニ於テ探鑛スルモガナレハ勞働ノ容易ナルハ云フ迄モナシ近時表

面ノ鑛物漸ク減少シテ追々ニ下層ニ掘入ルニ至リ予ハ(セシセン)會社ノ鑛穴ニ係ル百四十フイット
ト號スル地下ノ探鑛内ニ入り其形况ヲ見タリ彼等一々地質ヲ指摘シテ其層ノ無限ナルヲ説明セリ
今ハ地下ニ入ル二百フイットヲ最モ深キモノトス
常州ニ於テ使用スル「バッテリー」ノ數ハ(セン)會社二個ヲ有シ其他ハ大ナル會社ニ於テ一個ヲ有ス
而シテ之ヲ有セサルモノ過半ニシテ總テ「ソーザン」デリトリニ於テ僅々十三個ニ過キス他ノ小鑛山
ハ皆鑛塊ヲ賣却スルモノニシテ一噸ノ價凡ソ十五志當リ十八志位ニ賣渡スモノナリト云フ
金鑛ヲ外ナル銀銅鉛(チン)ノ類ハ今日微々トシテ論スルニ足ラス千八百九十二年此種ノ輸出高左ノ
如シ

銅 二千五百五十五磅

鐵 二千四百三十三磅

銀 一千六百四十磅

以上記述ノ外常州ニ於テ他ノ鑛物ヲ見ス鉄ノ如キアシチモ「」ノ如キ又石炭ノ如キ其影ダニ見ハ
サルナリ
石炭ノ欠乏ナルハ當「デリトリ」ノミナラス南濠洲ニ於テモ亦然リ政府人民熱心ニ其發見ニ從事スト
雖モ今日ニ至ルマテ未タ寸塊ヲ得ス政府ハ盛ニ新聞紙上ニ廣告シテ凡ソ常州ニ於テ石炭ヲ發見シ
タルモノアラハ一萬磅ノ報酬ヲ與フベシトテ大ニ獎勵スル所アリト雖モ未タ何人モ其一萬磅ノ運
命ニ遭遇シタルモノナシ
今左ニ重要ナル鑛法ノ簡條ヲ採萃ス
千八百八十八年「トザン」デリトリ鑛山法

第四節 金鑛ヲ除ク外諸鑛物ヲ搜索スル爲メ試掘免許ヲ與フヘシ

此免許ハ八十二エーカーヲ越ヘサル土地ニ於テ十二ヶ月間有効ノモノニシテ二十志ヲ前納スルモノナルヘシ

而シテ諸種ノ鑛物金ヲ除ク見本トシテ一噸ニ過キサル分量ヲ取去ルヲ得

第六節 此試掘免許ヲ得タルモノハ此免許ノ有効ナル間ニ於テ何時ニテモ鑛山借地主タル先取權アルモノトス

第九節 鑛山借地ハ別ニ規定スル手續ニ從ヒ第一ノ請求者ニ免許スヘシ但一借地ノ高ハ八十二エーカーニ越ヘサルヘシ

第十節 各鑛山借地年限ハ九十九年ニ過キサルヘシ

此期限ノ繼續スル間ハ借地主ハ金鑛ノ外諸種ノ鑛物ヲ所有シ所分スルノ權アルヘシ

第十三節 借地料ハ一ヶ年ニエーカーニ付一志ヲ納ムルシ又別ニ其借地ヨリ産出スル純益ノ一磅ニ付キ六片ヲ毎年二季即チ二月八月ノ其月末迄ニアデレード大藏省又ハパーマストン土地局ニ納ムルヘシ

第十五節 何人ト雖モ六百四十エーカー以上ノ鑛山借地ヲ保有スルヲ得ス以下略ス

千八百七十三年ノゾーザンテリトリ金鑛條例

第三章 鑛山借地ノ手續ニ關シテハ一ノ會社ニテモ其ノ地ニ鑛ヲ採ルノ權アリ

第二十四節 一人若クハ會社ハ其志ヲ納付スルニ於テ探鑛權(Miner's Right)ヲ保有スルヲ得

此權利ハ年々繼續スルヲ得ヘキモノニシテ毎年十二月一日之ヲ改新スヘシ

第二十六節 一個人又ハ會社ニシテ本章ノ規定ニ從ヒ探鑛權ヲ保有スルモノハ左ノ特權ヲ付與セ

ラルヘシ

一 別ニ定メタル所ノ手續ニ從ヒ其廣長分量及境界ヲ定メ金鑛ヲ得ル爲メニ其土地ノ鑛塊ヲ所有スルヲ得

二 探鑛權ヲ保有スルモノハ其權利ノ繼續スル限リ其郊原ニ屬スル材木石材ヲ切り家屋ヲ建築スルニ急流堰又ハ水溜ヲ使用スルヲ得

三 郊原所在ノ水泉池沼又ハ流水ヲ使用シ轉換シ以テ探鑛用或ハ一家用ニ費消スルヲ得

八 探鑛便利ノ爲メニ道路ヲ設ケ鐵道ヲ敷クノ權アリ

十 探鑛權ノ繼續スル間ハ其境内ニ存スル諸般ノ鑛塊ニ關シテハ其鑛主ノ專有財產タルヘシ

以下略ス

千八百七十四年ノトザンテリトリ金鑛條例施行手續(プログラム)シヨウ

第一節 金鑛借地ノ年間ハ二十一年ヨリ多カラズ七年ヨリ少カラサル期限ニ於テ之ヲ許可ス

借地料ハ二エーカーニ付キ一ヶ年十志ヲ前納スヘシ

第二節 金鑛借地ハ千八百七十四年以後ハ其範圍二十エーカーヨリ大ナル鑛區ヲ許可セサルヘシ

而シテ其長サハ其廣サノ二倍ニ越ヘサルヲ要ス

第七節 金鑛借地ハ二十エーカーヨリ多カラサルヘシト雖モ亦十エーカーヨリ少カラサルヘシ而シテ其鑛區ニハ熟練ナル鑛夫十エーカーニ付キ二人ヲモ住置セサルヘカラス

又其資本額ハ十エーカーニ付百五十磅ノ割合タルヲ要ス

第八節 二三鑛區ノ合併ハ資本ト鑛夫ノ割合其他ノ條件ニ於テ法律ノ規定ニ從ヒ地方長官之ヲ許可スヘシ

第十 土地所有ニ關スル制度

11534

「アトザン」デ「トリ」ノ土地ハ住民移テ是ニ二十年ニ只鑛山ノ事業アルノミ土地ト云ヘハ即チ鑛山ヲ意味ス若シ夫レ多少農産ノ開ケ居ルニ於テハ世人ノ土地ニ注意ヲ拂フテ必ス一層機敏ナランニ今ヤ「ランド」下單稱スル時ハ屋敷地ト云フカ田舎ナレハ鑛山下云フニ過キサレハ土地ノ賣買貸借地價ニ關スル評判寂トシテ微響ダニナシ況ンヤ荒地開拓ノ事チヤ又況ンヤ土地買占ノ事チヤ情々五十年前ノ北米カリホルニヤ」ノ當時ヲ想起スル時ハ將ニ如此ノ異狀ニシテ存セシナラン地勢異ナリ時運異ナリ肥瘠又元下ヨリ其比「アラサレ」ハ必スシモ後年ノ當州チ今ノ「カリホルニヤ」ニ期スルニアラスト雖モ土地ノ廣漠無限ノ郊野耳目ニ金塊アリテ地面ナキノ狀我其酷肖スルヲ思フ當州六十二万方哩方面積南緯十七度越フレハ未タ政府ノ測量スラ届カサル所多シ今此三億万「エーグル」ノ中借地ノ數幾何アリヤチ見シニ

牧畜借地

十三万二千方哩

鑛山借地

八千五百六十五「エーグル」以下

右ノ内農場ノ如キハ記スル價ナシトテ政府ノ報告ニ「六」記録ニスラ上ラサレモノ其五百「エーグル」云々ト云フハ予カ見聞シタル概測ニシテ多クシテ五百ニ上ラスト云フニ在ルナリ右ノ如キ形勢ニシテ殆ント土地ノ賣買ト云フモノアルベナシ又當時ハ新開闢ノ住民ナレハ政府ヨリ土地ヲ受クルノ外之ヲ買ハントスルノ土地無ク其「ダオン」ロツト」ト雖モ多クハ借地ニシテ政府若クハ其市ニ屬スルモノナリ政府カ土地ヲ下附スルノ方法ハ他ノ殖民地ニ同ク米國カ「デ」等ノ「ホ」「エ」ステ「ド」トハ甚タ異ナル方法ナリ此等詳細ノ條項ハ下ニ記載スル所ノ土地法ニ依リテ明カナ

リト雖モ其概要ヲ舉レハ何レノ土地ト雖モ政府ヨリ一旦貸渡スモノナリ五年若クハ十四年ト云フノ期限ヲ以テ百六十「エーグル」以上六百四十「エーグル」ニ過キサル土地ニ於テ一定ノ借地料ヲ拂ヒ政府ノ要求スル條件ヲ滿タズニ於テハ其期限ノ滿限ニ至テ即チ自己ノ自由財産トナルナリ此土地法ニ於テ最モ鄙怯ナルハ亞細亞人種ニ財產權ヲ與ヘサルノ條項ヲ明揭スル「」是ナリ即チ其第七章第百〇二節ニ於テ單純財產權(Fee Simple)ヲ與ヘスト公言セリ今左ニ土地法ノ要部ヲ拔萃ス

第二章ヨリ第七章マテ百十五ケ條

千八百九十二年七月制定土地條例施行規則十六ケ條
千八百九十年改定「ゼ」ノ「ザン」テリトリ」土地條例

第一章 總則

第六節 知事ハ本條例ノ規定ニ從ヒ何時ニテモ左ノ件々ヲ執行スルヲ得

一 「クラオン」ノ名ニ於テ「ク」オ」ノ爲メニ土地ヲ讓與シ又ハ借地ヲ免許スル「

二 公共ノ所有若クハ其便益ノ爲メニ

三 己ニ免許シタル土地ヲ以テ此北部領地ニ於ケル他ノ土地ト交換ヲ命スル「

四 以下略ス

一 公共ノ實用、安全、便益、健康若クハ其幸福ノ爲メ

二 其他知事ニ於テ公共ノ爲メ適當ナリト認ムル目的ノ爲メ

第二章 通常借地權

第二十七節 通常借地ハ買取權付ニテ二十一年間タルヘシ而シテ此期限經過ノ後更ニ又二十一年間其契約ヲ新タニスルノ權アルヘシ
 借主ノ買取權ハ政府ノ定ムル所ノ價ニ依リ何時ニテモ實行スルヲ得ヘシ而シテ其價格ハ「エーカー」ニ付五志以上タルヘシ
 借地契約ヲ新ニシタル時ト雖モ亦政府ノ定ムル價格ニ從ヒ何時ニテモ其買取權ヲ實行スルヲ得ヘシ
 借地料ハ最初二十一年間ニ對シテハ政府豫メ其區域細別ヲ付シ「アデレード」及「ヒノーザン、デリトリ」ノ「ガゼット」ニ於テ廣告ヲ以テ定ムル
 契約ヲ新ニシタル借地ノ地代ハ前契約終結ノ十二ヶ月以内ニ於テ政府豫メ之ヲ估價シ更ニ其高チ定ムル

第二十八節 永久借地ニ係ル借地料ハ政府豫メ其區域細別ヲ付シ「アデレード」及「ヒノーザン、デリトリ」ノ「ガゼット」ニ於テ廣告シテ定ムル借地料ヲ以テ十四年間繼續セシメ其以後十四年毎ニ政府更ニ估價シテ其地料ヲ新タニシ少クトモ期限終結ノ十二ヶ月以内ニ借主ニ通知スヘシ
 第二十九節 前條ノ通告ヲ受ケタル借地人ハ其通知ヲ受ケタル時ヨリ六ヶ月以内ニ其改定地料ヲ承諾スルヤ否ヲ其管轄長官ニ通報スヘシ
 第三十節 本章ニ規定シタル借地人ハ其地内ニ於テ金銀銅「ティン」其他諸金屬ノ含蓄スルモノ或ハ諸寶石石炭材石ヲ發見シタル時之ヲ「クウォン」ノ爲メニ保存スヘキモノトス其制限ノ外其借地ヲ開發スルカ爲メニ如何ナル處置ヲモ自由ナリトス
 第三十二節 本章ニ規定シタル總テノ借地人ハ左ノ條項ヲ遵守スルヲ要ス

一 借地料ハ毎年前納タルヘシ
 二 借地人ハ其借地ニ關スル割前租稅其他契約繼續中ニ生スル諸般ノ義務ヲ負擔スヘシ
 三 總テ借地人ハ適當ノ有様ニ其借地ヲ開發シ且相當ノ補修ヲ加ヘテ完全ニ其土地ヲ保有スヘシ
 四 七年以内ニ於テ其借地ノ周圍ニ完全ナル垣牆ヲ結ブヘシ
 第四十節 何人ト雖モ本章ニ規定シタル借地ハ三千「エーカー」ヲ越フルヲ得ス
 第四十五節 十八歳未満ノモノハ直接間接ニ係ハラズ本章ニ規定シタル借地人タルヲ得ス
 但死去シタル人ノ受産者タルカ又ハ他人ノ代表者タルニ於テハ此限ニアラス
 第三章 現金賣下
 第四十九節 市街ノ土地若クハ市街接近ノ土地ハ總テ公賣ニ附シテ賣渡スヘク私書契約若クハ信用ノ上ニ賣拂フヲナカルヘシ
 第五十節 測量濟ノ土地ニシテ布告ニ依テ公ニセラレタル田舎所在ノ土地ハ「エーカー」十志ヨリ少カラサル價ヲ以テ公賣スヘシ
 第四章 農産借地
 第五十四節 南緯十七度以北ニ位スル田舎土地ニシテ米砂糖「茶」コップ「イ」イシチ「ゴ」タバコ「棉花」其他農産物ニシテ本條例ノ保護シ得ン物産ヲ目的トスル借地人ニハ「エーカー」一ヶ年ノ借地料六片ニテ六百四十「エーカー」ニ越ヘサルノ土地ヲ貸與ス此期限ハ五ヶ年ナリトス
 又其地内ニ住居スルノ條件ヲ以テ「エーカー」ノ借地料一ヶ年三片ヲ以テ百六十「エーカー」ニ越ヘサルノ借地ヲ許可スヘシ

第五十七節

本章ニ規定シタル借地人ハ左ノ條件ヲ遵守スヘシ

- 一 借地料ハ毎年前納タルヘシ
- 二 其期限ノ頭起ヨリニケ年内ニ於テ十分農場タルノ形態ヲ有セシメ少クトモ全借地十分ノ一ヲ開拓シ第五十四節ニ記定シタル二種以上ノ物産ヲ生育シ而シテ後ノ期限内ニ於テ別ニ又全借地ニ比例シテ十分ノ一ニ下ラサルノ開發ヲ加ヘ更ニ該産物ノ一種以上ヲ生育セシムルヲ要ス
- 三 該期限内ニハ必ス全借地ニ十分ナル垣塔ヲ設クヘシ
- 四 他日政府ハ相當ノ價值ヲ以テ道路若クハ其他公共ノ目的ノ爲メ其借地ノ或部分ヲ収用スルニ故障ナカルヘシ

第五十八節

此期限經過ノ後十二ヶ月以内ニ於テ其借地契約ノ完全ニ履行セラレタルヲ知事ニ於テ認可スル時ハ其借地ハ何等ノ義務ヲ附セスシテ單純財産權トナリ借主ノ所有ニ歸ス

第五章 牧畜借地

第五十九節 牧畜ノ目的ニ對スル借地ハ其市區ニ屬セサル地方ニ於テ四十二年ニ越ヘサルノ期限ヲ以テ第一ノ請求者ニ許可ス

其借地料ハ最初ノ七年間ニ對シテ一方哩毎年六片第二ノ七年間ニ對シテ一方哩毎年一志第三ノ七年間ニ對シテ一方哩毎年二志其餘ノ期限ニ對シテハ地方長官更ニ之ヲ估價シテ其借地料ヲ定ム第六十節 本章規定ノ借地ハ其借地證書ニ於テ其期限ノ第三期以前ニ於テ一方哩半五頭カ或ハ牛又ハ馬一頭ヲ飼養スヘク其第三期ノ終リニ於テハ一方哩少クトモ羊十頭又ハ牛或ハ馬二頭ヲ飼養スヘク其餘ノ期限ハ同一ノ方法ニ依リ同様ノ數ヲ増殖スヘキトテ契約ス若シ彼此混交スル時

第六十節

本章規定ノ借地ハ其借地證書ニ於テ其期限ノ第三期以前ニ於テ一方哩半五頭カ或ハ牛又ハ馬一頭ヲ飼養スヘク其第三期ノ終リニ於テハ一方哩少クトモ羊十頭又ハ牛或ハ馬二頭ヲ飼養スヘク其餘ノ期限ハ同一ノ方法ニ依リ同様ノ數ヲ増殖スヘキトテ契約ス若シ彼此混交スル時

第六章 格段ナル借地及免許

第八十四節 地方長官ハ此ノイザンテリトリノ領海ニ於テ別ニ定ムル所ノ規則ニ依リ「ベヤル」ベヤルセル又ハ「トレバング」ノ漁業免許ヲ與フ

第七章 雜則

第百〇二節 「アシヤチック」エリエン「ハ」此ノイザンテリトリニ於テ如何ナル土地ト雖モ單純財産權 (Free Simple) ナル「ハ」トナシ 以下略

千八百九十年改定土地條例施行規則

第七十三節 「ガバメント」レシデメント「ハ」「チ」書式ニ從ヒ「トレバング」ベヤル「ベ」アタルセル「其他魚介」ニ屬スル海産物ノ漁船ニ對シテ毎年ニ免許證札ヲ與フ其免許料ハ新規願出ルト引繼ニ係ルトトテ問ハス左ノ如シ

- 一 噸以下ノ船舶ハ毎年五磅
- 二 噸以上五十噸以下ノ船舶ハ別ニ一噸毎ニ十志ヲ加フ

第十一 在留日本人及眞珠貝取

當「ノ」イザンテリトリニハ我同胞ノ在留甚タ少ナク殆ント記述スルノ價值ナキ程ナリ當時現在三十人ニシテ男二十一一人女十二人ナリ
 日本人方當「ボ」ト「ダウ」キン「ニ」來リタルハ明治廿五年二月ニシテ通稱「チャ」レー「ナ」ルセ「ノ」本來長崎ノ産ニシテ十三年以前外國船ニ乗込各地ニ流寓シ此濠洲ニハ十年前ニ來リタル者而シテ西濠洲「コ」セ「キ」地方ニ於テ久シク此眞珠貝取リノ業ニ從事シ亦頗ル熟練ノ聞アリ然レモ元來海上ニ生長

シテ已レテ保持スルノ觀念ニ乏シク東ニ浮ヒ西ニ漂ヒ偶然此ポトダウキニ三流レ來リ一白人ノ恰カモ彼貝取業ヲ初ムルニ際シ自ラ履ハレテ海底ニ入りタルニ意外ニ貝類ノ饒多ナルヲ目撃シ多少貯金モ出來シタルヲ以テ不圖自ラ船ヲ有シテ種ニ利益ヲ博セントノ念ヲ起シ西濠ニ書ヲ送りテ友人ヲ呼寄セ自ラモ亦奔走シテ遂ニ一隻ノ漁舟ヲ繼シ得數人ノ日本人ヲ役シテ自ラ其營業ニ起チタリ是ニ於テ此地ニ日本ノ眞珠貝取リニ至レリ而シテ退々之ヲ聞テ二人三人集リタルモノ昨年四五月ノ頃三十餘人ニ至レリ白人等其日本人カ盛ニ貝取業ヲ爲スヲ見テ我モ々々ト此業ヲ初メ遂ニ七八月ノ頃ハ六隻ノ漁船ヲ此領海ニ見ルニ至レリ而シテ白人等ハ自ラ海底ニ入ル能ハサルヲ以テ皆日本人ヲ雇フニ至レリ然レテ西濠洲ニ於テモ「サースデー」島ニ於テモ相當ニ此業ノ盛ナルカ爲メ日本人ノ當地ニ來ルモノナク今日尙ホ此事業ヲ初メント企ツルモノアリト雖モ此勞働者ナキ爲メ空シク其志ヲ抱クモノ數多アリ

此眞珠貝取ニ付テハ其熱誠日本人ニ及フモノナク支那人ハ全ク此事業ニ關係ナク魚類ヲ漁スルモ此貝取ニ小從事セサルナリ是レ自ラ其長所ヲ知ルモノト云フヘシ故ニ當地ニ於テ日本人ト云ヘハ「ダイバー」潜水者ヲ意味スル「恰モ支那人ト云ヘハ鐵夫ヲ意味スルカ如キモノナリ已ニ如此此眞珠貝取業ノ天地ニ於テハ日本人主權ヲ掌握スト云フベシ

日本人ノ當地ニ滯留スルモノ三十三人ノ縣別ヲ擧レハ

- 和歌山縣 十六人
- 長崎縣 三人
- 福岡縣 一人
- 宮崎縣 一人

右ハ皆男子ノ部ニシテ一人ハ寫眞ヲ業トスルモノ餘ハ盡ク貝取業ニ從事スルモノナリ此外婦人十二人アリ内二人ハ今貝取業ノ妻トナリ居レテ元來此等ハ皆支那海岸香港「シンガポール」邊ヨリ轉々淫ヲ販ヒテ渡來シタルモノ殆ント四年前ニ在リ未タ日本人ノ名ヲ知ラレサル顔ノ知ラレサルニ當テ先ツ此醜婦ノ遠征ヲ見タルモノナリ故ニ事情ヲ解セサル他邦人ハ一種奇怪ノ觀念ヲ抱キ後來ノ吾人ニ向テモ甚タ解セサルノ顔容ヲ爲スモノアリ眞ニ痛歎ノ至リト云フヘシ

右醜業ヲ營ムモノ三戸ニ分ル一戸三人四人宛アリ何レモ九州邊ノモノニシテ多ク長崎縣ニ屬ス年齡二十四五ヨリ三十前後ノモノアリ又十七八ノモノモアリ彼等カ如何シテ國ヲ出ルカハ今日ノ嚴重ナル取締ニ於テ殆ント疑ハシキ如シト雖モ多クハ奸賊ナル外國船ノ船長ニ依テ來ルモノニシテ之ヲ防禦スルハ頗ル至難ニ屬ス如何トナレハ初メ外國船ノ長崎港ニ入ルヤ物價レタル輩ハ直チニ船長ノ室ニ至リ私カニ事實ヲ明カシテ之レニ醜婦一人ニ付キ香港マテ五十圓若クハ六十圓宛ノ賄賂ヲ贈リ相圖ヲ定メ豫メ漁船ノ如キニ醜婦ヲ乗セテ海上遙カニ監視ノ遠セサル邊ニ於テ右ノ外國船ヲ待ツモノナリ如此ニシテ遂ニ香港ニ致シ廣東ニ致シ便宜能キ所ニ上陸セシム而シテ右醜婦等元ト本國ニ於テ其世話人ヨリ二十圓カ三十圓ヲ借リテ此遠國ニ其世話人ノ指揮ノ儘ニ連レ出サレタルモノナリ而シテ其世話人ハ香港邊ニ於テ醜婦一人二百圓三百圓ニ賣却シテ國ニ歸リ更ニ同様ノ手段ニテ賣家ノ子女ヲ誘ヒ以テ之ヲ營業ト爲スモノアリト我國果シテ如此モノアラハ速カニ其根ヲ絶ツノ手段ヲ取ラサルヘカラス當局者タルモノ宜シク十分ニ探索ヲ遂ケサルヘカヲサレテリ

日本犬ヲ正面ヨリ見レハ「サースデー」島ニ於ケル如ク當州ニ於テモ頗ル好結果ヲ得タルモノト云フヘシ何トナレハ正々堂々獨立ノ業務ニ起チ白人ノ間ニ立テ毫モ愧ツル所ナケレハナリ米國「カリフォルニア」州ノ如ク「ワシントン」州ノ如ク悉々トシテ他人ノ使役ニ唯々タルモノ幾千人ニ比スレハ當地ハ二

十一人中三人ノ所謂旦那見ルノ境界豈ニ好運命ニアラスヤ三磅五磅ニ働ク労働者モ極メテ満足ノ体ニ見受ケ少シモ不平ノ聲ヲ聞カサルナリ若シ夫レ彼ノ醜陋ノ怪婦ナカリセハ日本人ノ名譽ハ必ス倍々スルモノアラン遺憾ノ事ト云フヘシ

千八百九十三年十二月南濠政府ハ更ニ法律ヲ議院ニ問ヒ亞細亞人ニ鑛山借區及漁業免許ヲ與フルニ制限ヲ附シタリ彼等カ吾人日本ヲ怖ルノ如シ吾人ハ進ンテ大ニ世界ノ舞臺ニ爭ハサルヘカラス

...

結論

今回探検ノ實況ハ掲ケテ前三篇三十三章ニ在リ今此報告ヲ結フニ當テ更ニ一言ナクンハアラス抑モ此報告書ハ要スルニ第一編ニ於テハ濠洲ノ大勢ヲ叙シテ其殖民成立ノ要ヲ舉ケ第二編第三編ニ於テハ自ラ實見シタル地方ノ狀況ヲ記列シ間々鄙見ヲ加ヘタレハ以テ聊カ其概畧ヲ報スルヲ得タリト信ス而シテ余カ實踐シタル探検地方ニ於テハ移住殖民ノ大策上不幸ニシテ得ル所甚タ少キハ頗ル遺憾トスル所ナリ此等理由ノ詳ハ總テ前記三篇ニ悉シタル材料ニ存スルモノナルヲ以テ更ニ是ニ贅スルノ要ヲ見スト雖モ尙約言スレハ

第一 我國労働者移住ノ第一着トシテ牧畜、鑛業ノ其撰業ニ不適當ナル事 第二 濠洲「クキンスランド」ノ「ゾザン、テリトリ」ノ風土ヨリシテ鑛山牧畜ニ適スルノ地ヲ除ケテ移住ニ便ナルノ地少キ事 第三 我移住民カ其移住ノ基礎トナルヘキ農業ノ種類ハ其地方ニ限アル事 第四 「クキンスランド」及「ゾザン、テリトリ」ニ於テ外國人ニ土地所有權ヲ禁シ鑛山借區ヲ許可セサル事 第五 日本人排斥ノ感情及政略ハ北米合衆國ヨリモ甚シキ事

事情如此ナルノ濠洲ト雖モ絶對的ニ日本人ノ移住ヲ否定スルニアラス尙ホ或ル程度マテハ我國民ノ産業ヲ得ルニ適スルモノナリ即チ濠洲沿海ニ於ケル水産ト「クキンスランド」ニ於ケル糖業是レナリ

濠洲水産ノ業ニ至テハ未ダ甚ダ幼稚ナルモノナリトレス「海峽」ノ眞珠貝海嶽及西濠洲ノ眞珠貝ノ外今日著名ナルモノアラス「クキンスランド」ノ南部太平洋岸ニ於テ蠟ノ産殖アリト雖モ僅カニ其地方ノ需用ヲ滿タスニ過キス「タウンズビル」以北ノ沿岸ニ「ユージニー」ヲ廻リテ「トレス」海峽ヨリ「ガール」ブ「カーペンタリヤ」ニ至リ西ハ濠洲ノ沿岸ヨリ東ハ「ソロモン」群島ニ跨カル海産物ハ乾魚ニ製セラ

ルヘキ諸種ノ魚類ハ云フマテモナク世界ノ市場ニ高價ヲ有スル眞珠及眞珠貝海嶽、鱈ノ群ヲ爲ス

モノ未タ歐洲人ノ遺利ニ屬スルモノ多シ而シテ此等水産ノ業タル又決シテ彼等ノ眼中ニ入ラサルモノニアラス既ニ其大漁場タルヲ覺知スト雖モ目下赴急ノ利アリテ未タ之レニ走ルノ餘裕ヲ得サルモノナリ故ニ已ニ尤モ利益アル眞珠業ノ如キハ盛ニ其業ヲ進メタリ當時倫敦市場大ニ其價格ヲ下シタリト雖モ千八百九十三年十二月ニ於テ一噸ノ價額一百廿弗ノ平均相場ヲ有セリ而シテトレス海峡ニ於テ此業ニ從事スル採貝船ノ數千八百九十二年十二月ノ調査ニ總計二百三十二隻ナリシカ千八百九十三年十二月ニ於テハ三百余隻ニ至リタリト云フ以テ其景氣ノ如何ナルヤ察スヘキナリ夫レ如此眞珠貝ノ業獨リ白人ノ人氣ヲ引キ海鼠其他ノ漁業ニ至テハ殆ント措テ省ミサルノ項アリ是レ當時トレス海峡ノ水産ノ形勢ニシテ吾人ノ大ニ乘スヘキ時機ナリト云フヘシ

然リ而シテ此等事業ニ就テ今日吾人ノ尤モ注意セサルヘカヲサルモノハ我國人ノ其景氣ヲ追フテ漫ニ渡航セントスル勞働者ニアリトス世人ノ知レル如クトレス海峡ノミナラス西濠洲ノ沿岸ニ於ケル漁業ハ白人資本ヲ供シテ地方ノ土人若クハ南洋土人或ハ「マレ」人等ヲ雇入レ之レニ從事スルモノニシテ其日本人カ該地ニ於ケル從來ノ方法モ亦被雇人ノ位置ニアリ近時幾多ノ獨立營業者ヲ出シタリト雖モ猶ホ多數ノ渡航者ハ盡ク白人ニ雇ハレシテ期シテ渡航スルモノナリ既ニ第二編中ニ詳説シタル「サ」島ノ如キハ蘇爾タル一小島ニシテ例令ヒトレス海峡漁業ノ中心タリト云フ下雖モ其發達ノ程度ハ推シテ知ルヘキモ眞珠貝ノ業盛ナリト雖モ限リアル此一海産業ニ向テ限テキ勞働者ヲ備ヘシト尤モ策ヲ得タルモノニアラス若シ「サ」島ニ於テ現時農工商以盛大ナル者アリ又ハ海産ノ業ニ至テモ各種ノ漁業ニ投資スル者アリトセハ猶ホ勞働者ノ融通ハ憂フルニ足ラスト雖モ唯々眞珠貝ノ業ナルノミナラス此島タルヤ實ニ此業ヲ除ヒテハ岩石突兀タル一小島ニシテ生活ノ万事ハ舉ケテ此一業ノ盛衰ニ任スルモノナレハ一旦需用供給ノ平準ヲ失ヘ

ハ其地方ノ狭小ナル丈其影響ノ感覺甚ク直ニ同胞勞働者ノ競争トナリ各人種間ノ情忌嫉妬トナリ鬭争トナリ其結果タル地方住民ニ惡感情ヲ殘シ甚キハ活路ニ窮シテ遂ニ奴隸同様ノ慘境ニ流落スルニ至ルモノ爾來必スシモ其例ナキニアラス近時和歌山廣島地方ヨリ前後ノ思慮ナク渡航シタルモノ往々其職ヲ得スシテ「ク」島ニシテ「本州」ニ送ラレタルモノアルヲ聞クハ敢テ偶然ノ異事ニアラス此地方ニ志スモノハ勿論先達ノ輩須ク注意スヘキナリ然リ而シテ濠洲水産ノ業タル其有盛ノ情況ハ略ホ前述ノ如クナルヲ以テ此際該地ニ資本ヲ投スルモノ何國ノ人タルヲ問ハス續々輩出スルハ明カナルヲ以テ我國水産ニ志アルモノ今ニ於テ廣ク調査ヲ遂ケ機ニ乘シテ大ニ海産ノ業ヲ起ス事目今ノ急務ナリトス如此ニシテ我國人資本ヲ投シ漁業ノ權ヲ彼地ニ揮フヲ得ハ現ニ陸續トシテ該地ニ蟬集セントスル勞働者ヲ指導シテ以テ移住ノ基脚ヲ立テシムルハ敢テ難キニアラス果シテ然ラハ獨リ彼等ノ窮途ヲ救フノミナラス我國人ノ實勢ハ蓋シ此水産ノ業ニ依テ將來南濱ノ一勢力トナリテ起リ來ラン

「ク」島ニシテ「政府」カ漁業權ノ免許ニ付テハ已ニ第二編ニ於テ其要項ヲ撮テ掲ケタル如ク當時外國人ト雖モ何等ノ制限ヲモ附セサルモノナリ而シテ其眞珠貝採取ニ於ケル資金一年中ノ經費市場ノ相場利益等ニ付テモ亦已ニ第二編中ニ詳説シタレハ宜シク參照スヘシ唯一言資本家ニ向テ云フヘキハ若シ該地ニ於テ毫モ外國人ヲ相手ニセス眞ニ日本人ノ手ニ依テ此漁業ヲ爲サント欲ヒハ大洋ニ航シ得ヘキ帆走船ヲ準備シ倫敦ニ向テ直接運輸ノ道ヲ開カサルヘカラス若シ能ク如此堅固ナル營業方法ヲ組織シ得ルニ於テハ日本人ノ利益タル蓋シ甚ク大ナルヘシ

鑛山牧畜ノ外陸地ニ於ケル事業ハ「ノ」サンテリト「ニ」於テハ殆ント絶望ノ域ニアリ土地ノ良好ナルモノノ海濱河畔ニ於テ往々散見スト雖モ其區域ノ狭小ナル到底移住殖民ノ基ヲ立ツルニ足ラス且

ツノ一ザン、テリトリハ土地所有權ハ勿論鑛山借區權ヲ制限シ彼ノ漁業權ニ至ルマテモ遂ニ千八百九十三年ノ議會ハ亞細亞人ニ許可セサルヘキノ法律案ヲ通過シタリ是ヲ以テノ一ザン、テリトリニ於ケル日本人ノ事業ハ殆ント杜絶セラレタルノ觀アリ

「クキンスランド」ニ於ケル陸地ノ事業ハ鑛山牧畜ノ外農業ニ於テハ糖業野菜菓實ノ事業アリト雖モ當時菓實野菜ノ業ニ付テハ永ク己ニ支那人ノ專有スル所トナリ到所彼等ノ此業ニ從事セサル所ナク且ツ熱帶産ノ事トテ未タ外國ノ市場ニ送ルノ方法ヲ得ス漸ク濠洲各殖民地ニ送ルニ過キス米ノ如キ「コソフイ」ノ如キ棉花ノ如キハ其適當ノ地方タル限アリテ將來「クキンスランド」ノ産物ト爲リ得ルヤ否ヤニ付テハ頗ル疑ハシキモノトス獨リ糖業ニ至リテハ更ニ又日本人ノ關スヘキ事業トシテ大ニ注目スヘキモノアリ

夫レ製糖業ノ現在ハ未タ外國ノ市場ニ向テ何等ノ影響ヲモ生セスト雖モ「クキンスランド」三大事業ノ一トシテ將來頗ル有望ノモノナリ糖業ノ經歷現在ノ狀況ニ付テハ第二編中已ニ詳説シタルヲ以テ再ヒ是ニ贅セスト雖モ政府ノ獎勵資本家ノ熱中ハ十有余年頗ル務メタリト云フヘシ然ルニ地味撰擇ノ當ヲ得サルト事務整頓ノ不熟練ハ労働者ノ困難ヲ合セテ糖業ノ三大難事トシテ此新開地ニ殘レリ而シテ年來ノ經驗ハ漸ク其實跡ヲ積ンテ昨今更ニ興起ノ兆アリ只彼等ノ痛ム所ハ猶ホ一ノ労働者ノ問題ニ在リ熱帶地方甘蔗耕地ノ労働ニハ實際白人ノ堪ヘサル所履々之ヲ試ミテ屢々失敗シタルモノナリ「カナカ」入種ノ輸入モ解禁ノ令出テタリト雖モ其制限ノ嚴ナル又往年ノ如クナデス兩三年以來日本労働者ノ試ミタル、ヤ其成績ノ著シク好結果ヲ得タルヲ以テ資本家ノ多クハ將來大ニ屬望スル所アリシカ爾來白人労働者ノ反抗ニ遭遇シ是レ亦殆ント一頓挫ノ姿アリ然リト雖モ日本人ノ好評ハ遂ニ資本主ヲシテ此等白人労働者ノ抗議ニ逆ヒテ決行セシムルノ域ニ至レリ吉佐

移民會社ノ本年更ニ幾多ノ労働者ヲ募リタルモ蓋シ此原由ニ依ラスンハアラス當時亞細亞人排斥ノ論盛ナリト雖モ猶ホ未タ資本主ノ勢力ヲ凌ク能ハス

如斯濠洲人ノ「クキンスランド」ニ於ケル糖業ニ經驗ヲ得テ日本人ノ糖業労働者ニ適スルヲ認メタル以上ハ糖業ノ發達ニ從フテ日本人ノ需用ヲ増スハ必然ノ勢ナリトス加之「クキンスランド」中「ケール」以南「マカイ」地方ニ至レルニ二百余哩ノ海岸ハ地味純良ニシテ雨量多ク獨リ此糖業ニ好適ナルミニナラス諸般ノ農業ハ此間ニ於テ尤モ適當セルモノナリ法律上外國人ニ土地所有權ヲ與ヘサレハ吾人日本人トシテ起業上幾多ノ不便アリト雖モ已ニ第二編中ニ掲ケタル如ク或ル制限内ノ使用權及借地權ヲ許可セラル、ヲ以テ我労働者ハ契約労働ノ外進ンテ獨立農業トナリ甘蔗小作ノ業ニ從事スルハ尤モ適當ノ事業ニシテ其着手モ甚タ容易ニシテ且ツ有益ノ事業タリ

而シテ日本人カ此事業ニ從事スル方法ハ當初ヨリ此目的ヲ以テ資本ヲ投スル亦可ナリト雖モ尤モ簡ナル手段ハ當今ノ如キ契約労働者ヲ利用シテ其期限ノ終了ヲ待チ其労働者ノ有志ヲ集メ團體ヲ組成シ若クハ一個人ノ支配ノ下ニ此熟練シタル日本人ヲ使用シ第二編中ニ詳説シタル所謂協同組合ノ法ニ基ケル甘蔗小作ヲ爲サシムルニ於テハ多クノ費用ヲ要セスシテ産ヲ爲シ且永年移住ノ圖ヲ爲スニ宜シ之レ「クキンスランド」ニ於ケル定住移民ノ礎ヲ致スニ尤モ適當ナル方便ナリトス當時「クキンスランド」ニ於ケル日本契約労働者ハ既ニ第一編未項ニ於テ論シタルカ如ク大体ノ上ニ於テ其境遇モ其取扱モ非難スヘキ点ナシト雖モ其契約ノ不完全ナルト監督方法ノ其道ヲ得サルト且監督者其人ヲ得サルトハ已ニ所ニ依リテ幾多ノ破綻ヲ生シタル廉ナキニシモアラス從テ將來如何ナル境界ニ勝致スヘキヤ計ルヘカテサルモノアリ要スルニ唯タ今後當局會社ノ注意ト政府ノ監視ヲ嚴ニスルニ於テ此契約労働者ヲシテ濠洲ニ於ケル契約労働ノ好模範ヲ表示スルニ難カラストサレ

下現今ノ如ク會社ハ多ク外國人ノ言ニ聞キ勞働者ノ監督モ殆ント重ニ事情ヲ解セサル外國人ニ一任セントスルカ如キ傾向アリ且政府ノ監視行届カサルノ結果ハ該地ニ於テ往々日本國民ハ其本國政府ナルモノ、後援ナキカノ如ク目セラル、ノ風アルニ於テハ將來ノ事豈ニ憂慮ナシトセンヤ古來各國殖民ノ歴史ヲ見ルニ罪囚ノ移殖ノ外政府自ラノ事業ナシト雖モ亦政府ノ保護ヲ得ルナクシテ成立シタルモノナシ英國ノ濠洲殖民ニ於テ殊ニ然リトス夫レ濠洲殖民起原ハ罪囚移住ニアリト雖モ今日七殖民地四百萬ノ住民ヲ得タルハ政府ノ保護周旋尤モ多キニ居ル彼等ハ先ツ其渡航費用ニ保護ヲ得次テ彼ノ殖民地ニ着スルヤ移住民局アリテ彼等ノ爲土地ヲ撰定シ勞働者周旋局アリテ其賃役ニ就クノ方法ヲ與フ而シテ又此等ノ事業ニ關シテ會社ノ組織アレハ特ニ保証ヲ與ヘ土地ノ所分ニ付テモ別ニ特權ヲ許ス等新開地最初ノ殖民ニシテ官民ノ協力ヲ要スルノ頗ル大ナルハ論ヲ俟タス

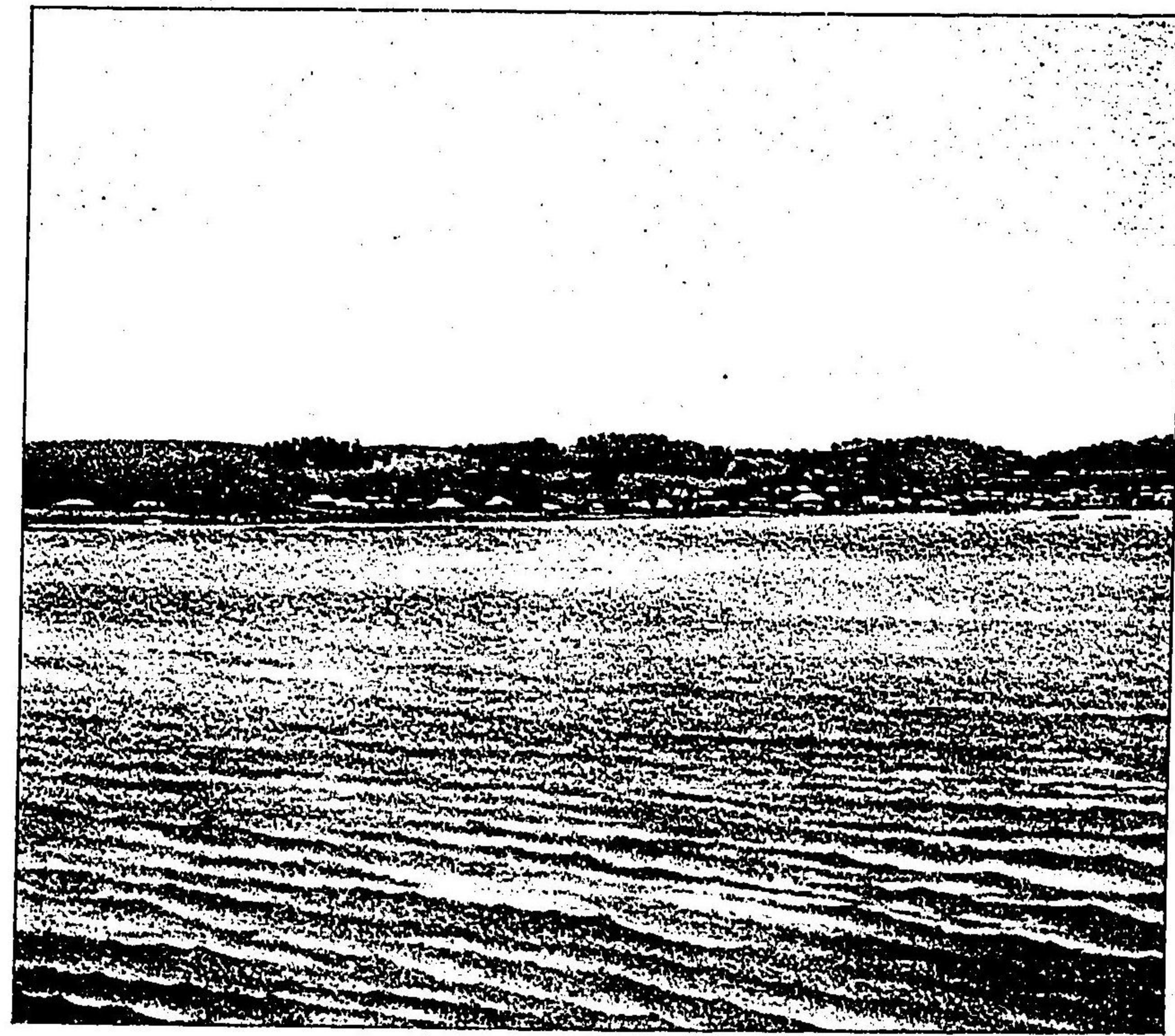
然リト雖モ此等移民ノ方法ハ英國ト濠洲トノ關係ニ於テ即然リ彼ノ殖民地アリテ彼ノ方法アリ我國ノ如ク自國ノ所領地アルニアラスシテ其殖民ヲ獎勵セントスルニ於テハ亦自ラ其方法ニ異ナル所ナクシテハアラス即チ自由移民ノ外亦契約移民ヲ保護スルノ手段之レナリ契約移民ヲ送ルノ一事ハ未ダ必ズシモ移住殖民ノ良方法ヲ得タリト云フヘカラス古來如此モノヲ獎勵シテ其目的ヲ達シタルモノアラスト雖モ我國ノ如ク今日人口處分ノ急ニ迫リ財源ノ甚ダ豐カナラサルノ時ニ當テ他國ノ所領内ニ此事業ヲ遂ケントスルニ至テハ契約勞働者ヲ送ルモ亦一方便ナリトス

然ルニ不幸ニシテ契約勞働ハ從來各國到所幾分カ奴隸ノ主義ニ類シテ動モスレハ其取扱ノ苛酷殘忍ニ陥リ易ク從テ國民ノ品位ヲ害スルノ少シトセス是レ大ニ世人ノ擯斥シテ取ラサル所ナリト雖モ當時國交ノ漸ク廣フシテ政府ト政府間ノ交渉頗ル其便ヲ進メ豫メ以テ救済ノ策ヲ立ツルニ宜シ

ク且ツ其契約勞働ノ手段方法其道ヲ誤ルナクシテ其國民ノ品性ヲ傷ハスシテ他國ノ領内ニ産業ヲ立テ以テ移住殖民ノ先驅ト爲スニ至便ノ方法タル論ヲ俟タス濠洲ニ於ケル契約勞働ノ如キ即チ是レナリ

以上ハ濠洲探檢ノ材料ニ對スル鄙見ニシテ其見識ノ不敏ナル遂ニ能ク訓示ノ主旨ニ添ヒタルヤ否ヤヲ知ル能ハスト雖モ敢テ自ラ信スル所ヲ報告ス

圖ノ人土女男



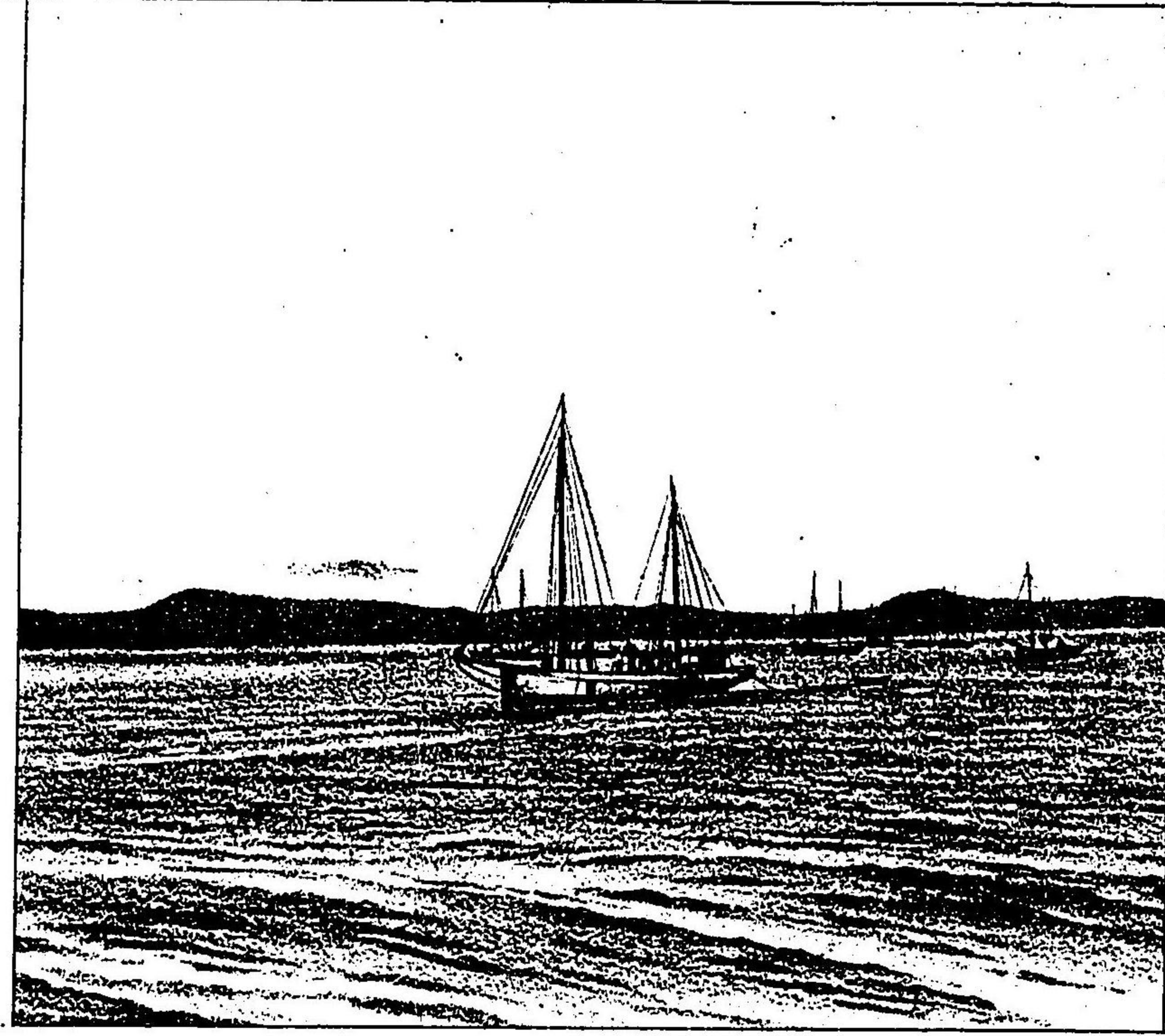
サースデー島ケチデー港



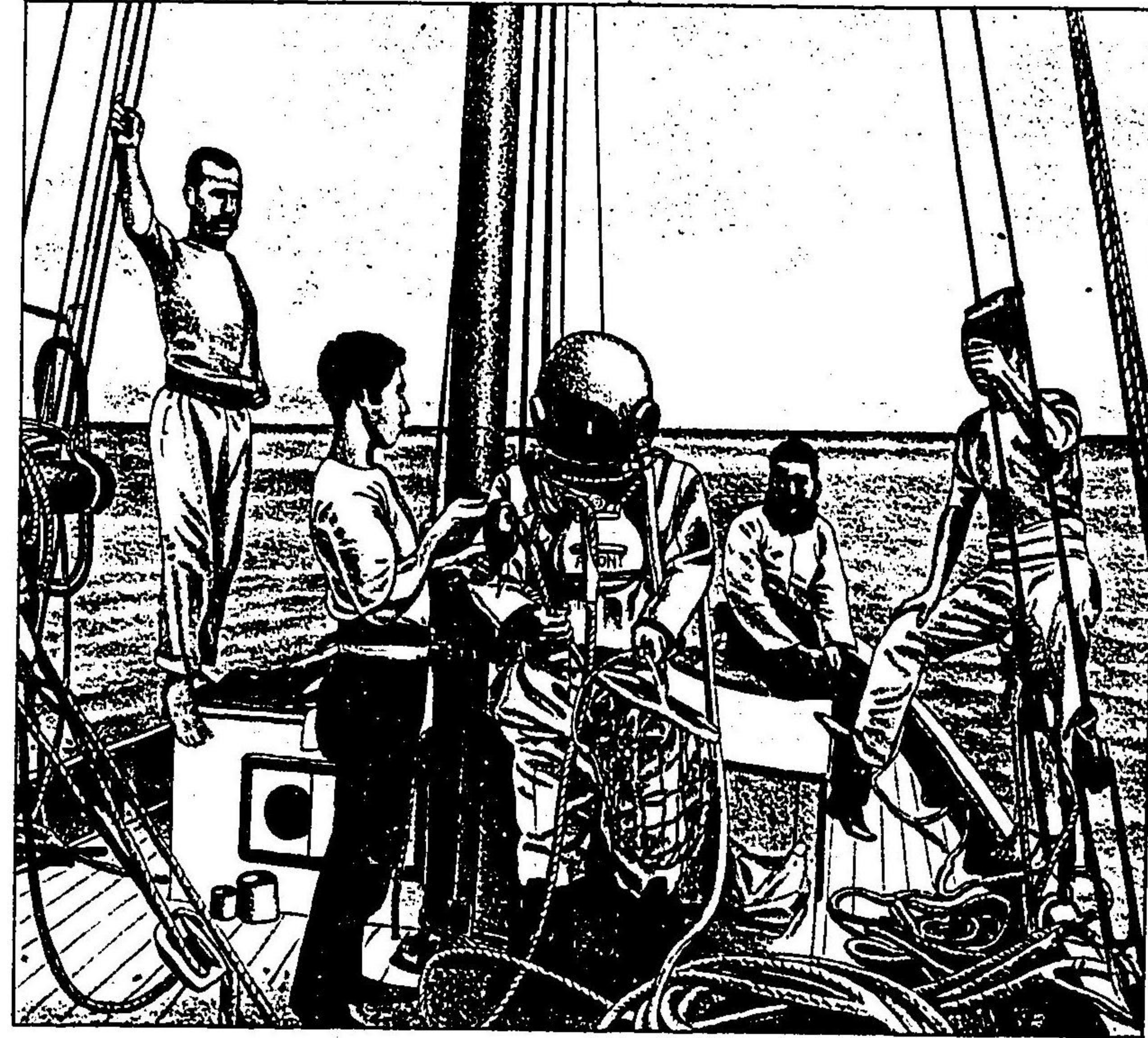
漆州産竹ノ圖 幹小節大貫疎ニシテ細工ノ用ニ適セス



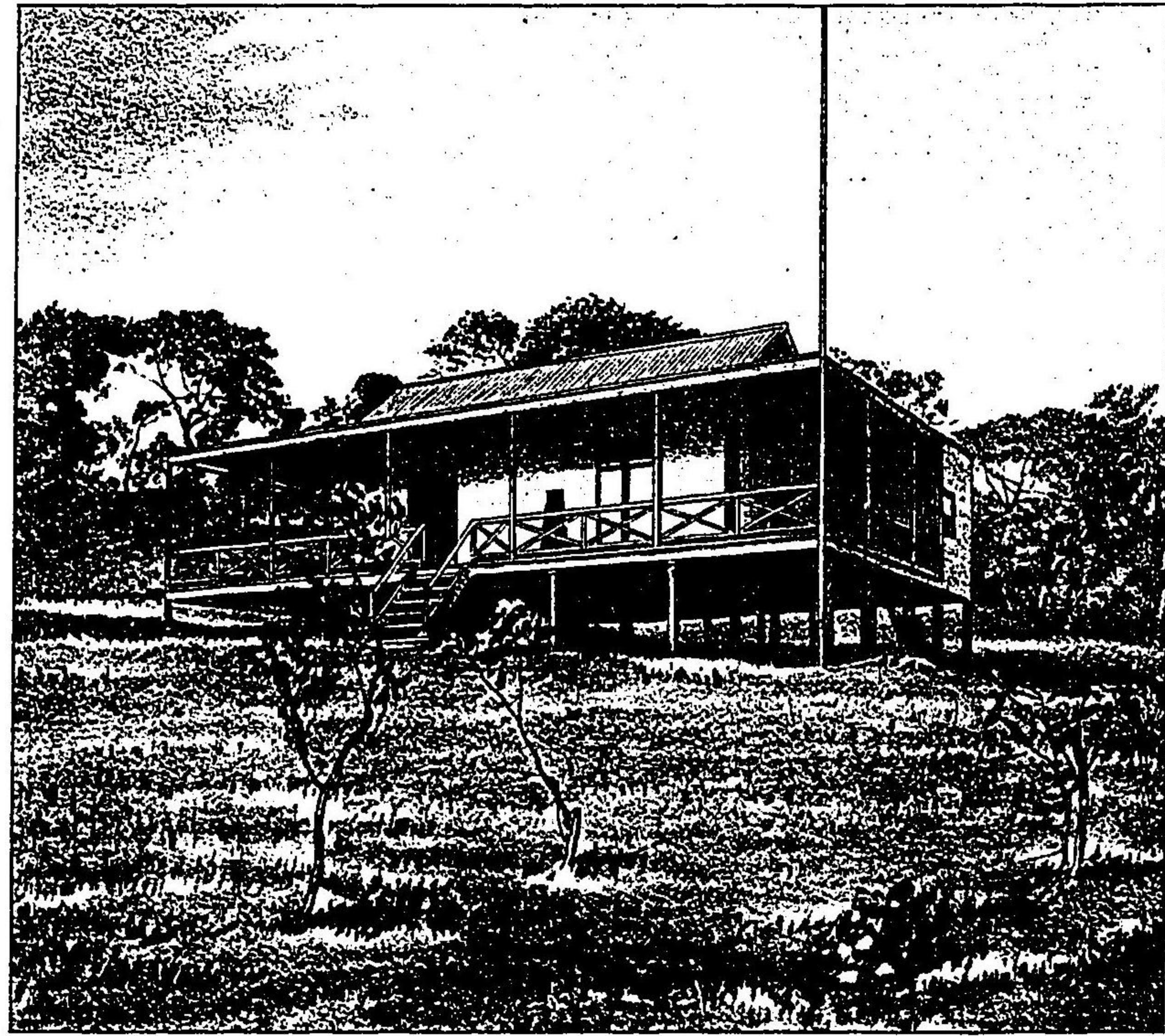
漆州土人小舎ノ圖



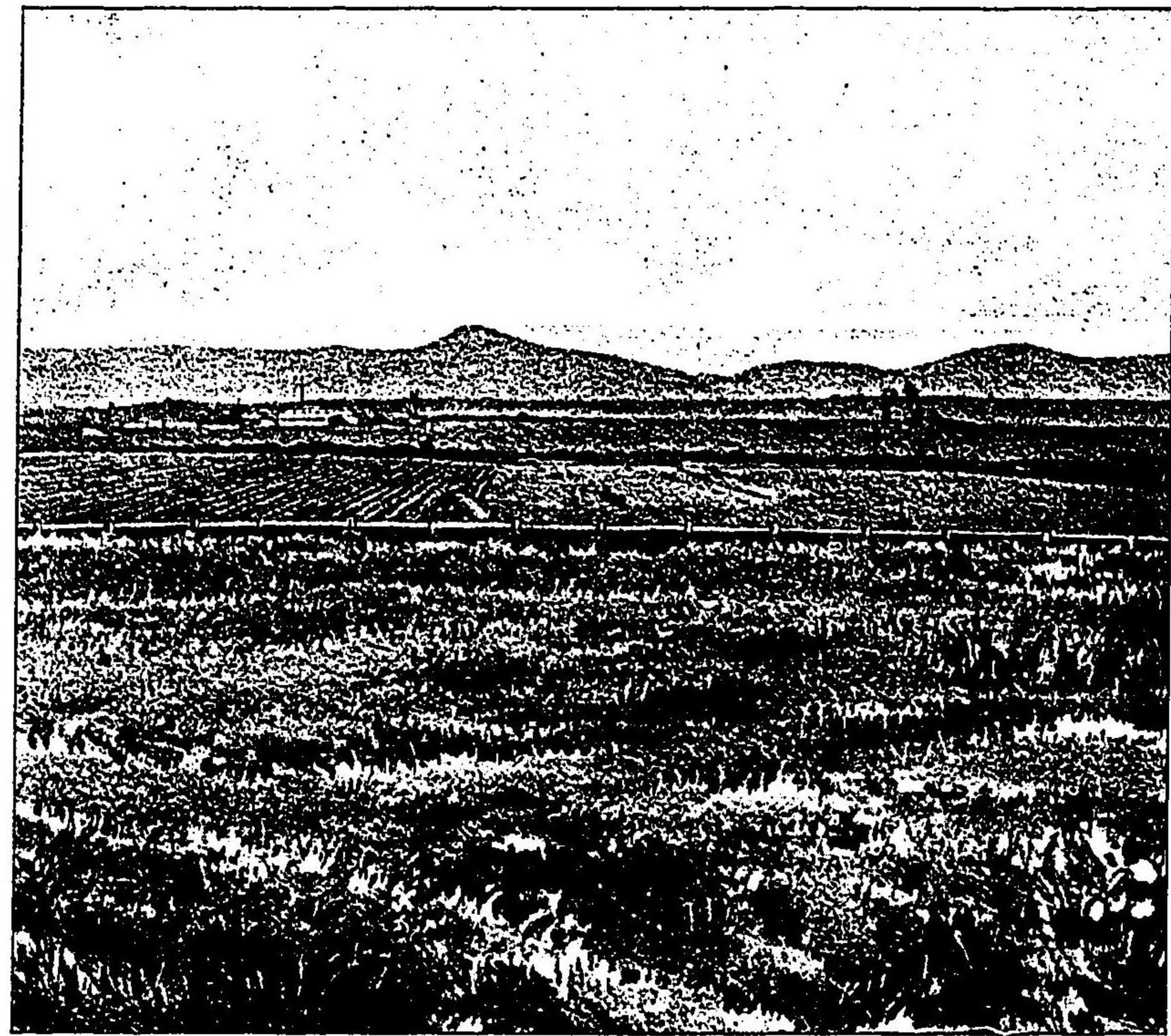
サースデー島採貝船ノ全景



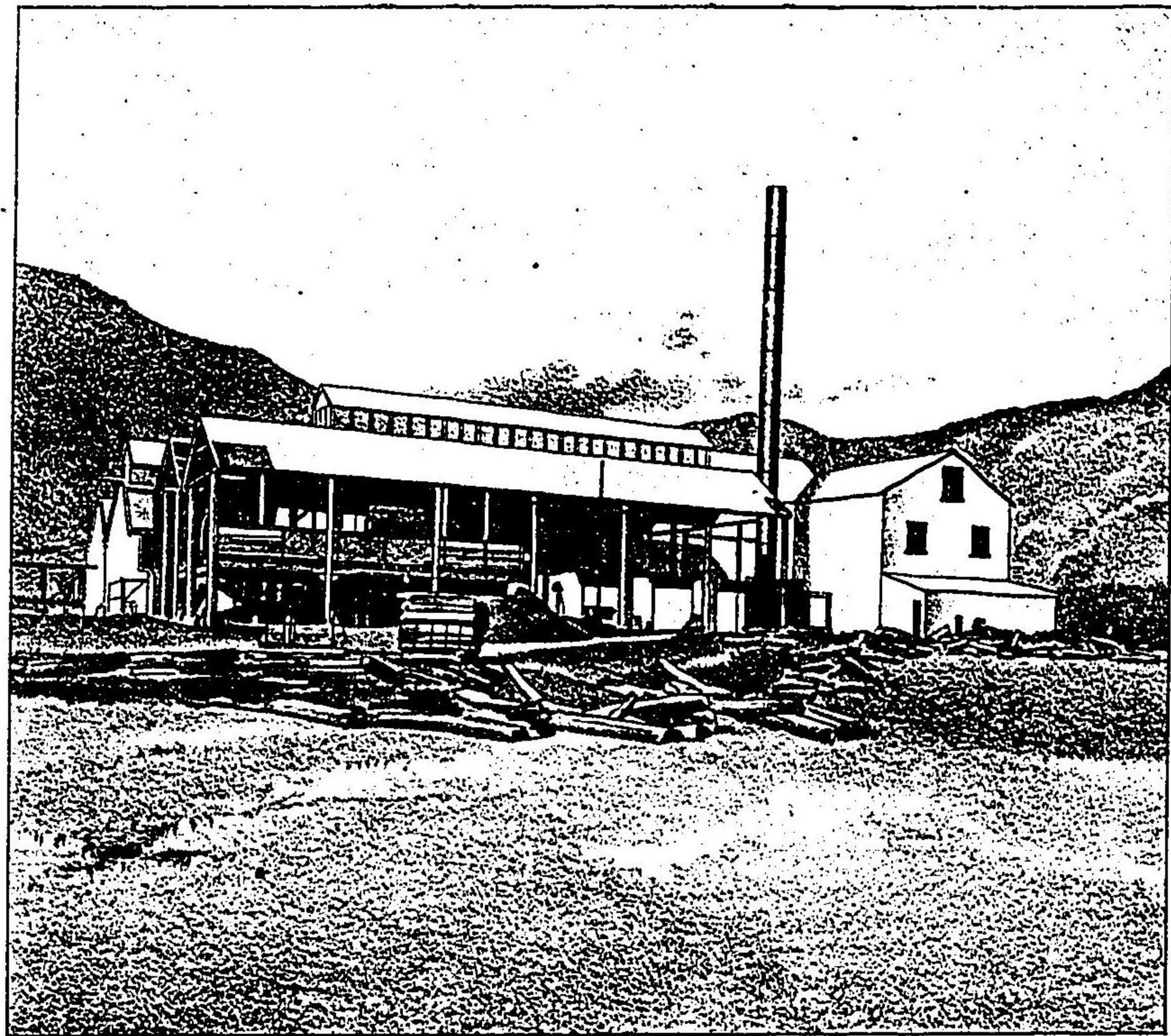
同採貝船内装置及潜水者服装及諸器械ノ圖



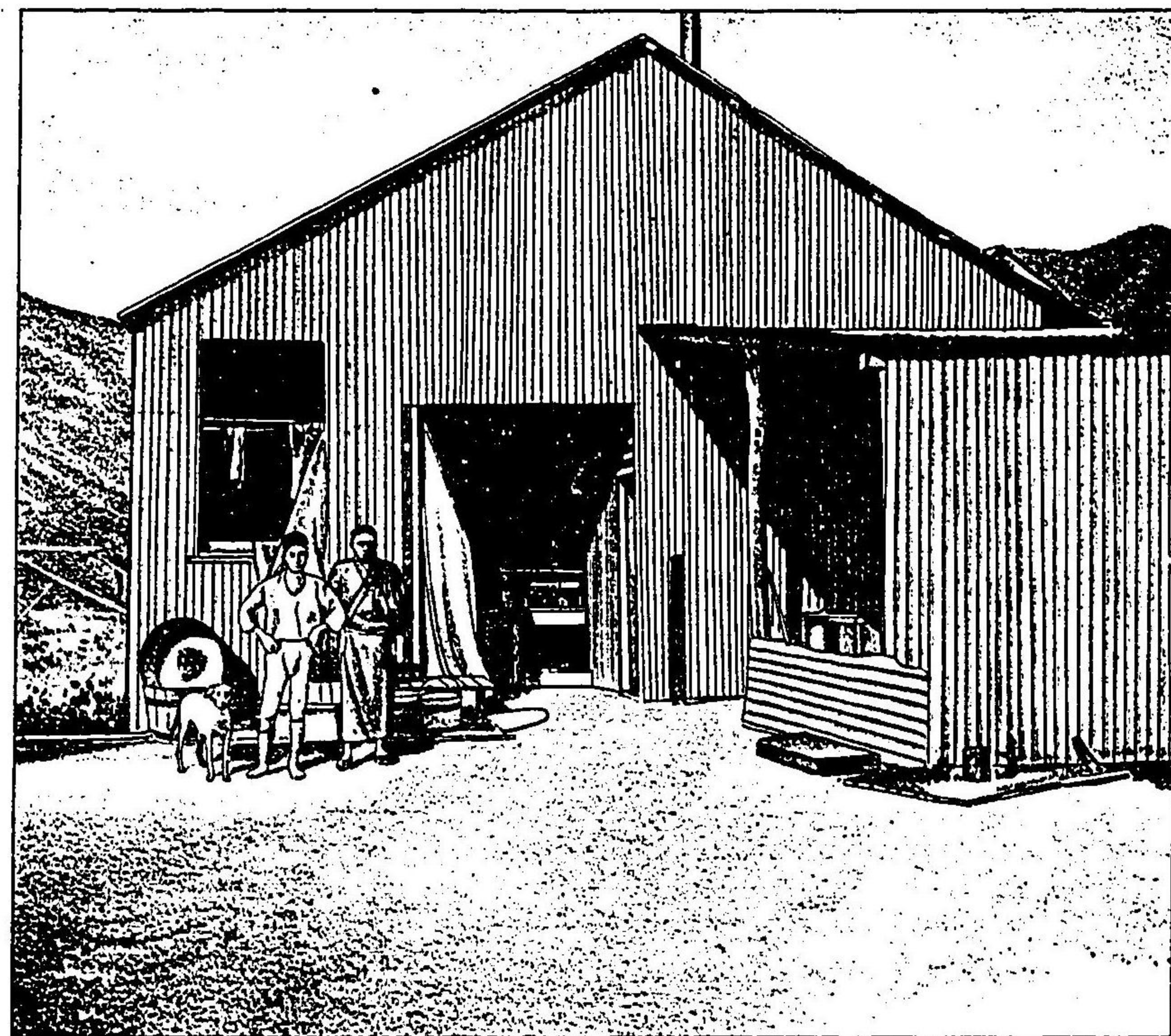
在サトスデー島日本人倶楽部ノ家屋



ハムブレドンの砂糖製造所遠景



ハムフレッドン製糖器械場



ハムフレッドン製糖所ニ於ケル日本契約労働者ノ住家

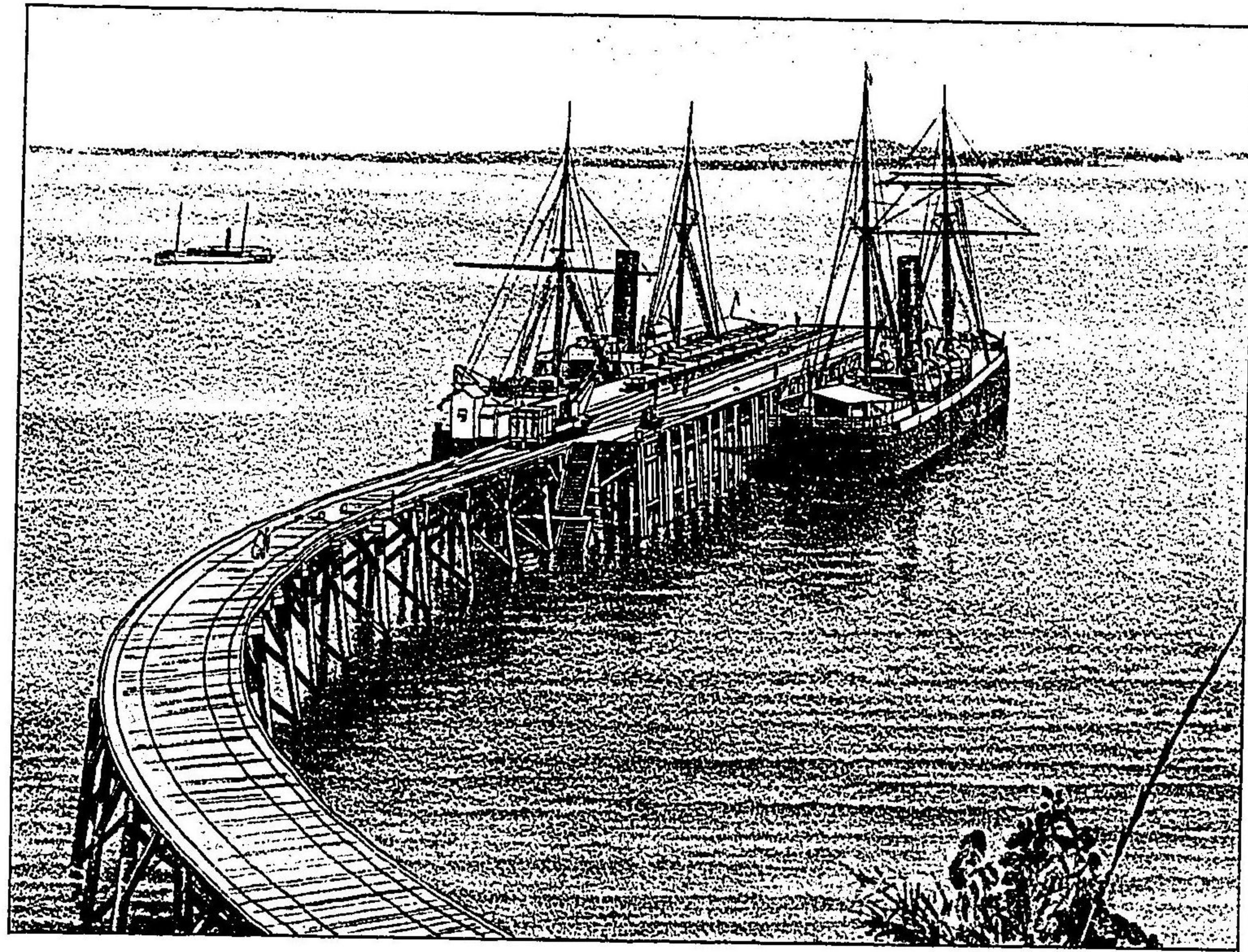


ノールザルン、デルリトリニ於ル金鑛採掘場有ニ係ル所



コ、ナツツ樹ノ圖

ボートウキ橋ノ圖



漆州到ル所此嶺あり殊ニ熱帯地方ニ夥シク高サ
三丈ニ余ルモノアリ



嶺ノ圖 高サ三丈ニ尺
周圍を大

明治廿七年七月廿二日印刷
明治廿七年七月廿五日發行

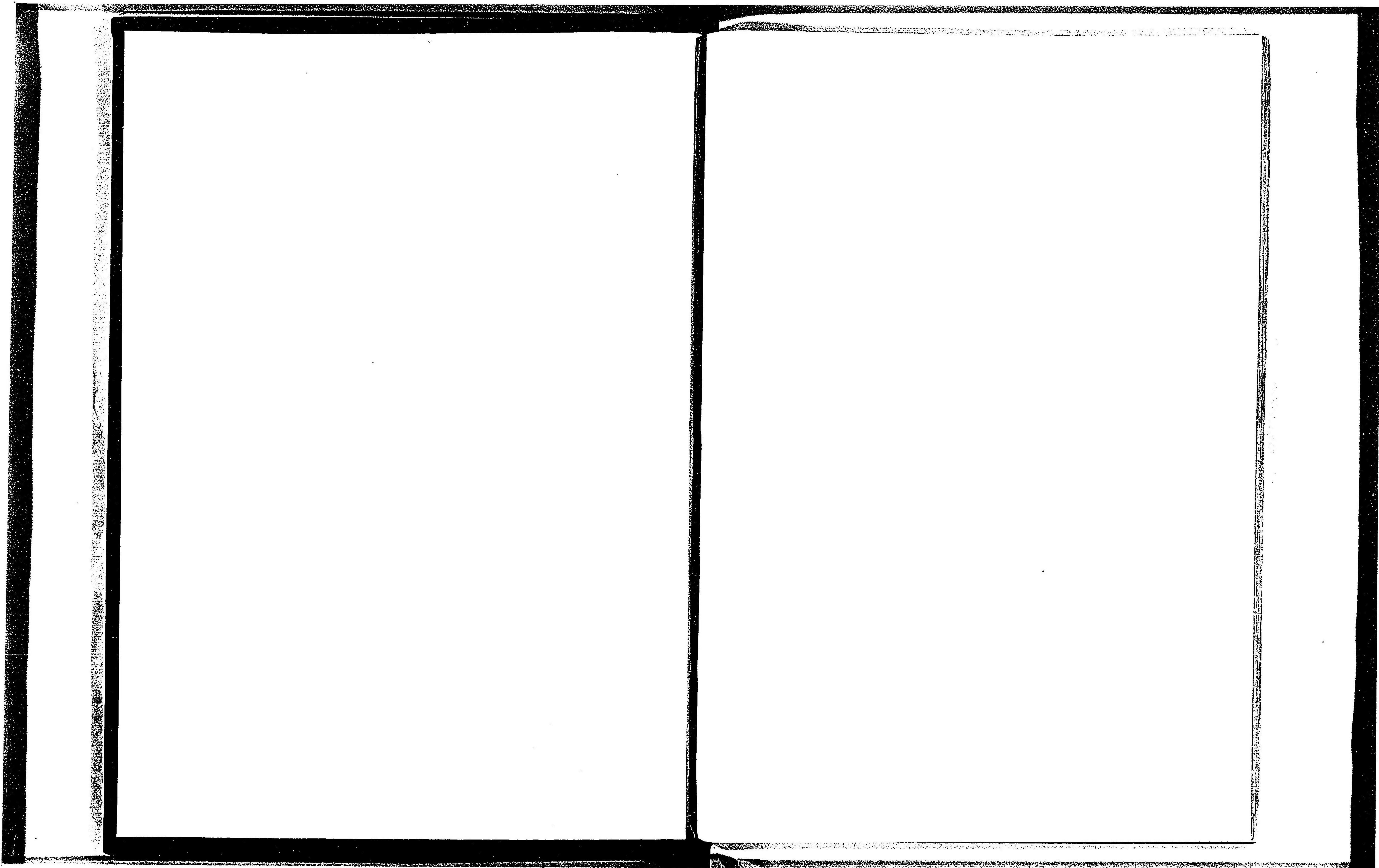
印刷兼發行者

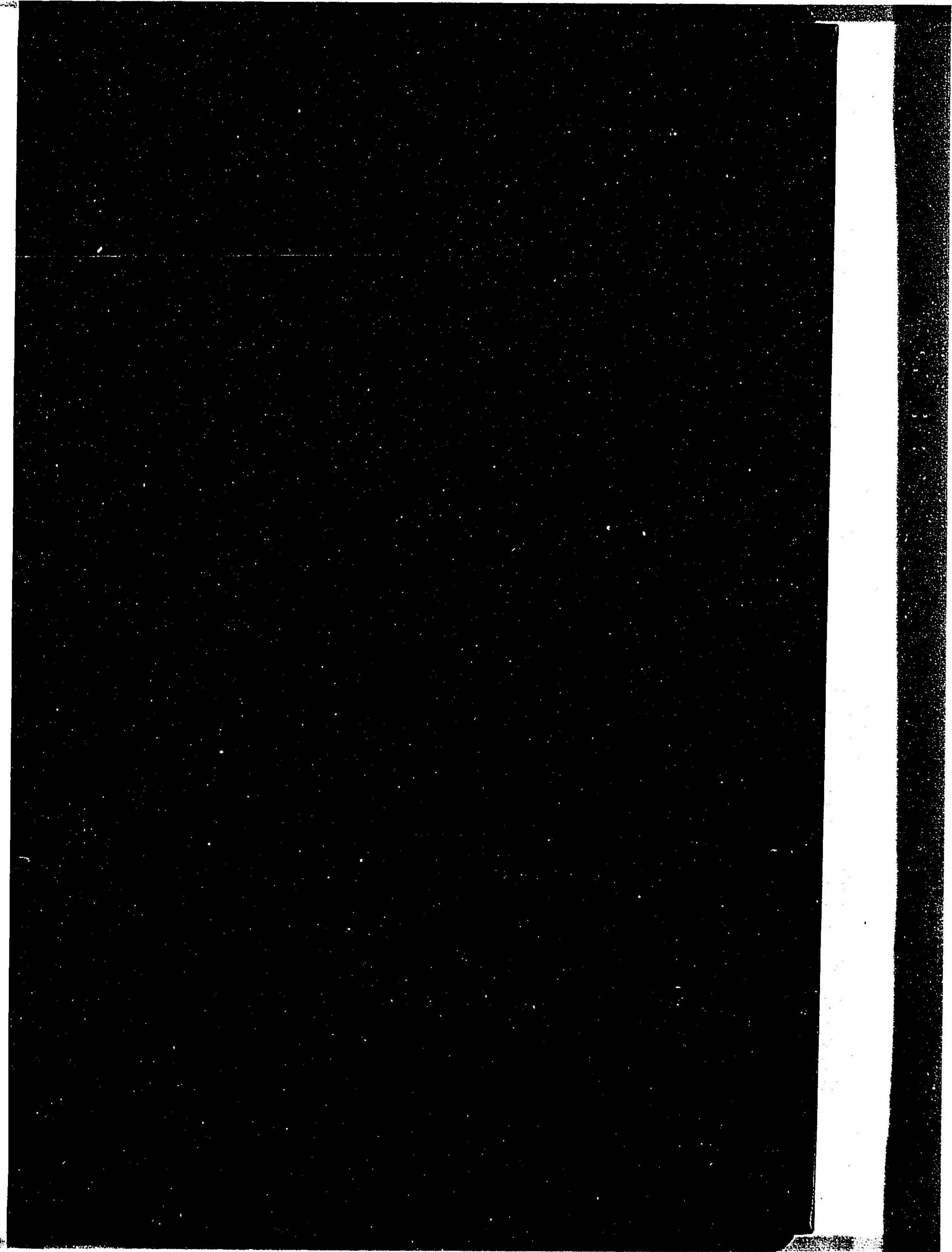
外務省通商局第二課

御製皇朝通志

卷一百一十五

御製皇朝通志卷一百一十五





39
65

026984-000-5

39-65

濠洲探検報告書

外務省通商局第二課／刊

M27

ADH-0004



39-65